

北本市
第六期障害福祉計画・第二期障害児福祉計画
策定に係るアンケート調査報告書

令和2年7月

目次

第1章 調査の目的と実施概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査の方法と回収状況	1
4 本報告書の見方	2
第2章 障がい者アンケート結果の詳細	3
1 調査対象者のプロフィール	4
2 介助について	14
3 外出について	17
4 地域での生活について	26
5 医療や健康管理について	29
6 日中の過ごし方について	33
7 仕事について	34
8 相談や情報入手の状況について	42
9 障がい福祉サービスについて	49
10 災害対策について	54
11 権利擁護などについて	58
12 今後について	65
障がい者（家族）アンケート結果の詳細	68
自由記述	75
第3章 障がい児アンケートの詳細	79
1 調査対象者のプロフィール	80
2 介助について	89
3 外出について	90
4 地域での生活について	97
5 医療や健康管理について	99
6 日中の過ごし方について	103
7 保育施設や教育機関等について	105
8 相談や情報入手について	110
9 障がい福祉サービスについて	115
10 権利擁護などについて	119
11 お子様の今後について	126
自由記述	131

第1章 調査の目的と実施概要

1 調査の目的

本調査は、「北本市第六期障害福祉計画・第二期障害児福祉計画」の策定にあたり、基礎資料とするために行いました。

2 調査対象

調査の対象者は、次のとおりです。

アンケートの種類	アンケートの対象
障がい者アンケート	障害者手帳をお持ちの方
障がい児アンケート	障害者手帳をお持ちの方、障害児通所支援等を利用している障がい児の方の保護者

3 調査の方法と回収状況

調査の方法と回収状況は、次のとおりです。

【調査方法】

◇郵送による配布、回収

【調査期間】

◇令和2年3月

【回収状況】

アンケート種類	配布数	回収数	回収率
障がい者アンケート	1,000	641	64.1%
障がい児アンケート	100	53	53.0%

4 本報告書の見方

【本報告書の構成】

- ◇ 第2章では“障がい者アンケートの詳細”、第3章では“障がい児アンケートの詳細”を設問順に掲載しています。

【報告書の見方】

○障がい者・障がい児アンケート共通

- ◇ 本報告書においては、特に断りのない限り、障がい種別を次のように表示・解釈しています。

本報告書における表示	解 釈
身体障がい	身体障害者手帳所持者
知的障がい	療育手帳所持者
精神障がい	精神障害者保健福祉手帳所持者

- ◇ 各コメントは、○が単純集計の結果、●が前回比較の結果、★がクロス集計をした結果を示しています。
- ◇ 各設問のカテゴリー（選択肢）等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。
- ◇ 第2章、第3章では、設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- ◇ 単数回答は（SA）、複数回答は（MA）、数量回答は（NA）、記述回答は（FA）として記載しています。
- ◇ 設問によっては、前回調査（平成28年調査）との比較をしています。
比較をしている棒グラフの上段（黒で表記）が今回調査、棒グラフの下段（グレーで表記）が前回調査です。
- ◇ 原則として年齢別と障がい種別のクロス集計を示す表を掲載しています。
- ◇ 集計結果のグラフ・障がい種別クロス表側における“無回答”とは、当該設問への回答なしの他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- ◇ 集計は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

○障がい者アンケート

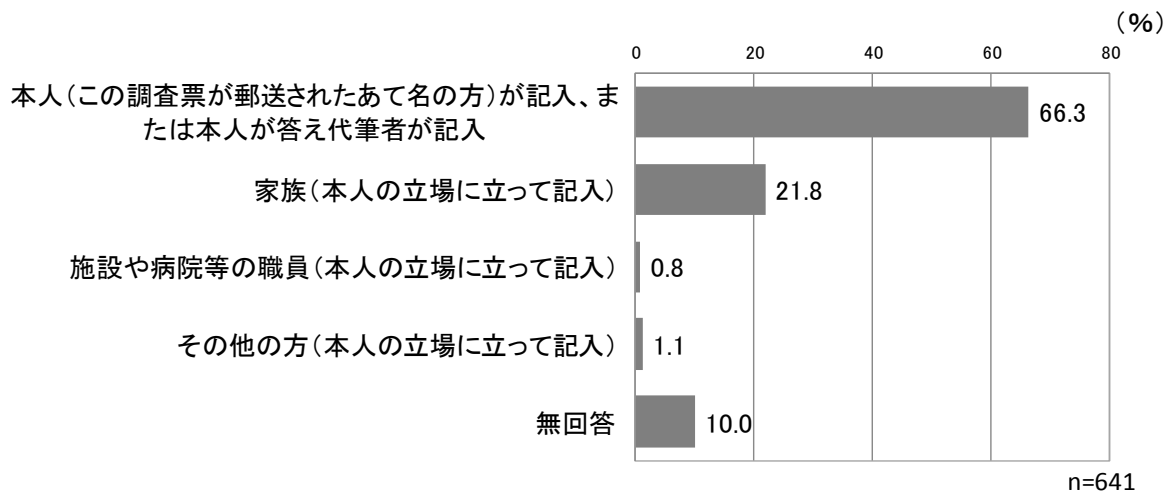
- ◇ 前回調査（平成28年調査）では、身体障がい、精神障がい、知的障がいの3種に分けて調査を行っていたため、前回比較を行う際は回答者を合算して割合を計算しています。

○障がい児アンケート

- ◇ 設問によっては、前回（平成29年）において、障害児通所支援等を利用する障がい児の皆様を対象に行ったアンケートと比較している設問があります。

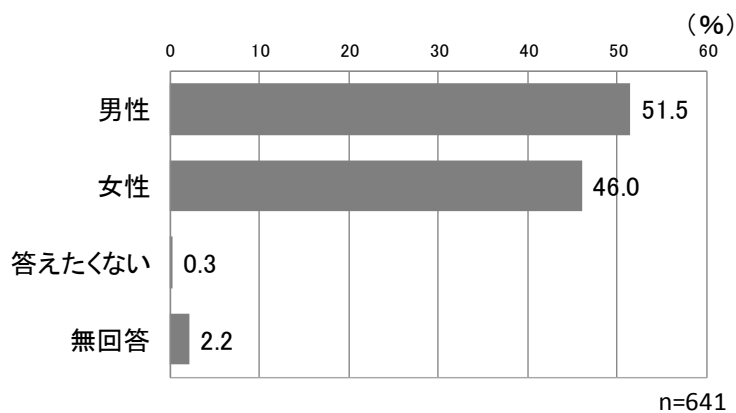
第2章 障がい者アンケート結果の詳細

問1 記入者（SA）

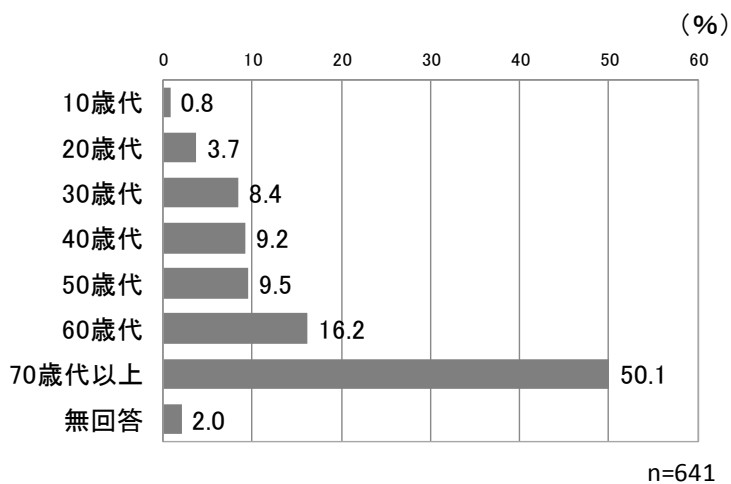


1 調査対象者のプロフィール

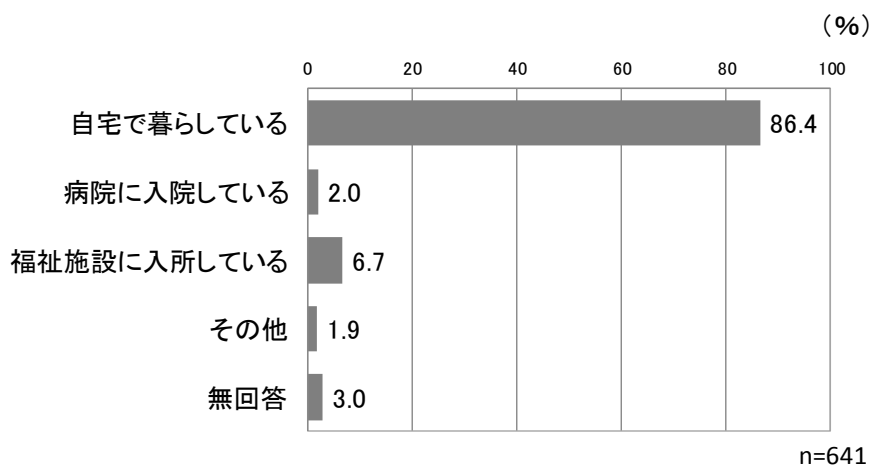
問2 性別 (SA)



問3 年齢 (SA)



問4 どこで暮らしているか (SA)



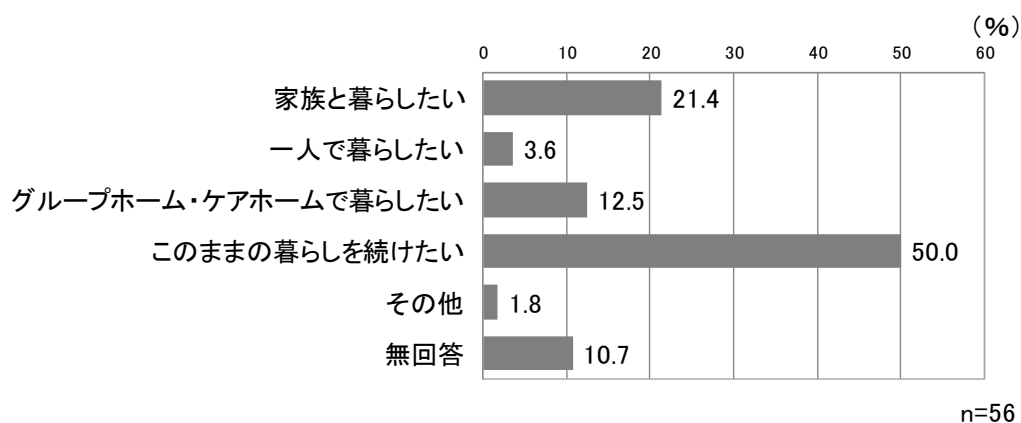
その他
・娘宅 等

問5 今後はどのように暮らしたいか (SA)

問4で「病院に入院している」「福祉施設に入所している」

○「このままの暮らしを続けたい」が最も多くなっています。

★「このままの暮らしを続けたい」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、各障がいで、それぞれ割合が最も高く、“10歳代～30歳代”では「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」の割合が最も高くなっています。また、精神障がいでは、「家族と暮らしたい」の割合が「このままの暮らしを続けたい」と同率で最も高くなっています。

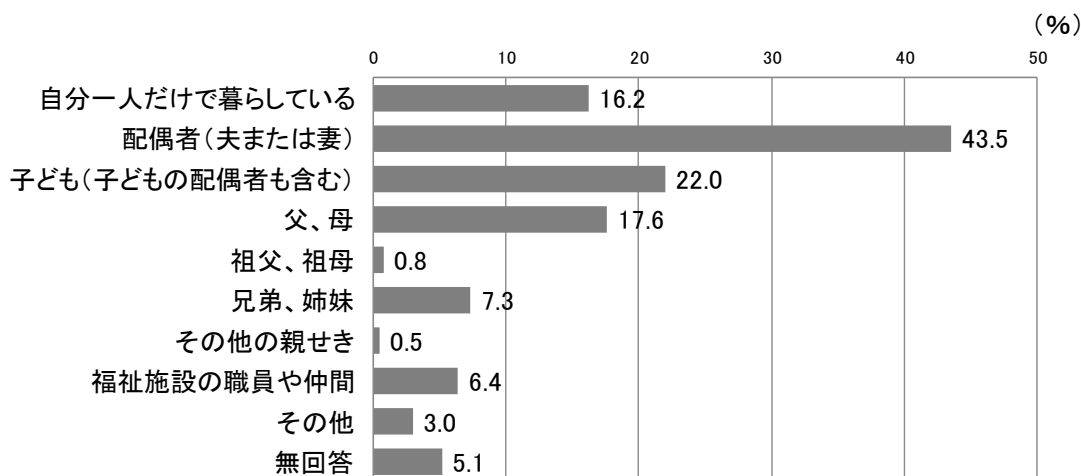


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問5 今後はどのように暮らしたいですか						
		家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホーム・ケアホームで暮らしたい	このままの暮らしを続けたい	その他	無回答	
全体	56 100.0	12 21.4	2 3.6	7 12.5	28 50.0	1 1.8	6 10.7	
年齢	10歳代～30歳代	8 100.0	1 12.5	0 0.0	4 50.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
	40歳代～50歳代	11 100.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2	6 54.5	0 0.0	2 18.2
	60歳代以上	37 100.0	11 29.7	1 2.7	1 2.7	19 51.4	1 2.7	4 10.8
障がいの種類	身体障がい	34 100.0	9 26.5	2 5.9	4 11.8	14 41.2	1 2.9	4 11.8
	知的障がい	17 100.0	2 11.8	0 0.0	4 23.5	10 58.8	0 0.0	1 5.9
	精神障がい	8 100.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5

問6 現在一緒に暮らしている人 (MA)

○「配偶者（夫または妻）」が最も多くなっています。

★「配偶者（夫または妻）」については、“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高く、その他の年齢、障がいでは「父、母」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



n=641

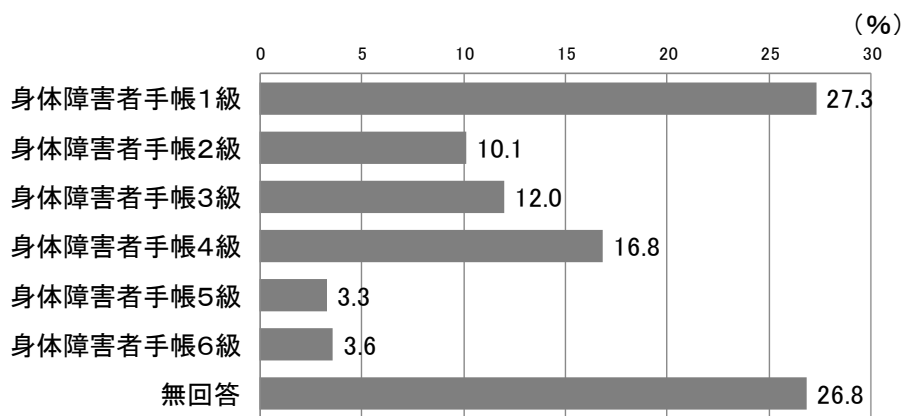
その他
・孫等

上段:人 下段:%	合計	問6 現在一緒に暮らしている人										
		自分一人 だけで暮 らしてい る	配偶者 (夫また は妻)	子ども (子ども の配偶者 も含む)	父、母	祖父、祖 母	兄弟、姉 妹	その他の 親せき	福祉施設 の職員や 仲間	その他	無回答	
全体	641 100.0	104 16.2	279 43.5	141 22.0	113 17.6	5 0.8	47 7.3	3 0.5	41 6.4	19 3.0	33 5.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	3 3.6	4 4.8	4 4.8	65 78.3	5 6.0	28 33.7	0 0.0	6 7.2	1 1.2	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	20 16.7	33 27.5	22 18.3	44 36.7	0 0.0	12 10.0	1 0.8	12 10.0	3 2.5	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	80 18.8	241 56.7	115 27.1	4 0.9	0 0.0	7 1.6	2 0.5	23 5.4	14 3.3	15 3.5
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	80 17.1	253 53.9	123 26.2	33 7.0	1 0.2	16 3.4	1 0.2	24 5.1	13 2.8	22 4.7
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	4 4.7	4 4.7	51 59.3	4 4.7	23 26.7	2 2.3	17 19.8	1 1.2	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	21 22.1	18 18.9	12 12.6	40 42.1	1 1.1	14 14.7	1 1.1	3 3.2	5 5.3	5 5.3

問7① 持っている身体障害者手帳の種類（SA）

○「身体障害者手帳1級」が最も多く、「身体障害者手帳2級」を合わせた『重度』は、37.4%となっています。

★「身体障害者手帳1級」については、各年齢で割合が最も高く、『重度』は“60歳代以上”では43.6%と最も高くなっています。



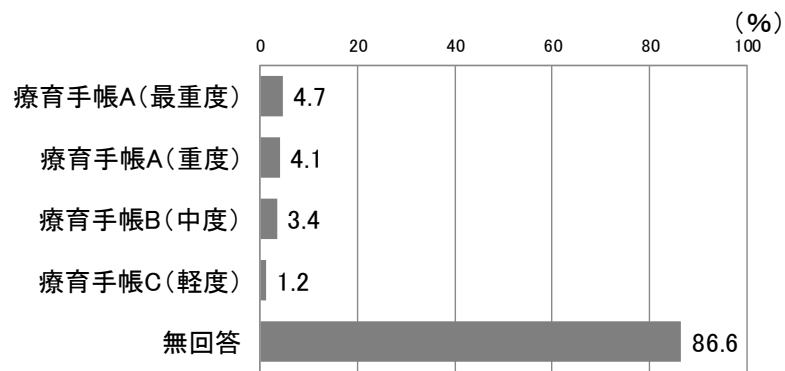
n=641

上段:人 下段:%	合計	問7① お持ちの身体障害者手帳の種類						無回答	
		身体障害者手帳1級	身体障害者手帳2級	身体障害者手帳3級	身体障害者手帳4級	身体障害者手帳5級	身体障害者手帳6級		
全体	641 100.0	175 27.3	65 10.1	77 12.0	108 16.8	21 3.3	23 3.6	172 26.8	
年齢	10歳代~30歳代	83 100.0	6 7.2	3 3.6	2 2.4	1 1.2	2 2.4	1 1.2	68 81.9
	40歳代~50歳代	120 100.0	26 21.7	15 12.5	9 7.5	9 7.5	4 3.3	3 2.5	54 45.0
	60歳代以上	425 100.0	141 33.2	44 10.4	65 15.3	97 22.8	14 3.3	18 4.2	46 10.8

問7② 持っている療育手帳の種類（SA）

○無回答を除く13.4%の中では、「療育手帳A（最重度）」が最も多く、「療育手帳A（重度）」を合わせた『重度』は8.8%となっています。

★「療育手帳A（最重度）」については、“10歳代～30歳代”で割合が最も高く、“40歳代～50歳代”では「療育手帳B」が、“60歳代以上”では「療育手帳A（重度）」が、それぞれ割合が最も高くなっています。また、『重度』の割合は、“10歳代～30歳代”が42.2%で最も高くなっています。

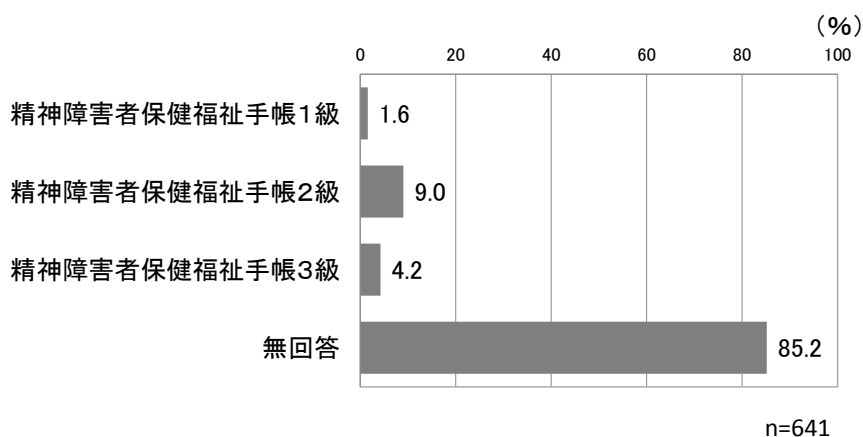


n=641

〔 上段:人 下段:% 〕		問7② お持ちの療育手帳の種類					
		合計	療育手帳 A (最重 度)	療育手帳 A (重 度)	療育手帳 B (中 度)	療育手帳 C (軽 度)	無回答
全体		641 100.0	30 4.7	26 4.1	22 3.4	8 1.2	555 86.6
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	24 28.9	11 13.3	13 15.7	4 4.8	31 37.3
	40歳代～50歳代	120 100.0	4 3.3	7 5.8	8 6.7	1 0.8	100 83.3
	60歳代以上	425 100.0	2 0.5	7 1.6	1 0.2	3 0.7	412 96.9

問7③ 持っている精神障害者保健福祉手帳の種類（SA）

○無回答を除く14.8%の中では、「精神障害者保健福祉手帳2級」が最も多くなっています。
 また、『重度』の「精神障害者保健福祉手帳1級」は1.6%となっています。
 ★「精神障害者保健福祉手帳2級」については、どの年齢も割合が最も高くなっています。
 また、『重度』の割合は、“10歳代～30歳代”が他の年齢に比較して若干高くなっています。



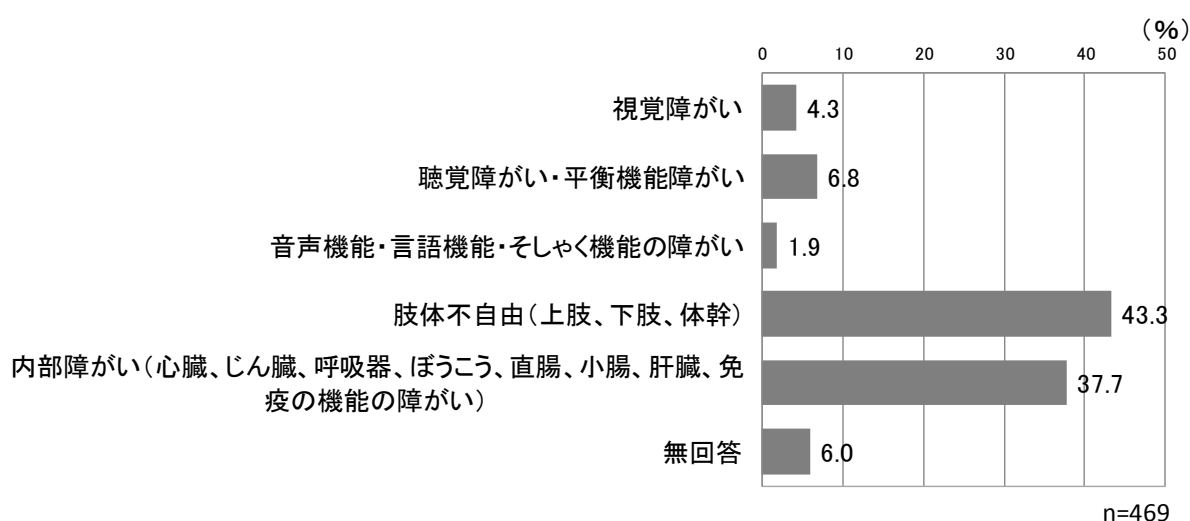
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問7③ お持ちの精神障害者保健福祉手帳の種類				
		精神障害者保健福祉手帳1級	精神障害者保健福祉手帳2級	精神障害者保健福祉手帳3級	無回答	
全体	641 100.0	10 1.6	58 9.0	27 4.2	546 85.2	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	2 2.4	13 15.7	9 10.8	59 71.1
	40歳代～50歳代	120 100.0	2 1.7	25 20.8	13 10.8	80 66.7
	60歳代以上	425 100.0	6 1.4	17 4.0	5 1.2	397 93.4

問8 主な障がいの種類 (SA)

問7①で身体障害者手帳の1級～6級を所持している

○「肢体不自由(上肢、下肢、体幹)」が最も多く、「内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能の障がい)」と続きます。

★「肢体不自由(上肢、下肢、体幹)」については、各年齢、“身体障がい”及び“知的障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。“精神障がい”では「視覚障がい」、「音声機能・言語機能・そしゃく機能の障がい」、「内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能の障がい)」の割合が同率で最も高くなっています。また、「内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能の障がい)」については、年齢的には“60歳代以上”で割合が最も高くなっています。

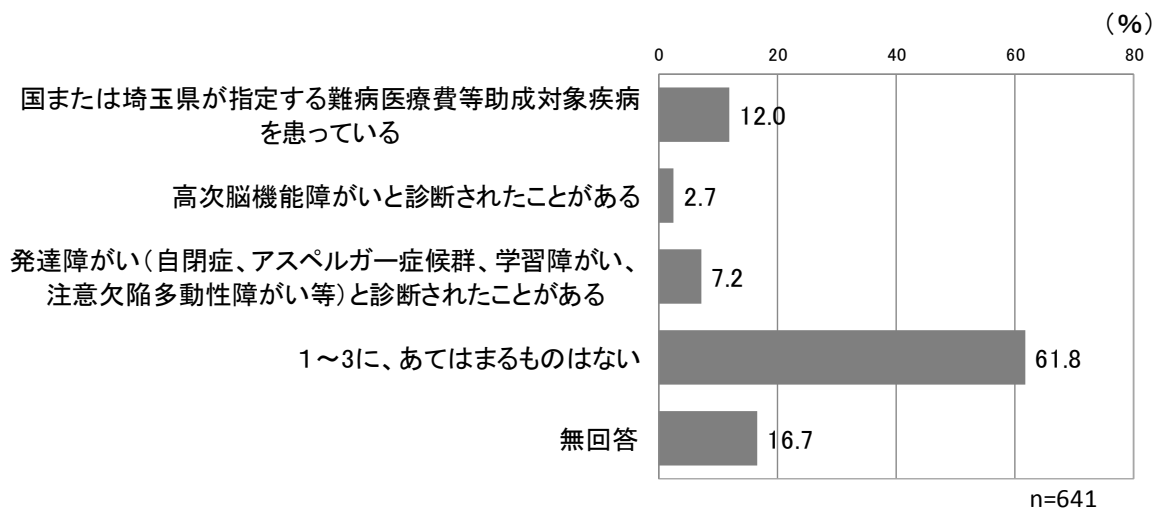


上段:人 下段:%	合計	問8 主な障がいの種類						
		視覚障がい	聴覚障がい・平衡機能障がい	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障がい	肢体不自由(上肢、下肢、体幹)	内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能の障がい)	無回答	
全体	469 100.0	20 4.3	32 6.8	9 1.9	203 43.3	177 37.7	28 6.0	
年齢	10歳代～30歳代	15 100.0	1 6.7	2 13.3	0 0.0	11 73.3	0 0.0	1 6.7
	40歳代～50歳代	66 100.0	8 12.1	5 7.6	1 1.5	25 37.9	21 31.8	6 9.1
	60歳代以上	379 100.0	10 2.6	24 6.3	7 1.8	164 43.3	154 40.6	20 5.3
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	20 4.3	32 6.8	9 1.9	203 43.3	177 37.7	28 6.0
	知的障がい	21 100.0	1 4.8	2 9.5	1 4.8	9 42.9	9 19.0	4 19.0
	精神障がい	11 100.0	2 18.2	1 9.1	2 18.2	1 9.1	2 18.2	3 27.3

問9 患っている疾病・診断を受けた疾病（MA）

○選択肢非該当及び無回答を除く21.9%が疾病・診断を受けたと回答し、その中では「国または埼玉県が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている」が最も多くなっています。

★「国または埼玉県が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている」については、“40歳代～50歳代”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。また、「発達障がい（自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等）と診断されたことがある」については、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”で、30%を超えて高くなっています。

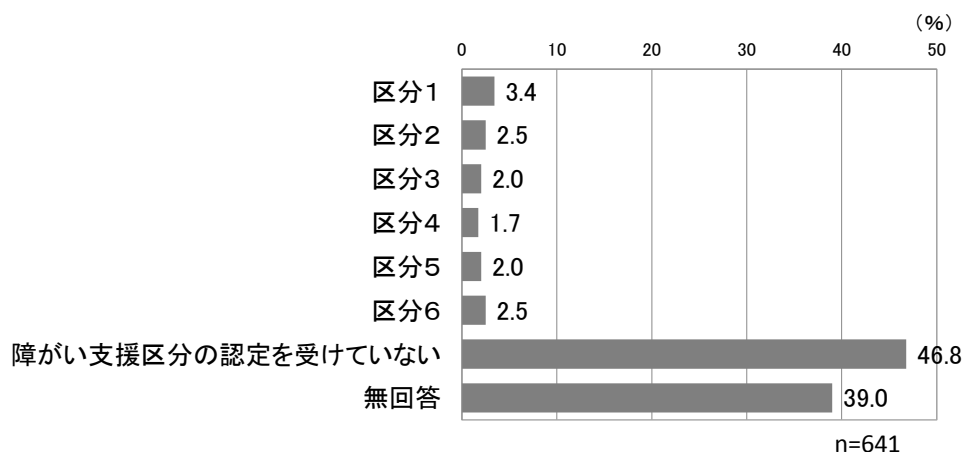


上段:人 下段:%	合計	問9 患っている疾病・診断を受けた疾病					
		国または埼玉県が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	高次脳機能障がいと診断されたことがある	発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等)と診断されたことがある	1～3に、あてはまるものはない	無回答	
全体	641 100.0	77 12.0	17 2.7	46 7.2	396 61.8	107 16.7	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	6 7.2	0 0.0	31 37.3	34 41.0	13 15.7
	40歳代～50歳代	120 100.0	18 15.0	5 4.2	10 8.3	63 52.5	24 20.0
	60歳代以上	425 100.0	53 12.5	12 2.8	3 0.7	290 68.2	68 16.0
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	70 14.9	14 3.0	5 1.1	312 66.5	69 14.7
	知的障がい	86 100.0	5 5.8	1 1.2	29 33.7	37 43.0	15 17.4
	精神障がい	95 100.0	1 1.1	3 3.2	14 14.7	59 62.1	18 18.9

問10 認定を受けている障がい支援区分（SA）

○「障がい支援区分の認定を受けていない」及び無回答を除くと、14.1%が『受けている』と回答しています。その中では、「区分1」が最も多くなっています。

★『受けている』については、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”で、それぞれ割合が最も高く、“10歳代～30歳代”では、「区分5」及び「区分6」が、“知的障がい”では「区分6」が、それぞれ割合が最も高くなっています。



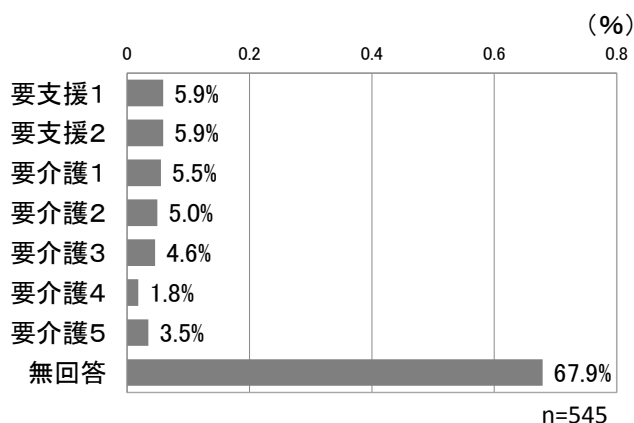
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問10 認定を受けている障がい支援区分						障がい支援区分の認定を受けていない	無回答	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6			
全体	641 100.0	22 3.4	16 2.5	13 2.0	11 1.7	13 2.0	16 2.5	300 46.8	250 39.0	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	2 2.4	4 4.8	4 4.8	8 9.6	10 12.0	10 12.0	30 36.1	15 18.1
	40歳代～50歳代	120 100.0	2 1.7	5 4.2	3 2.5	1 0.8	3 2.5	3 2.5	69 57.5	34 28.3
	60歳代以上	425 100.0	17 4.0	7 1.6	6 1.4	2 0.5	0 0.0	2 0.5	194 45.6	197 46.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	19 4.1	9 1.9	8 1.7	1 0.2	4 0.9	8 1.7	235 50.1	185 39.4
	知的障がい	86 100.0	3 3.5	5 5.8	5 5.8	10 11.6	11 12.8	13 15.1	17 19.8	22 25.6
	精神障がい	95 100.0	3 3.2	4 4.2	2 2.1	0 0.0	1 1.1	1 1.1	51 53.7	33 34.7

問11 受けている要介護認定（SA）

介護保険の要介護認定を受けている人

○無回答がおよそ70%と多く、要介護認定度では「要支援1」及び「要支援2」が最も多く、「要介護1」、「要介護2」、「要介護3」と大差なく続きます。

★“40歳代～50歳代”では、「要支援1」及び「要支援2」が、“60歳代以上”では「要支援1」、「要支援2」、「要介護1」が、それぞれ割合が最も高くなっています。また、“身体障がい”では「要支援2」が、“知的障がい”では「要支援1」、「要支援2」、「要介護1」が、“精神障がい”では「要支援1」が、それぞれ割合が最も高くなっています。

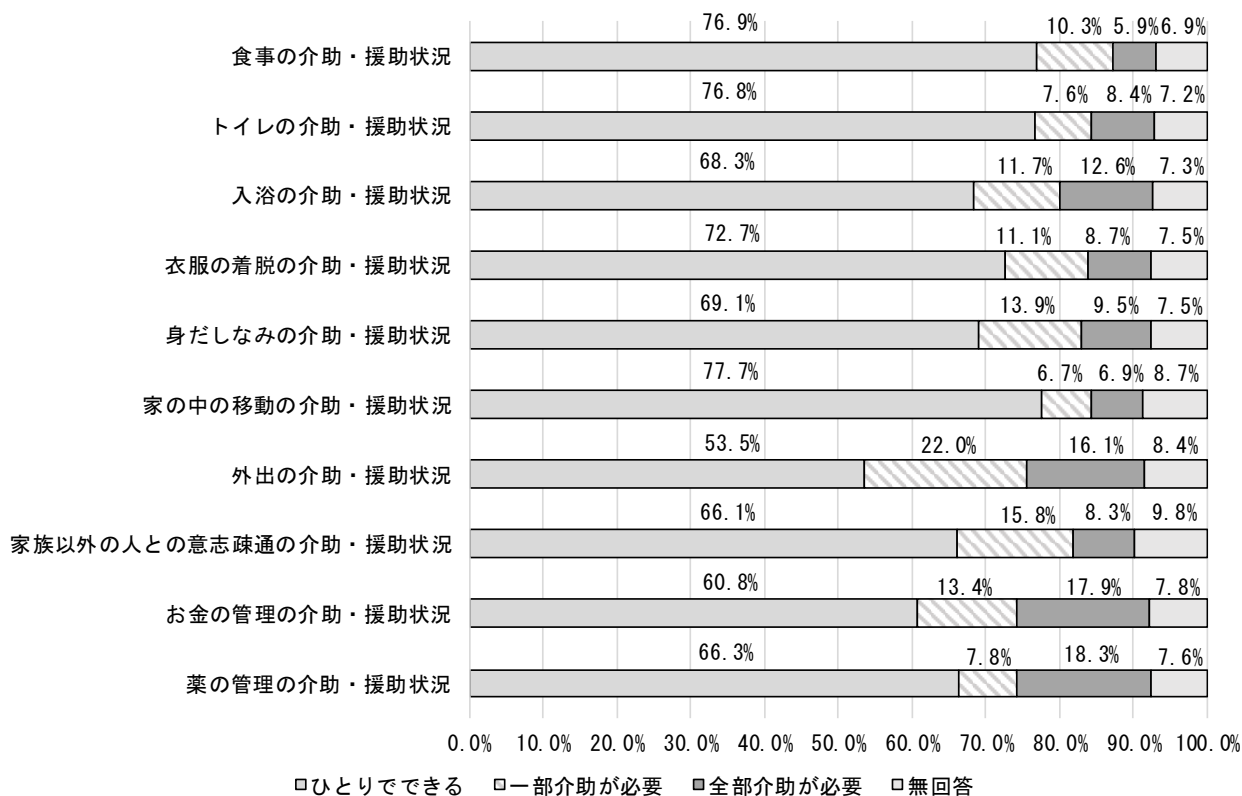


〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問11 認定を受けている要介護度							
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体		545 100.0	32 5.9	32 5.9	30 5.5	27 5.0	25 4.6	10 1.8	19 3.5	370 67.9
年齢	10歳代～30歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	3 2.5	3 2.5	1 0.8	1 0.8	1 0.8	2 1.7	2 1.7	107 89.2
	60歳代以上	425 100.0	29 6.8	29 6.8	29 6.8	26 6.1	24 5.6	8 1.9	17 4.0	263 61.9
障がいの種類	身体障がい	445 100.0	29 6.5	30 6.7	28 6.3	27 6.1	22 4.9	9 2.0	15 3.4	285 64.0
	知的障がい	33 100.0	2 6.1	2 6.1	2 6.1	1 3.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0	23 69.7
	精神障がい	68 100.0	3 4.4	1 1.5	2 2.9	1 1.5	2 2.9	1 1.5	2 2.9	56 82.4

2 介助について

問12 日常生活でできることについて（SA）

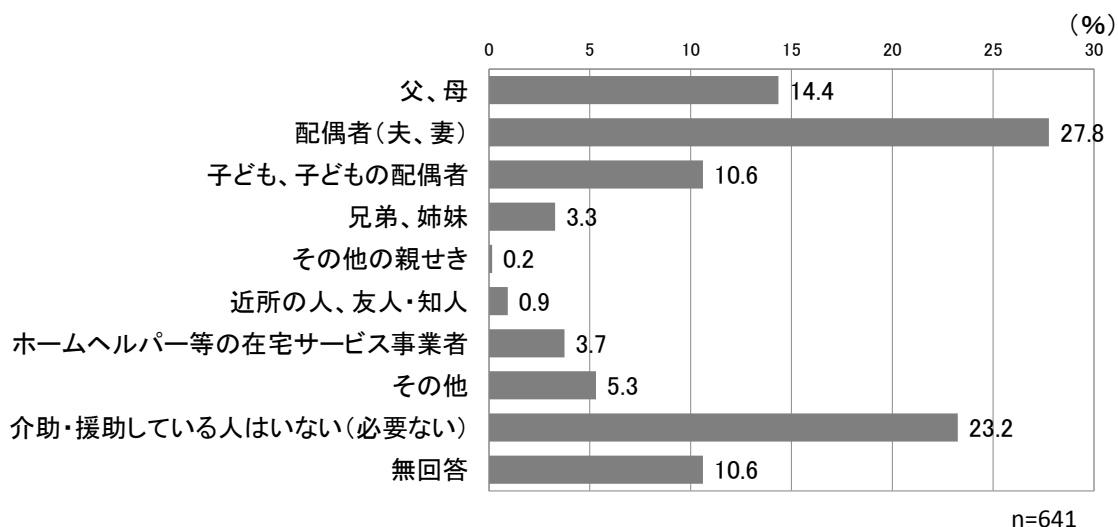
○「ひとりでできる」は、【家の中の移動】が最も多く、【食事】、【トイレ】、【衣服の着脱】と続き、それぞれ70%を超えています。一方、「全部介助が必要」は、【薬の管理】が最も多く、【お金の管理】、【外出】と続き、それぞれ10%を超えています。



問13 主な介助・援助者（SA）

○「介助・援助している人はいない（必要ない）」及び無回答を除くと、66.2%が『介助・援助をしている人がある（必要）』となっています。その中では「配偶者（夫、妻）」が最も多く、「父、母」、「子ども、子どもの配偶者」と続きます。

★『介助・援助をしている人がある（必要）』については、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。「父、母」については、“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”、“知的障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高く、「配偶者（夫、妻）」については、“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。



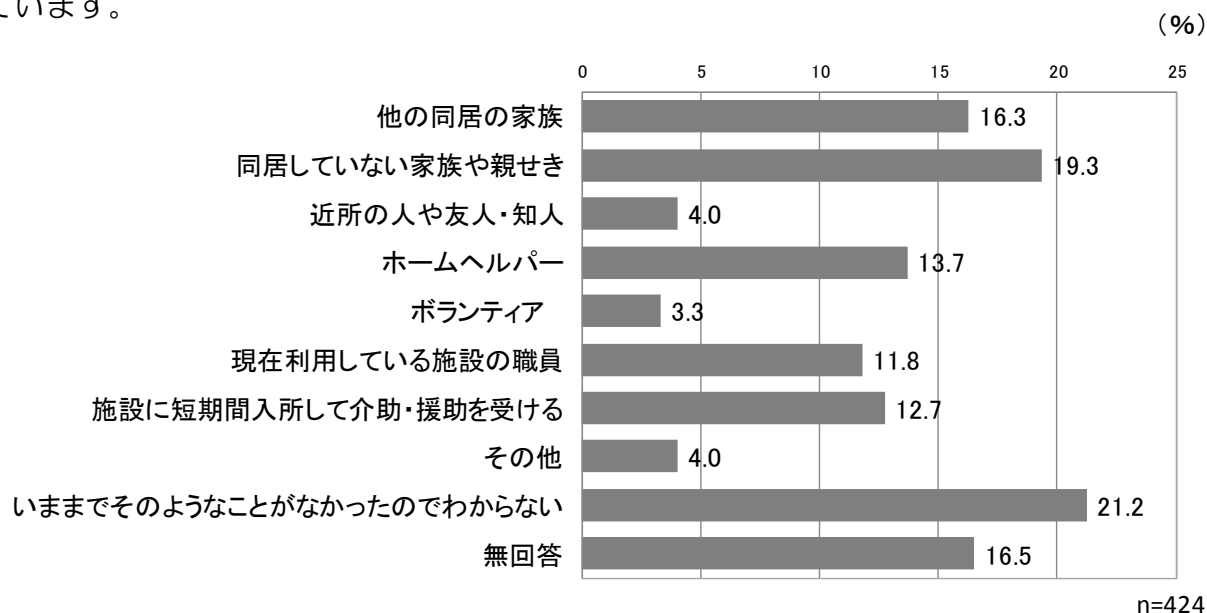
その他
・ 看護師 等

上段:人 下段:%	合計	問13 主な介助・援助者										
		父、母	配偶者(夫、妻)	子ども、子どもの配偶者	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他	介助・援助している人はいない(必要ない)	無回答	
全体	641	92	178	68	21	1	6	24	34	149	68	
	100.0	14.4	27.8	10.6	3.3	0.2	0.9	3.7	5.3	23.2	10.6	
年齢	10歳代～30歳代	83	55	0	1	1	0	0	2	4	17	3
		100.0	66.3	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	2.4	4.8	20.5	3.6
	40歳代～50歳代	120	30	22	2	8	0	1	8	9	30	10
	100.0	25.0	18.3	1.7	6.7	0.0	0.8	6.7	7.5	25.0	8.3	
60歳代以上	425	5	152	63	12	1	5	14	19	102	52	
	100.0	1.2	35.8	14.8	2.8	0.2	1.2	3.3	4.5	24.0	12.2	
障がいの種類	身体障がい	469	24	165	62	11	0	5	16	15	121	50
		100.0	5.1	35.2	13.2	2.3	0.0	1.1	3.4	3.2	25.8	10.7
	知的障がい	86	52	2	1	4	1	0	1	13	7	5
	100.0	60.5	2.3	1.2	4.7	1.2	0.0	1.2	15.1	8.1	5.8	
精神障がい	95	29	8	1	7	0	0	6	10	24	10	
	100.0	30.5	8.4	1.1	7.4	0.0	0.0	6.3	10.5	25.3	10.5	

問14 主たる介助・援助者が不在の場合に希望する介助・援助者（MA）

問13で、父、母、配偶者などに「介助・援助を受けている」と回答した人
 ○「今までそのようなことがなかったのでわからない」が最も多く、「同居していない家族や親せき」、「他の同居の家族」、「ホームヘルパー」と続きます。

★「今までそのようなことがなかったのでわからない」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。“10歳代～30歳代”では「他の同居の家族」が、“身体障がい”では「同居していない家族や親せき」が、“知的障がい”では「現在利用している施設の職員」が、それぞれ割合が最も高くなっています。



その他
 ・生活相談事業所の担当相談員
 ・民生委員 等

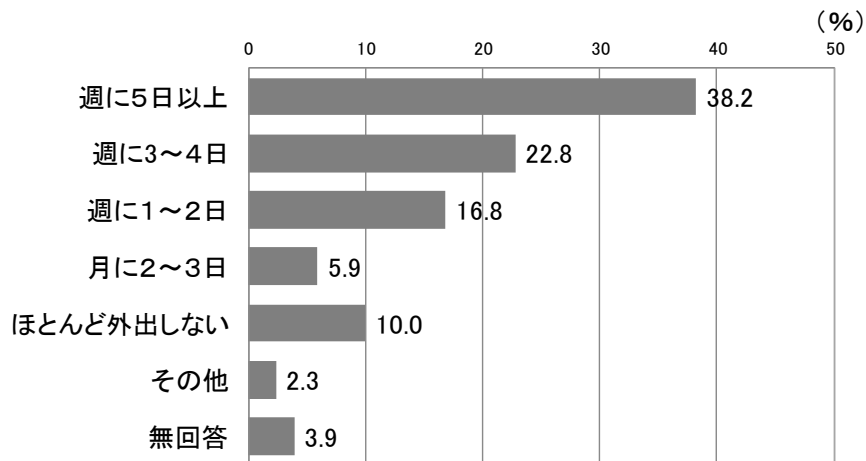
上段:人 下段:%	合計	問14 主な介助・援助者が不在の場合のしてもらいたい介助・援助者										
		他の同居の家族	同居していない家族や親せき	近所の人や友人・知人	ホームヘルパー	ボランティア	現在利用している施設の職員	施設に短期間入所して介助・援助を受ける	その他	いままでそのようなことがなかったのでわからない	無回答	
全体	424 100.0	69 16.3	82 19.3	17 4.0	58 13.7	14 3.3	50 11.8	54 12.7	17 4.0	90 21.2	70 16.5	
年齢	10歳代～30歳代	63 100.0	18 28.6	12 19.0	1 1.6	9 14.3	2 3.2	9 14.3	16 25.4	4 6.3	10 15.9	5 7.9
	40歳代～50歳代	80 100.0	12 15.0	12 15.0	5 6.3	9 11.3	3 3.8	15 18.8	6 7.5	2 2.5	21 26.3	10 12.5
	60歳代以上	271 100.0	38 14.0	57 21.0	11 4.1	39 14.4	7 2.6	24 8.9	32 11.8	11 4.1	58 21.4	52 19.2
障がいの種類	身体障がい	298 100.0	48 16.1	66 22.1	11 3.7	38 12.8	10 3.4	26 8.7	35 11.7	10 3.4	61 20.5	54 18.1
	知的障がい	74 100.0	18 24.3	9 12.2	1 1.4	11 14.9	2 2.7	19 25.7	17 23.0	3 4.1	11 14.9	7 9.5
	精神障がい	61 100.0	7 11.5	6 9.8	3 4.9	8 13.1	2 3.3	6 9.8	5 8.2	4 6.6	21 34.4	12 19.7

3 外出について

問15 外出の頻度 (SA)

○「週に5日以上」が最も多くなっています。一方、「ほとんど外出しない」が10.0%となっています。

★「週に5日以上」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。「ほとんど外出しない」については、“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が高くなっています。



n=641

その他
 ・月1回くらい
 ・年に3、4回 等

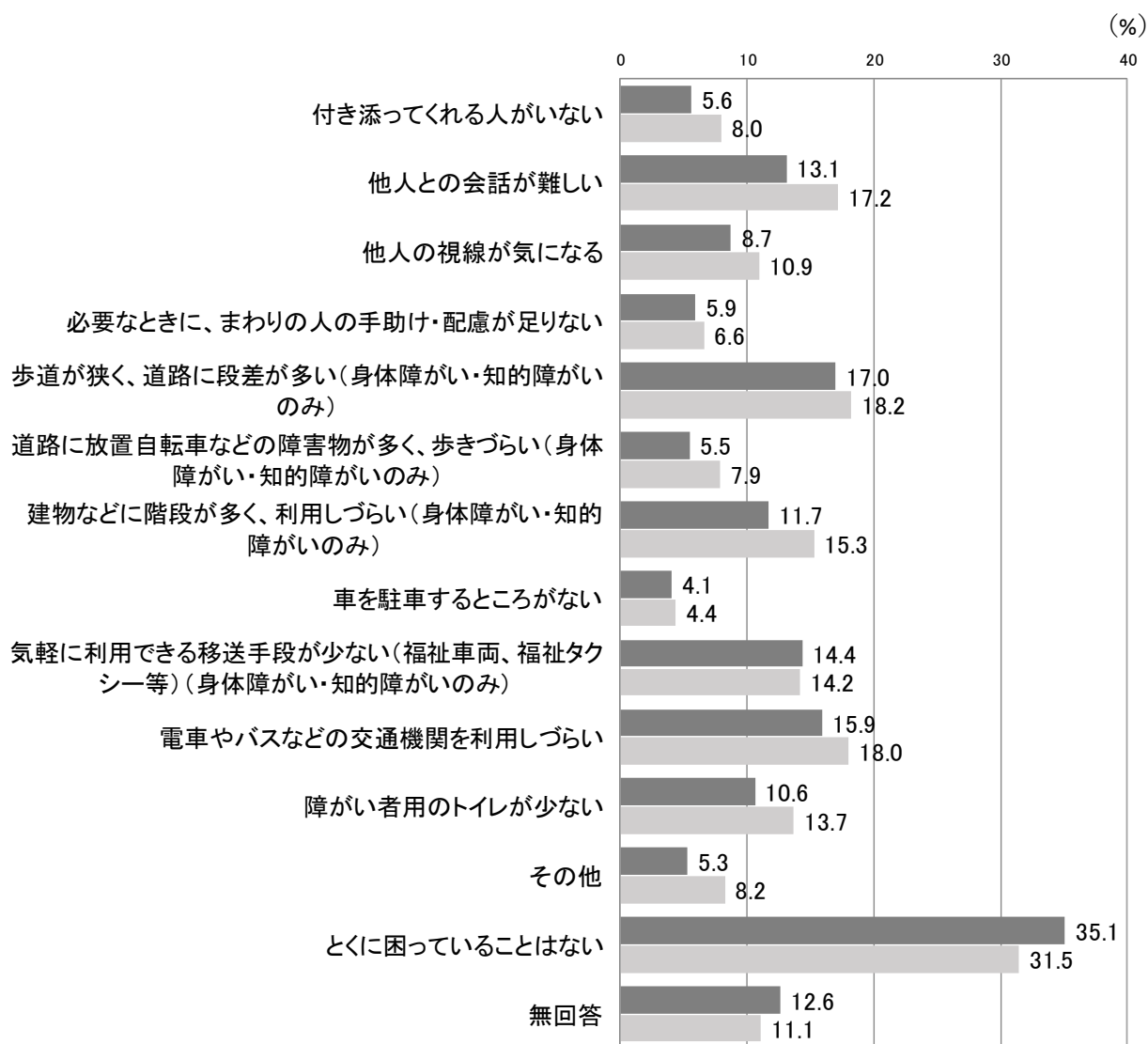
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問15 外出の頻度						
		週に5日 以上	週に3~ 4日	週に1~ 2日	月に2~ 3日	ほとんど 外出しな い	その他	無回答
全体	641 100.0	245 38.2	146 22.8	108 16.8	38 5.9	64 10.0	15 2.3	25 3.9
年齢	10歳代~30歳代	83 100.0	54 65.1	12 14.5	9 10.8	3 3.6	3 3.6	1 1.2
	40歳代~50歳代	120 100.0	56 46.7	21 17.5	19 15.8	8 6.7	9 7.5	3 2.5
	60歳代以上	425 100.0	133 31.3	109 25.6	79 18.6	27 6.4	51 12.0	10 2.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	166 35.4	119 25.4	78 16.6	28 6.0	51 10.9	9 1.9
	知的障がい	86 100.0	54 62.8	6 7.0	9 10.5	5 5.8	7 8.1	2 2.3
	精神障がい	95 100.0	37 38.9	23 24.2	15 15.8	4 4.2	8 8.4	4 4.2

問16 外出の際に困っていること (MA)

○「とくに困っていることはない」及び無回答を除くと、52.3%とおよそ半数が困っていることをあげています。その中では「歩道が狭く、道路に段差が多い」が最も多く、「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」、「気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉車両、福祉タクシー等)」と続きます。

●「とくに困っていることはない」が前回の31.5%より、やや上昇しました。

★「とくに困っていることはない」以外で、「歩道が狭く、道路に段差が多い」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が高く、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”では「他人との会話が難しい」が、“精神障がい”では「他人の視線が気になる」が、それぞれ割合が高くなっています。



- その他
- ・ 買い物をした荷物が運べない
 - ・ ベンチが少ない
 - ・ 自分の言動で相手を傷つけているか分からない等

今回調査 n=641
 前回調査 身体障がい n=529
 知的障がい n=107
 精神障がい n=92

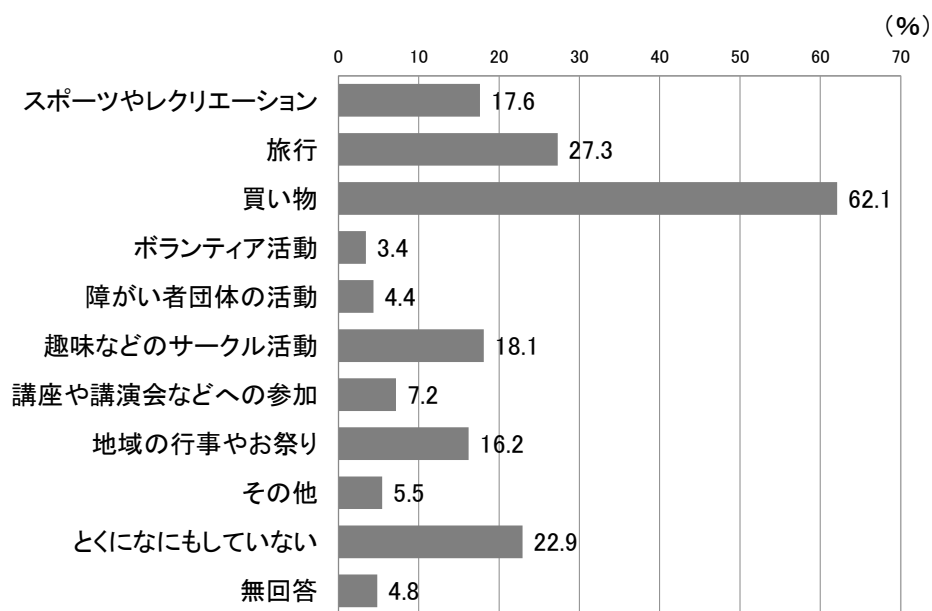
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問16 外出の際に困っていること							
		付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	他人の視線が気になる	必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない	歩道が狭く、道路に段差が多い	道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きづらい	建物などに階段が多く、利用しづらい	
全体	641 100.0	36 5.6	84 13.1	56 8.7	38 5.9	109 17.0	35 5.5	75 11.7	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	11 13.3	33 39.8	24 28.9	14 16.9	10 12.0	4 4.8	7 8.4
	40歳代～50歳代	120 100.0	7 5.8	16 13.3	22 18.3	13 10.8	26 21.7	11 9.2	14 11.7
	60歳代以上	425 100.0	16 3.8	33 7.8	9 2.1	10 2.4	69 16.2	18 4.2	51 12.0
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	17 3.6	38 8.1	14 3.0	22 4.7	90 19.2	31 6.6	64 13.6
	知的障がい	86 100.0	11 12.8	31 36.0	18 20.9	12 14.0	9 10.5	4 4.7	9 10.5
	精神障がい	95 100.0	5 5.3	17 17.9	27 28.4	7 7.4	12 12.6	1 1.1	9 9.5

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問16 外出の際に困っていること							
		車を駐車するところがない	気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉車両、福祉タクシー等)	電車やバスなどの交通機関を利用しづらい	障がい者の用のトイレが少ない	その他	とくに困っていることはない	無回答	
全体	641 100.0	26 4.1	92 14.4	102 15.9	68 10.6	34 5.3	225 35.1	81 12.6	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	3 3.6	11 13.3	27 32.5	15 18.1	6 7.2	19 22.9	4 4.8
	40歳代～50歳代	120 100.0	6 5.0	17 14.2	19 15.8	11 9.2	8 6.7	41 34.2	12 10.0
	60歳代以上	425 100.0	16 3.8	62 14.6	55 12.9	41 9.6	20 4.7	164 38.6	61 14.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	22 4.7	72 15.4	65 13.9	54 11.5	22 4.7	177 37.7	57 12.2
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	4 4.7	20 23.3	14 16.3	4 4.7	22 25.6	11 12.8
	精神障がい	95 100.0	2 2.1	16 16.8	21 22.1	7 7.4	7 7.4	30 31.6	11 11.6

問17 この1年くらいに行った活動（MA）

○「とくになにもしていない」及び無回答を除くと、72.3%がなんらかの活動を行っています。その中では、「買い物」が最も多くなっています。

★活動を行っている率は、“10歳代～30歳代”、“精神障がい”で、それぞれ最も高くなっています。また、各年齢、各障がいで「買い物」の割合が最も高くなっています。



n=641

- その他
- ・ 仕事
 - ・ 就職活動
 - ・ 施設内のイベント参加
 - ・ 散歩
 - ・ リハビリ 等

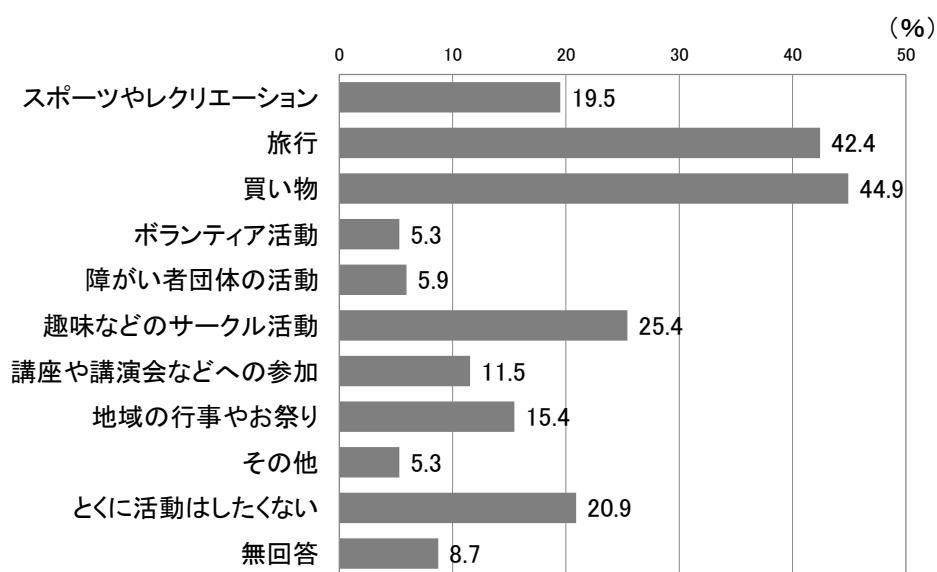
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問17 この1年くらいに行った活動						
		スポーツ やレクリ エーショ ン	旅行	買い物	ボラン ティア活 動	障がい者 団体の活 動	趣味など のサーク ル活動	
全体	641 100.0	113 17.6	175 27.3	398 62.1	22 3.4	28 4.4	116 18.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	22 26.5	26 31.3	62 74.7	3 3.6	12 14.5	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	18 15.0	39 32.5	86 71.7	3 2.5	6 5.0	21 17.5
	60歳代以上	425 100.0	71 16.7	109 25.6	244 57.4	16 3.8	8 1.9	84 19.8
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	72 15.4	129 27.5	284 60.6	14 3.0	11 2.3	95 20.3
	知的障がい	86 100.0	23 26.7	24 27.9	49 57.0	2 2.3	10 11.6	8 9.3
	精神障がい	95 100.0	16 16.8	21 22.1	64 67.4	4 4.2	9 9.5	15 15.8

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問17 この1年くらいに行った活動					
		講座や講 演会など への参加	地域の行 事やお祭 り	その他	とくにな にもして いない	無回答	
全体	641 100.0	46 7.2	104 16.2	35 5.5	147 22.9	31 4.8	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	5 6.0	12 14.5	8 9.6	10 12.0	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	13 10.8	19 15.8	4 3.3	21 17.5	7 5.8
	60歳代以上	425 100.0	26 6.1	71 16.7	23 5.4	114 26.8	20 4.7
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	33 7.0	75 16.0	22 4.7	118 25.2	23 4.9
	知的障がい	86 100.0	0 0.0	13 15.1	4 4.7	22 25.6	4 4.7
	精神障がい	95 100.0	12 12.6	14 14.7	7 7.4	17 17.9	4 4.2

問18 これからしたい活動（MA）

○「とくに活動はしたくない」及び無回答を除くと、70.4%が活動の希望をもっています。その中では、「買い物」が最も多く、「旅行」が僅差で続きます。

★『活動をしたい』の率は、“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”では80%を超え、“知的障がい”及び“精神障がい”では70%を超えています。活動の中で「買い物」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、各障がいで、それぞれ割合が最も高く、“10歳代～30歳代”では、「旅行」の割合が最も高くなっています。



n=641

その他

- ・仕事
- ・リハビリ
- ・学校へ行く
- ・貯金、家のリフォーム
- ・姉妹などとお会う
- ・友人との付き合い 等

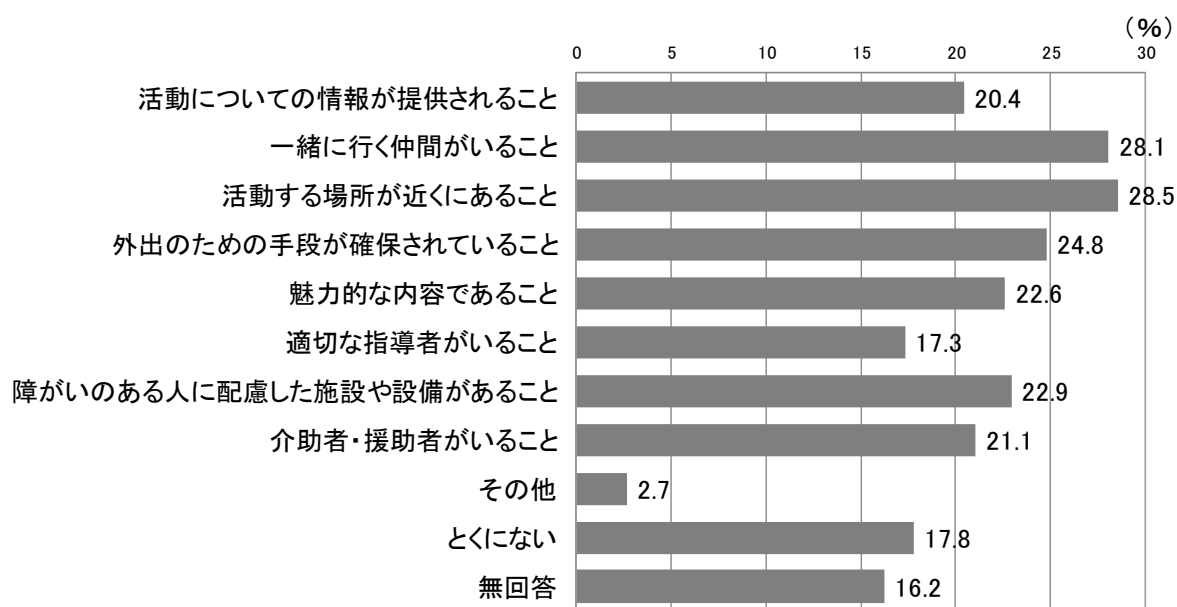
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問18 これからしたい活動						
		スポーツ やレクリ エーショ ン	旅行	買い物	ボラン ティア活 動	障がい者 団体の活 動	趣味など のサーク ル活動	
全体	641 100.0	125 19.5	272 42.4	288 44.9	34 5.3	38 5.9	163 25.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	27 32.5	50 60.2	49 59.0	4 4.8	13 15.7	18 21.7
	40歳代～50歳代	120 100.0	28 23.3	58 48.3	73 60.8	7 5.8	12 10.0	40 33.3
	60歳代以上	425 100.0	68 16.0	159 37.4	162 38.1	23 5.4	11 2.6	101 23.8
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	74 15.8	193 41.2	201 42.9	23 4.9	16 3.4	122 26.0
	知的障がい	86 100.0	24 27.9	40 46.5	45 52.3	3 3.5	13 15.1	14 16.3
	精神障がい	95 100.0	26 27.4	40 42.1	48 50.5	10 10.5	11 11.6	29 30.5

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問18 これからしたい活動						
		講座や講 演会など への参加	地域の行 事やお祭 り	その他	とくに活 動はした くない	無回答	活動をし たい	
全体	641 100.0	74 11.5	99 15.4	34 5.3	134 20.9	56 8.7	451 70.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	6 7.2	19 22.9	6 7.2	6 7.2	3 3.6	74 89.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	19 15.8	22 18.3	5 4.2	18 15.0	5 4.2	97 80.8
	60歳代以上	425 100.0	47 11.1	57 13.4	22 5.2	108 25.4	45 10.6	272 64.0
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	55 11.7	70 14.9	20 4.3	109 23.2	44 9.4	316 67.4
	知的障がい	86 100.0	1 1.2	18 20.9	2 2.3	11 12.8	7 8.1	68 79.1
	精神障がい	95 100.0	18 18.9	15 15.8	11 11.6	18 18.9	4 4.2	73 76.8

問19 活動に必要な条件（MA）

○「活動する場所が近くにあること」が最も多く、「一緒に行く仲間がいること」が僅差で続きます。

★「活動する場所が近くにあること」については、“60歳代以上”、“身体障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高く、“10歳代～30歳代”では「障がいのある人に配慮した施設や設備があること」が、“40歳代～50歳代”では「一緒に行く仲間がいること」が、“知的障がい”では「介助者・援助者がいること」が、それぞれ割合が最も高くなっています。



n=641

その他
 ・金銭的な余裕
 ・理解ある人がいること 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問19 活動に必要な条件						
		活動につ いての情 報が提供 されるこ と	一緒に行 く仲間が いること	活動する 場所が近 くにある こと	外出のた めの手段 が確保さ れている こと	魅力的な 内容であ ること	適切な指 導者がい ること	
全体	641 100.0	131 20.4	180 28.1	183 28.5	159 24.8	145 22.6	111 17.3	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	34 41.0	33 39.8	37 44.6	29 34.9	25 30.1	28 33.7
	40歳代～50歳代	120 100.0	36 30.0	42 35.0	37 30.8	36 30.0	34 28.3	23 19.2
	60歳代以上	425 100.0	59 13.9	102 24.0	107 25.2	92 21.6	83 19.5	58 13.6
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	79 16.8	120 25.6	126 26.9	116 24.7	102 21.7	67 14.3
	知的障がい	86 100.0	24 27.9	33 38.4	28 32.6	24 27.9	18 20.9	19 22.1
	精神障がい	95 100.0	29 30.5	28 29.5	35 36.8	23 24.2	28 29.5	29 30.5

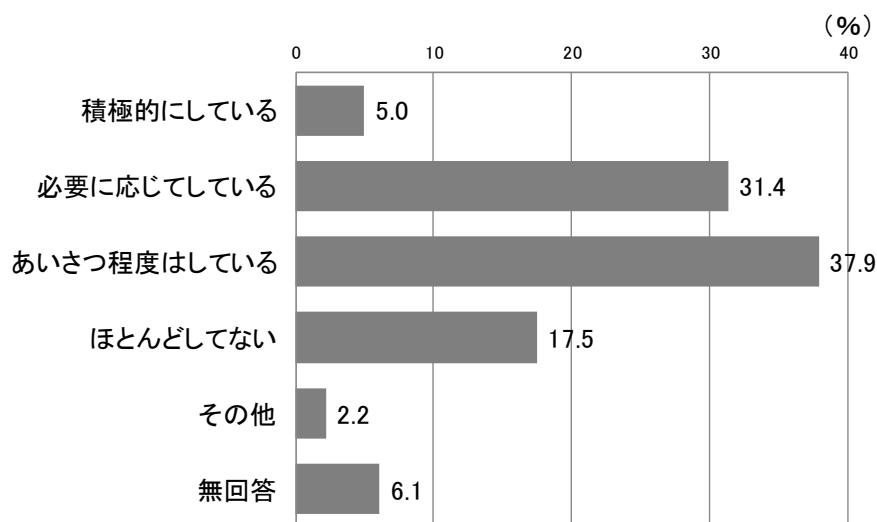
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問19 活動に必要な条件					
		障がいの ある人に 配慮した 施設や設 備がある こと	介助者・ 援助者が いること	その他	とくにな い	無回答	
全体	641 100.0	147 22.9	135 21.1	17 2.7	114 17.8	104 16.2	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	38 45.8	33 39.8	3 3.6	7 8.4	5 6.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	34 28.3	28 23.3	7 5.8	21 17.5	12 10.0
	60歳代以上	425 100.0	73 17.2	72 16.9	6 1.4	85 20.0	82 19.3
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	102 21.7	91 19.4	5 1.1	89 19.0	82 17.5
	知的障がい	86 100.0	32 37.2	34 39.5	1 1.2	10 11.6	15 17.4
	精神障がい	95 100.0	19 20.0	16 16.8	10 10.5	14 14.7	9 9.5

4 地域での生活について

問20 ご近所とのつきあい状況（SA）

○「あいさつ程度はしている」が最も多くなっています。

★「あいさつ程度はしている」については、“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”、“知的障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。“60歳代以上”、“身体障がい”では「必要に応じてしている」の割合が最も高くなっています。また、「ほとんどしていない」については、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”及び“精神障がい”では、30%を超えています。



n=641

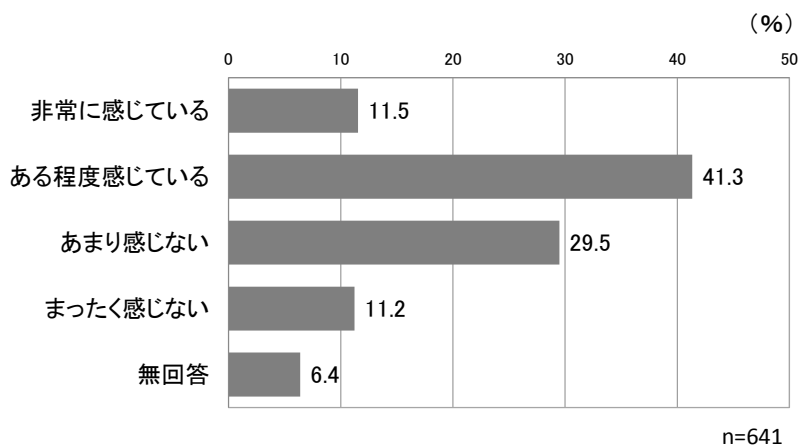
その他
・全くしていない

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問20 ご近所とのつきあい状況						
		積極的に している	必要に 応じて して いる	あいさ つ程 度は し て い る	ほと んど し て い な い	その 他	無 回 答	
全体	641	32	201	243	112	14	39	
	100.0	5.0	31.4	37.9	17.5	2.2	6.1	
年 齢	10歳代～30歳代	83	3	12	35	29	3	1
		100.0	3.6	14.5	42.2	34.9	3.6	1.2
	40歳代～50歳代	120	2	29	52	29	1	7
	100.0	1.7	24.2	43.3	24.2	0.8	5.8	
60歳代以上	425	25	158	153	50	10	29	
	100.0	5.9	37.2	36.0	11.8	2.4	6.8	
	障 が い の 種 類	身体障がい	469	21	176	175	62	7
	100.0	4.5	37.5	37.3	13.2	1.5	6.0	
	知的障がい	86	2	13	35	28	3	5
	100.0	2.3	15.1	40.7	32.6	3.5	5.8	
	精神障がい	95	4	15	37	30	3	6
	100.0	4.2	15.8	38.9	31.6	3.2	6.3	

問21 地域の人や社会に支えられていると感じるか（SA）

○「ある程度感じている」が最も多く、「非常に感じている」を合わせた『感じている』は52.8%となっています。

★各年齢、各障がいで「ある程度感じている」の割合が最も高く、『感じている』については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”及び“知的障がい”で50%を超えています。

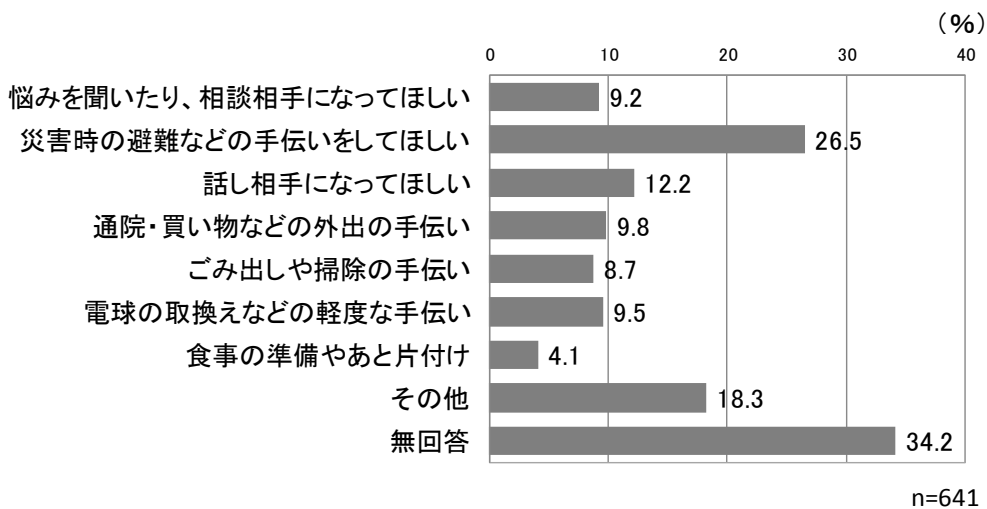


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問21 地域の人や社会に支えられていると感じますか					
		非常に感 じている	ある程度 感じてい る	あまり感 じない	まったく 感じない	無回答	
全体	641 100.0	74 11.5	265 41.3	189 29.5	72 11.2	41 6.4	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	8 9.6	33 39.8	25 30.1	16 19.3	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	18 15.0	47 39.2	32 26.7	19 15.8	4 3.3
	60歳代以上	425 100.0	47 11.1	178 41.9	130 30.6	36 8.5	34 8.0
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	55 11.7	207 44.1	135 28.8	43 9.2	29 6.2
	知的障がい	86 100.0	15 17.4	34 39.5	23 26.7	12 14.0	2 2.3
	精神障がい	95 100.0	14 14.7	31 32.6	30 31.6	17 17.9	3 3.2

問22 地域の身近な人に手助けしてほしいこと (MA)

○無回答を除くと、「災害時の避難などの手伝いをしてほしい」が最も多くなっています。

★「災害時の避難などの手伝いをしてほしい」については、各年齢、“身体障がい”及び“知的障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。“精神障がい”では、「悩みを聞いたり、相談相手になってほしい」の割合が最も高くなっています。



- その他

 - ・ 本人に声をかけて欲しい
 - ・ 70歳以上になった時に安否確認
 - ・ 手話通訳
 - ・ 仕事時の保証人になって欲しい
 - ・ 農業 等

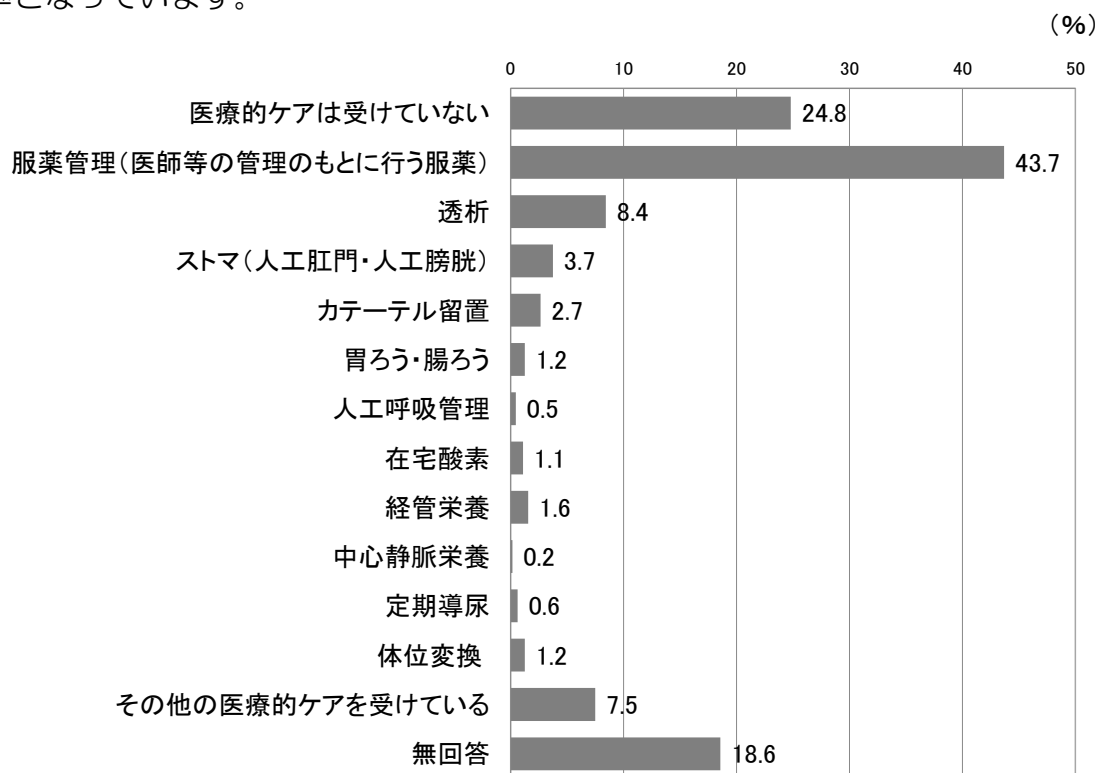
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問22 地域の身近な人に手助けしてほしいこと									
		悩みを聞いたり、相談相手になってほしい	災害時の避難などの手伝いをしてほしい	話し相手になってほしい	通院・買い物などの外出の手伝い	ごみ出しや掃除の手伝い	電球の取換えなどの軽度な手伝い	食事の準備やあと片付け	その他	無回答	
全体	641 100.0	59 9.2	170 26.5	78 12.2	63 9.8	56 8.7	61 9.5	4.1	117 18.3	219 34.2	
年齢	10歳代~30歳代	83 100.0	10 12.0	34 41.0	8 9.6	8 9.6	6 7.2	1 1.2	2 2.4	15 18.1	25 30.1
	40歳代~50歳代	120 100.0	24 20.0	31 25.8	16 13.3	12 10.0	14 11.7	11 9.2	5 4.2	24 20.0	32 26.7
	60歳代以上	425 100.0	23 5.4	102 24.0	52 12.2	42 9.9	34 8.0	46 10.8	19 4.5	78 18.4	157 36.9
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	27 5.8	123 26.2	55 11.7	46 9.8	39 8.3	50 10.7	16 3.4	88 18.8	161 34.3
	知的障がい	86 100.0	10 11.6	34 39.5	8 9.3	12 14.0	8 9.3	4 4.7	1 1.2	11 12.8	30 34.9
	精神障がい	95 100.0	27 28.4	21 22.1	16 16.8	8 8.4	14 14.7	8 8.4	8 8.4	16 16.8	26 27.4

5 医療や健康管理について

問23 現在受けている医療的ケア（MA）

○「医療的ケアは受けていない」が24.8%で、回答者のおよそ4分の3が『医療的ケアを受けている』こととなります。その中で、「服薬管理（医師等の管理のもとに行う服薬）」が最も多くなっています。

★「服薬管理（医師等の管理のもとに行う服薬）」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっていますが、“10歳代～30歳代”では、「医療的ケアは受けていない」が同率となっています。



n=641

その他

- ・ 訪問看護
- ・ マッサージ
- ・ ペースメーカー
- ・ 定期健診 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問23 現在受けている医療的ケア						
		医療的ケアは受けていない	服薬管理 (医師等の管理のもとに行う服薬)	透析	ストマ (人工肛門・人工膀胱)	カテーテル留置	胃ろう・腸ろう	人工呼吸管理
全体	641 100.0	159 24.8	280 43.7	54 8.4	24 3.7	17 2.7	8 1.2	3 0.5
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	33 39.8	33 39.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	37 30.8	54 45.0	13 10.8	4 3.3	2 1.7	1 0.8
	60歳代以上	425 100.0	87 20.5	187 44.0	41 9.6	19 4.5	14 3.3	7 1.6
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	107 22.8	197 42.0	53 11.3	22 4.7	14 3.0	7 1.5
	知的障がい	86 100.0	30 34.9	37 43.0	1 1.2	1 1.2	0 0.0	1 1.2
	精神障がい	95 100.0	26 27.4	52 54.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問23 現在受けている医療的ケア						
		在宅酸素	経管栄養	中心静脈 栄養	定期導尿	体位変換	その他の 医療的ケアを受けている	無回答
全体	641 100.0	7 1.1	10 1.6	1 0.2	4 0.6	8 1.2	48 7.5	119 18.6
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 10.8	12 14.5
	40歳代～50歳代	120 100.0	0 0.0	2 1.7	0 0.0	1 0.8	4 3.3	16 13.3
	60歳代以上	425 100.0	7 1.6	8 1.9	1 0.2	4 0.9	7 1.6	34 8.0
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	7 1.5	8 1.7	1 0.2	4 0.9	8 1.7	33 7.0
	知的障がい	86 100.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	1 1.2	8 9.3
	精神障がい	95 100.0	0 0.0	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 9.5

問24 健康管理や医療で困ったり不便なこと (MA)

○「とくに困ったことはない」が43.5%で、半数を超える人が困っていることをあげています。その中では「医療費の負担が大きい」が最も多くなっています。

★各年齢、各障がいで「とくに困ったことはない」の割合が最も高く、「医療費の負担が大きい」については、“40歳代～50歳代”、“精神障がい”で、それぞれ割合が高くなっています。



n=641

その他

- ・ 医療機関が遠方にある為、通院に費用がかかる。
- ・ 診療拒否される。
- ・ 本人が症状を訴えられない事も有り介護者が常に気を配らなくてはいけない。

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問24 健康管理や医療で困ったり不便なこと							
		とくに 困ったこ とはない	近所に診 てくれる 医者がい ない	専門的な 治療を行 う医療機 関がない	通院や健 康診断の ときに付 き添いが いない	往診を頼 める医者 がいない	歯科診療 を受けら れない	定期的に 健康診断 を受けら れない	
全体	641 100.0	279 43.5	38 5.9	40 6.2	26 4.1	39 6.1	22 3.4	18 2.8	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	32 38.6	10 12.0	9 10.8	5 6.0	6 7.2	6 7.2	7 8.4
	40歳代～50歳代	120 100.0	46 38.3	10 8.3	8 6.7	7 5.8	10 8.3	6 5.0	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	193 45.4	18 4.2	22 5.2	14 3.3	22 5.2	10 2.4	5 1.2
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	221 47.1	21 4.5	26 5.5	14 3.0	28 6.0	11 2.3	7 1.5
	知的障がい	86 100.0	37 43.0	7 8.1	6 7.0	8 9.3	6 7.0	6 7.0	6 7.0
	精神障がい	95 100.0	32 33.7	10 10.5	9 9.5	5 5.3	6 6.3	4 4.2	7 7.4

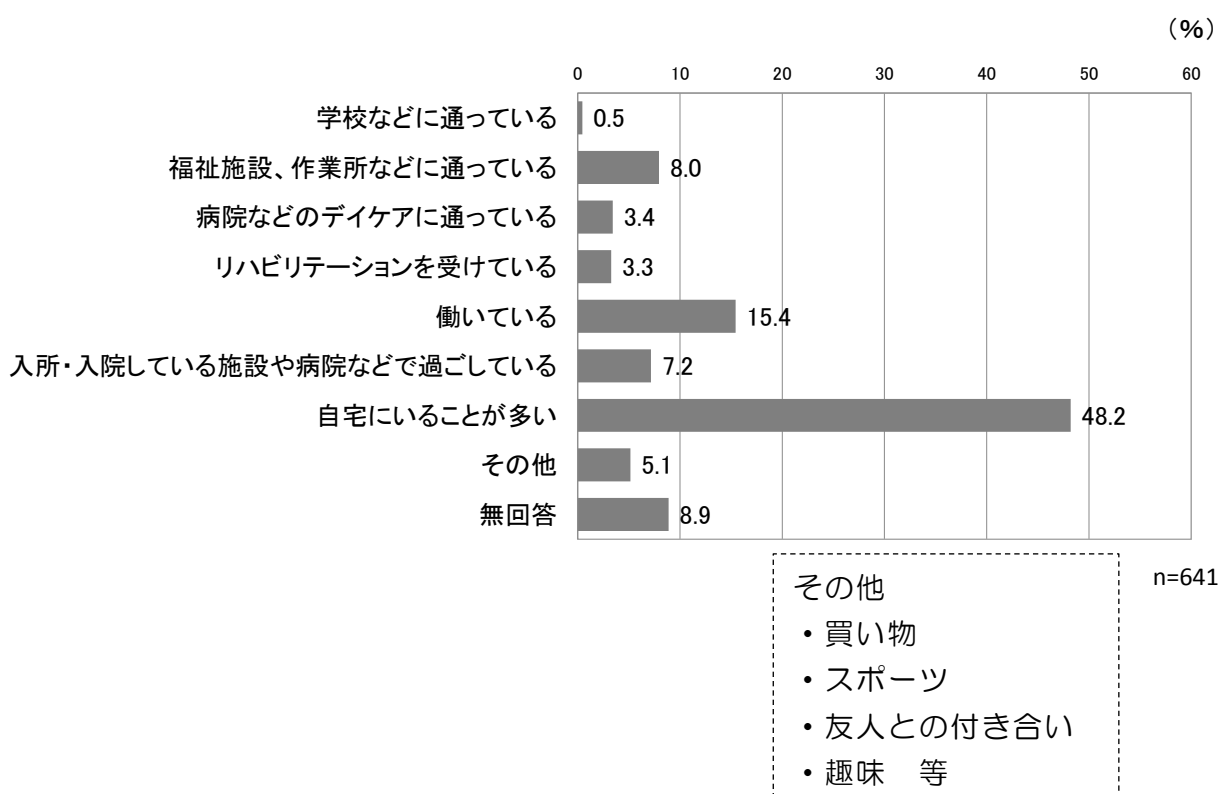
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問24 健康管理や医療で困ったり不便なこと							
		障がいの ために症 状が正確 に伝わら ず、必要 な治療が 受けられ ない	医療ス タッフ (医師、 看護師 等)の障 がいに對 する理解 が不十分	受診手続 きなど、 障がいの ある人へ の配慮が 不十分	医療機関 のある建 物が障が いのある 人に配慮 した構造 になって いない	医療費の 負担が大 きい	その他	無回答	
全体	641 100.0	34 5.3	36 5.6	36 5.6	22 3.4	106 16.5	41 6.4	110 17.2	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	10 12.0	10 12.0	13 15.7	3 3.6	11 13.3	11 13.3	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	8 6.7	11 9.2	8 6.7	7 5.8	27 22.5	8 6.7	19 15.8
	60歳代以上	425 100.0	14 3.3	14 3.3	15 3.5	10 2.4	67 15.8	22 5.2	81 19.1
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	15 3.2	20 4.3	19 4.1	20 4.3	73 15.6	26 5.5	80 17.1
	知的障がい	86 100.0	11 12.8	9 10.5	11 12.8	2 2.3	5 5.8	4 4.7	18 20.9
	精神障がい	95 100.0	8 8.4	9 9.5	6 6.3	2 2.1	26 27.4	10 10.5	15 15.8

6 日中の過ごし方について

問25 平日日中の主な過ごし方（SA）

○70歳代以上が半数を占めることを反映し、「自宅にすることが多い」が最も多くなっています。また、「働いている」が15.4%となっています。

★「自宅にすることが多い」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高く、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”では「福祉施設、作業所などに通っている」の割合が最も高くなっています。また、「働いている」については、“40歳代～50歳代”、“精神障がい”で、それぞれ割合が高くなっています。



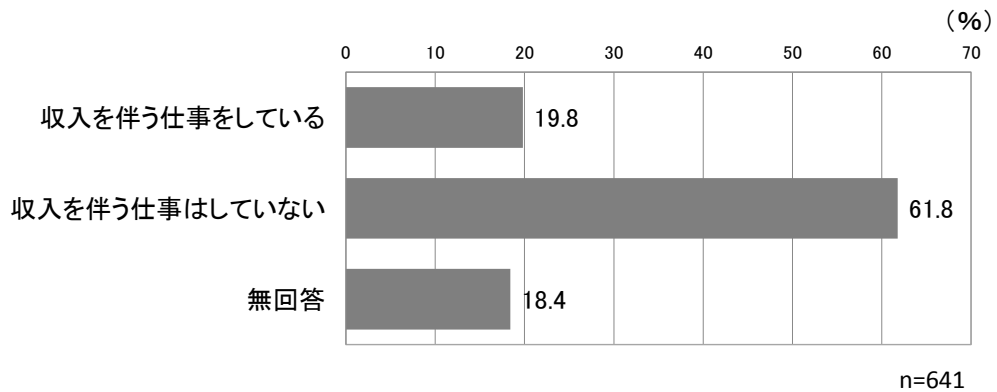
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問25 平日日中の主な過ごし方								
		学校など に通って いる	福祉施 設、作業 所などに 通って いる	病院など のデイケ アに通っ ている	リハビリ テーショ ンを受け ている	働いて いる	入所・入 院してい る施設 や病院 などで 過ごし ている	自宅にい ることが 多い	その他	無回答
全体	641 100.0	3 0.5	51 8.0	22 3.4	21 3.3	99 15.4	46 7.2	309 48.2	33 5.1	57 8.9
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	2 2.4	33 39.8	2 2.4	0 0.0	19 22.9	4 4.8	17 20.5	4 2.4
	40歳代～50歳代	120 100.0	1 0.8	13 10.8	3 2.5	0 0.0	41 34.2	6 5.0	44 36.7	4 3.3
	60歳代以上	425 100.0	0 0.0	4 0.9	16 3.8	20 4.7	38 8.9	35 8.2	244 57.4	24 5.6
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	2 0.4	15 3.2	17 3.6	21 4.5	66 14.1	30 6.4	250 53.3	24 5.1
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	38 44.2	0 0.0	0 0.0	12 14.0	11 12.8	16 18.6	1 1.2
	精神障がい	95 100.0	0 0.0	8 8.4	6 6.3	0 0.0	20 21.1	8 8.4	39 41.1	8 8.4

7 仕事について

問26 収入を伴う仕事をしているか（SA）

○「収入を伴う仕事はしていない」が最も多くなっています。

★「収入を伴う仕事はしていない」については、“10歳代～30歳代”及び“60歳代以上”、各障がいで、それぞれ割合が最も高く、“40歳代～50歳代”では「収入を伴う仕事をしている」の割合が最も高くなっています。



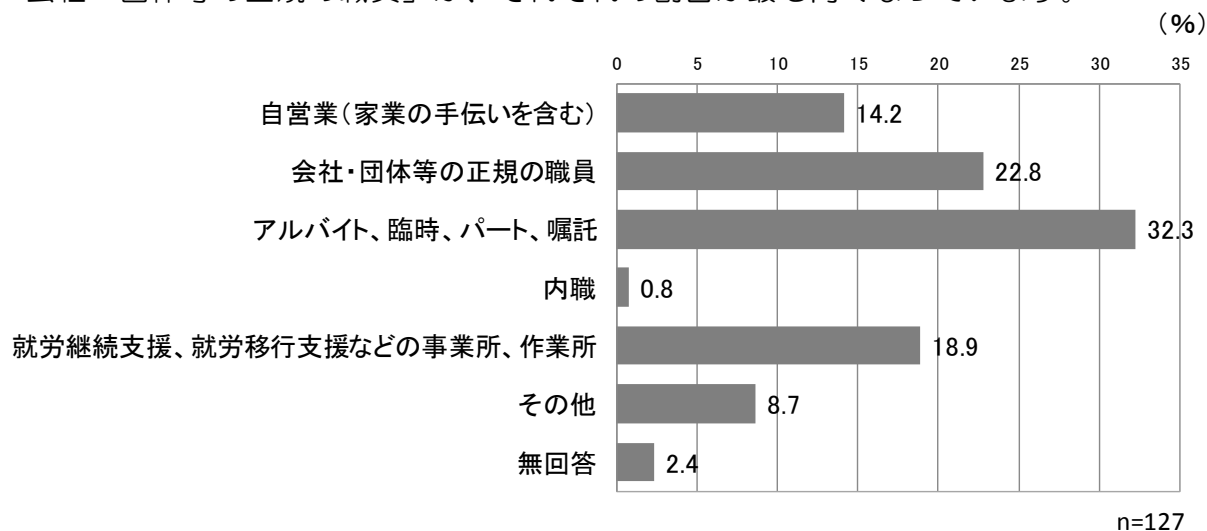
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問26 収入を伴う仕事をしていますか			
		収入を伴う仕事をしている	収入を伴う仕事はしていない	無回答	
全体	641 100.0	127 19.8	396 61.8	118 18.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	30 36.1	40 48.2	13 15.7
	40歳代～50歳代	120 100.0	54 45.0	47 39.2	19 15.8
	60歳代以上	425 100.0	41 9.6	304 71.5	80 18.8
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	73 15.6	312 66.5	84 17.9
	知的障がい	86 100.0	26 30.2	44 51.2	16 18.6
	精神障がい	95 100.0	25 26.3	50 52.6	20 21.1

問27 仕事の形態 (SA)

問26で「収入を伴う仕事をしている」と回答した人限

○「アルバイト、臨時、パート、嘱託」が最も多くなっています。

★「アルバイト、臨時、パート、嘱託」については、“60歳代以上”、“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。“10歳代～30歳代”、“知的障がい”では「就労継続支援、就労移行支援などの事業所、作業所」が、“40歳代～50歳代”、“身体障がい”では「会社・団体等の正規の職員」が、それぞれの割合が最も高くなっています。



その他
・不動産管理 等

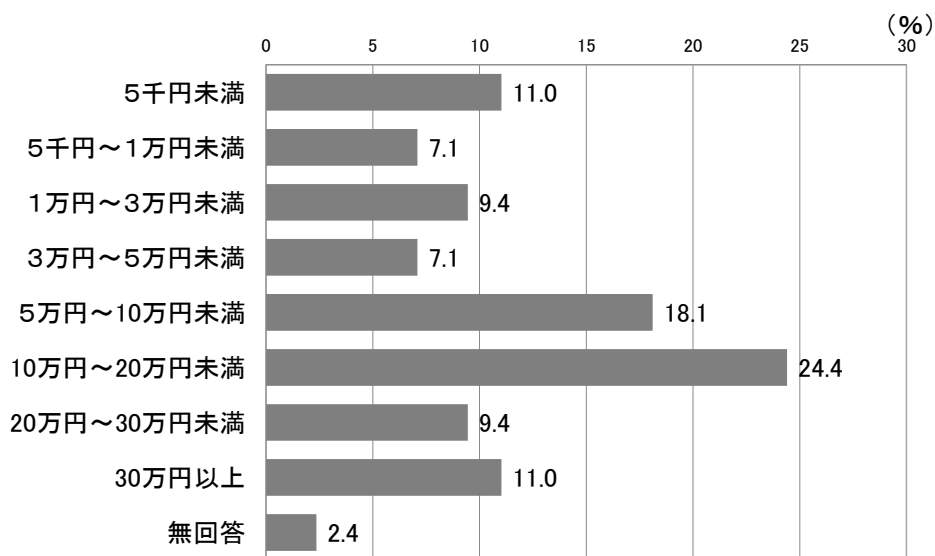
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問27 仕事の形態							
		自営業 (家業の 手伝いを 含む)	会社・団 体等の正 規の職員	アルバイ ト、臨 時、パー ト、嘱託	内職	就労継続 支援、就 労移行支 援などの 事業所、 作業所	その他	無回答	
全体	127 100.0	18 14.2	29 22.8	41 32.3	1 0.8	24 18.9	11 8.7	3 2.4	
年齢	10歳代～30歳代	30 100.0	0 0.0	4 13.3	8 26.7	0 0.0	15 50.0	3 10.0	0 0.0
	40歳代～50歳代	54 100.0	7 13.0	18 33.3	17 31.5	0 0.0	8 14.8	2 3.7	2 3.7
	60歳代以上	41 100.0	11 26.8	7 17.1	15 36.6	1 2.4	1 2.4	5 12.2	1 2.4
障 が い の 種 類	身体障がい	73 100.0	16 21.9	24 32.9	22 30.1	1 1.4	2 2.7	6 8.2	2 2.7
	知的障がい	26 100.0	0 0.0	1 3.8	4 15.4	0 0.0	18 69.2	3 11.5	0 0.0
	精神障がい	25 100.0	1 4.0	2 8.0	15 60.0	0 0.0	4 16.0	2 8.0	1 4.0

問28 1か月あたりの平均的な給与・賃金（SA）

問26で「収入を伴う仕事をしている」と回答した人限

○「10万円～20万円未満」が最も多くなっています。

★「10万円～20万円未満」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。“10歳代～30歳代”では「5千円未満」及び「5万円～10万円未満」の割合が同率で最も高く、“知的障がい”では「5千円未満」が、“精神障がい”では「5万円～10万円未満」が、それぞれの割合が最も高くなっています。



n=127

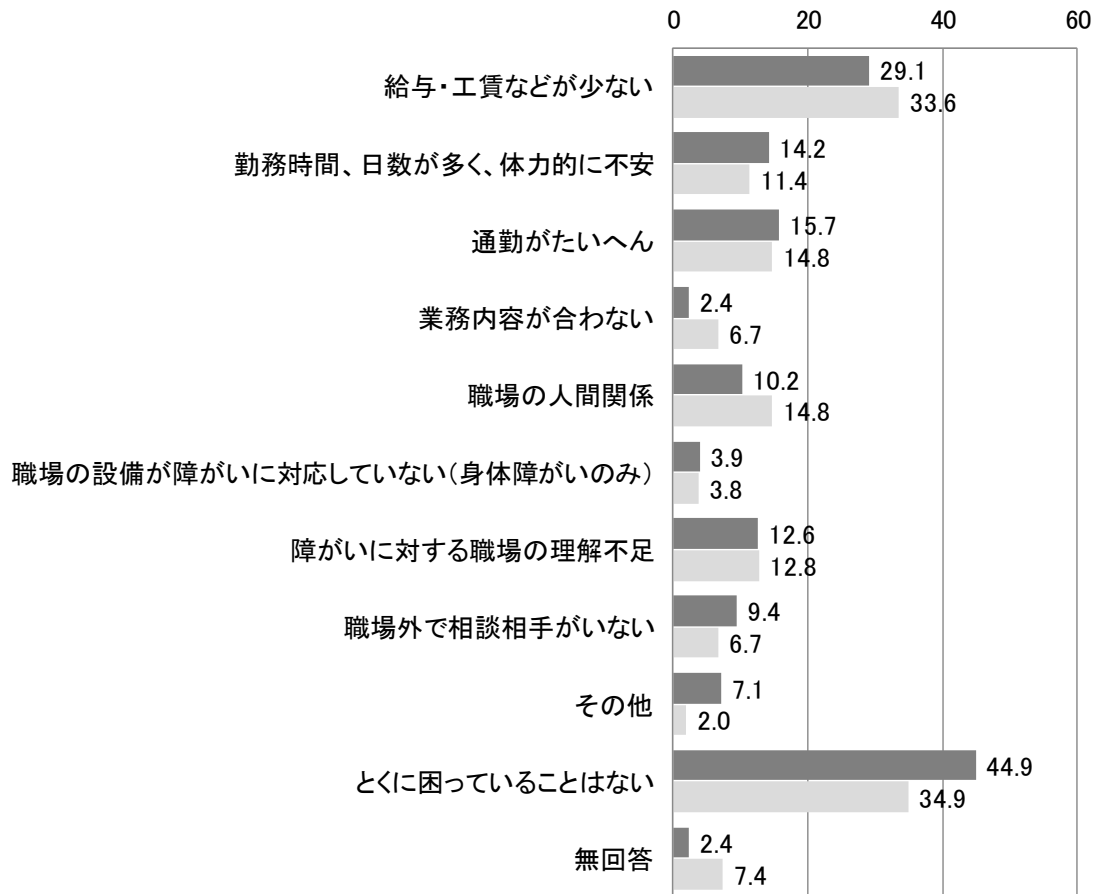
〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問28 1か月あたりの平均的な給与・賃金								
			5千円未 満	5千円～ 1万円未 満	1万円～ 3万円未 満	3万円～ 5万円未 満	5万円～ 10万円未 満	10万円～ 20万円未 満	20万円～ 30万円未 満	30万円以 上	無回答
全体		127 100.0	14 11.0	9 7.1	12 9.4	9 7.1	23 18.1	31 24.4	12 9.4	14 11.0	3 2.4
年齢	10歳代～30歳代	30 100.0	9 30.0	4 13.3	0 0.0	1 3.3	9 30.0	5 16.7	1 3.3	1 3.3	0 0.0
	40歳代～50歳代	54 100.0	3 5.6	3 5.6	7 13.0	4 7.4	8 14.8	11 20.4	7 13.0	9 16.7	2 3.7
	60歳代以上	41 100.0	2 4.9	2 4.9	5 12.2	4 9.8	6 14.6	13 31.7	4 9.8	4 9.8	1 2.4
障がいの種類	身体障がい	73 100.0	3 4.1	3 4.1	7 9.6	6 8.2	8 11.0	23 31.5	9 12.3	12 16.4	2 2.7
	知的障がい	26 100.0	10 38.5	4 15.4	4 15.4	0 0.0	5 19.2	3 11.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	25 100.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	3 12.0	11 44.0	4 16.0	0 0.0	2 8.0	1 4.0

問29 仕事をする上で困っていること (MA)

問26で「収入を伴う仕事をしている」と回答した人限定
 ○「とくに困っていることはない」及び無回答を除くと、52.7%とおおよそ半数が困っていることをあげ、その中では「給与・工賃などが少ない」が最も多くなっています。

●「給与・工賃などが少ない」、「業務内容が合わない」、「職場の人間関係」で低下し、「とくに困っていることはない」が10ポイント上昇しています。

★「とくに困っていることはない」以外では、「給与・工賃などが少ない」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が高くなっていますが、“10歳代～30歳代”、“精神障がい”では、「とくに困っていることはない」を上回って最も高くなっています。 (%)



今回調査 n=127

前回調査 身体障がい n=80

知的障がい n=46

精神障がい n=23

その他

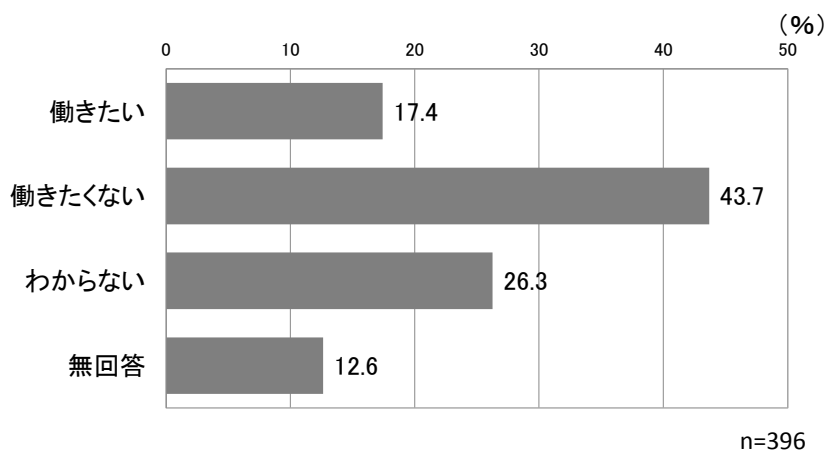
- ・営業が出来ない為新規の仕事が取れない
- ・交通費が支給されない
- ・日数を増やしたいが体力、精神面が不安 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問29 仕事をする上で困っていること						
		給与・工 賃などが 少ない	勤務時 間、日数 が多く、 体力的に 不安	通勤がた いへん	業務内容 が合わな い	職場の人 間関係	職場の設 備が障が いに対応 していな い	
全体	127 100.0	37 29.1	18 14.2	20 15.7	3 2.4	13 10.2	5 3.9	
年 齢	10歳代～30歳代	30 100.0	13 43.3	2 6.7	5 16.7	1 3.3	2 6.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	54 100.0	16 29.6	12 22.2	11 20.4	2 3.7	9 16.7	5 9.3
	60歳代以上	41 100.0	7 17.1	3 7.3	3 7.3	0 0.0	2 4.9	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	73 100.0	12 16.4	12 16.4	10 13.7	1 1.4	4 5.5	4 5.5
	知的障がい	26 100.0	10 38.5	0 0.0	1 3.8	1 3.8	1 3.8	0 0.0
	精神障がい	25 100.0	14 56.0	6 24.0	9 36.0	1 4.0	7 28.0	1 4.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問29 仕事をする上で困っていること					
		障がいに 対する職 場の理解 不足	職場外で 相談相手 がいない	その他	とくに 困ってい ることは ない	無回答	
全体	127 100.0	16 12.6	12 9.4	9 7.1	57 44.9	3 2.4	
年 齢	10歳代～30歳代	30 100.0	2 6.7	2 6.7	3 10.0	11 36.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	54 100.0	11 20.4	7 13.0	3 5.6	21 38.9	2 3.7
	60歳代以上	41 100.0	2 4.9	2 4.9	3 7.3	24 58.5	1 2.4
障 が い の 種 類	身体障がい	73 100.0	7 9.6	4 5.5	1 1.4	43 58.9	1 1.4
	知的障がい	26 100.0	1 3.8	1 3.8	0 0.0	11 42.3	1 3.8
	精神障がい	25 100.0	8 32.0	7 28.0	7 28.0	2 8.0	1 4.0

問30 今後、条件が整えば働きたいと思うか（SA）

問26で「収入を伴う仕事をしていない人」と回答した人限定
 ○「働きたくない」が43.7%で最も多く、一方、「働きたい」が17.4%となっています。
 ★「働きたくない」については、“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高く、「働きたい」については、“40歳代～50歳代”、“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。



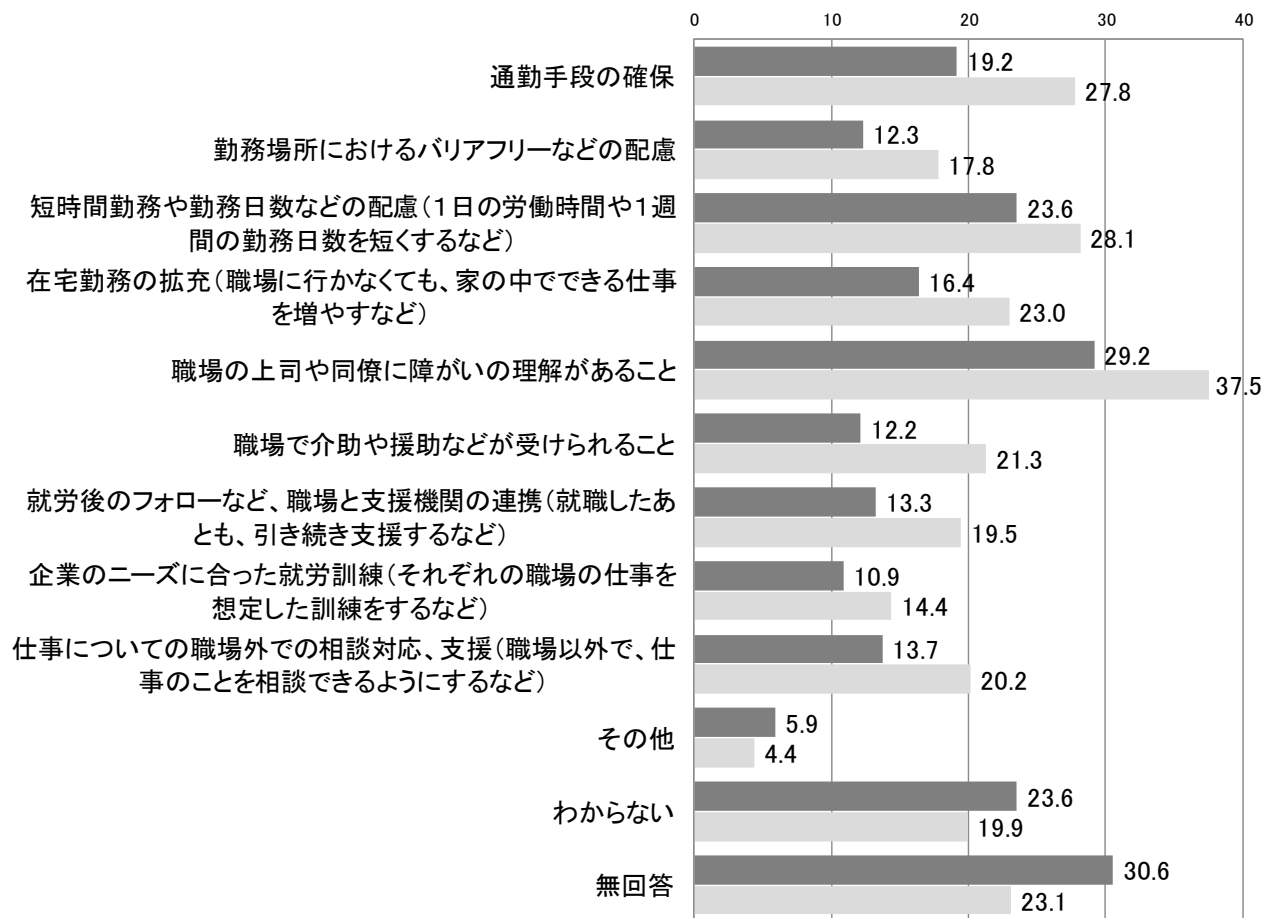
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問30 今後、条件が整えば働きたいと思いますか				
		働きたい	働きたくない	わからない	無回答	
全体	396 100.0	69 17.4	173 43.7	104 26.3	50 12.6	
年齢	10歳代～30歳代	40 100.0	17 42.5	2 5.0	18 45.0	3 7.5
	40歳代～50歳代	47 100.0	25 53.2	6 12.8	13 27.7	3 6.4
	60歳代以上	304 100.0	26 8.6	163 53.6	73 24.0	42 13.8
障がいの種類	身体障がい	312 100.0	39 12.5	157 50.3	74 23.7	42 13.5
	知的障がい	44 100.0	9 20.5	5 11.4	24 54.5	6 13.6
	精神障がい	50 100.0	24 48.0	10 20.0	13 26.0	3 6.0

問31 障がい者の就労支援として必要なこと（MA）

○無回答及び「わからない」以外では、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が最も多く、「短時間勤務や勤務日数などの配慮（1日の労働時間や1週間の勤務日数を短くするなど）」、「通勤手段の確保」と続きます。

●「その他」、「わからない」、「無回答」を除くと、各項目で低下しています。特に、「職場で介助や援助などが受けられること」が最も低下し、12.2%となっています。

★「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」については、“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”、“知的障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。 (％)



その他

- 道路整備
- 突然長時間の勤務が困難になった時などに柔軟な勤務形態
- 仕事の斡旋 等

今回調査 n=641
 前回調査 身体障がい n=529
 知的障がい n=107
 精神障がい n=92

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問31 障がい者の就労支援として必要なこと						
		通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮	短時間勤務や勤務日数などの配慮（1日の労働時間や1週間の勤務日数を短くするなど）	在宅勤務の拡充（職場に行かなくても、家の中でできる仕事を増やすなど）	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助などが受けられること	
全体	641 100.0	123 19.2	79 12.3	151 23.6	105 16.4	187 29.2	78 12.2	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	30 36.1	10 12.0	26 31.3	15 18.1	45 54.2	25 30.1
	40歳代～50歳代	120 100.0	29 24.2	17 14.2	50 41.7	37 30.8	55 45.8	17 14.2
	60歳代以上	425 100.0	62 14.6	51 12.0	74 17.4	52 12.2	86 20.2	35 8.2
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	81 17.3	65 13.9	94 20.0	70 14.9	112 23.9	42 9.0
	知的障がい	86 100.0	24 27.9	9 10.5	14 16.3	6 7.0	33 38.4	24 27.9
	精神障がい	95 100.0	26 27.4	9 9.5	46 48.4	32 33.7	51 53.7	17 17.9

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問31 障がい者の就労支援として必要なこと						
		就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携（就職したあと、引き続き支援するなど）	企業のニーズに合った就労訓練（それぞれの職場の仕事や想定した訓練をするなど）	仕事についての職場外での相談対応、支援（職場以外で、仕事のことを相談できるようにするなど）	その他	わからない	無回答	
全体	641 100.0	85 13.3	70 10.9	88 13.7	38 5.9	151 23.6	196 30.6	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	27 32.5	21 25.3	22 26.5	8 9.6	16 19.3	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	22 18.3	19 15.8	25 20.8	11 9.2	22 18.3	18 15.0
	60歳代以上	425 100.0	35 8.2	29 6.8	40 9.4	18 4.2	109 25.6	163 38.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	44 9.4	37 7.9	49 10.4	19 4.1	123 26.2	158 33.7
	知的障がい	86 100.0	14 16.3	9 10.5	12 14.0	4 4.7	22 25.6	17 19.8
	精神障がい	95 100.0	33 34.7	29 30.5	31 32.6	14 14.7	11 11.6	18 18.9

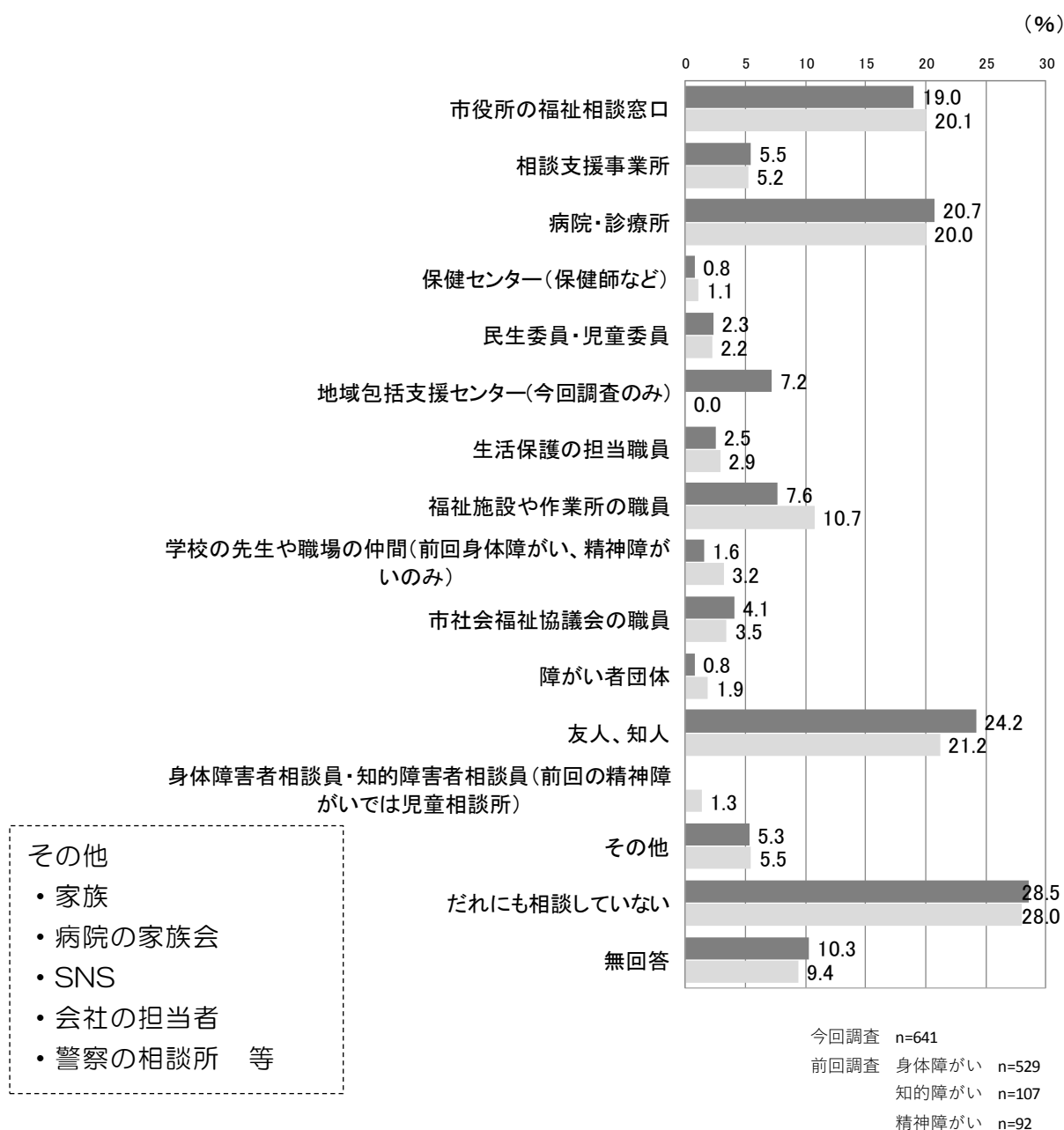
8 相談や情報入手の状況について

問32 悩みや心配ごとの相談先（家族・親戚以外）（MA）

○「だれにも相談していない」及び無回答を除くと、61.2%が相談先をあげています。その中では、「友人・知人」が最も多く、「病院・診療所」、「市役所の福祉相談窓口」と続きます。

●「友人、知人」が3ポイント上昇し、「福祉施設や作業所の職員」が3.1ポイント、「学校の先生や職場の仲間」が1.6ポイント低下しています。

★「だれにも相談していない」については、“10歳代～30歳代”、“60歳以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。「友人・知人」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が高く、「病院・診療所」については、“40歳代～50歳代”、“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問32 家族・親戚以外の悩みや心配ごとの相談先								
		市役所の 福祉相談 窓口	相談支援 事業所	病院・診 療所	保健セン ター（保 健師な ど）	民生委 員・児童 委員	地域包括 支援セン ター	生活保護 の担当職 員	福祉施設 や作業所 の職員	
全体	641 100.0	122 19.0	35 5.5	133 20.7	5 0.8	15 2.3	46 7.2	16 2.5	49 7.6	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	12 14.5	21 25.3	19 22.9	1 1.2	0 0.0	0 0.0	1 1.2	22 26.5
	40歳代～50歳代	120 100.0	30 25.0	7 5.8	37 30.8	2 1.7	2 1.7	7 5.8	10 8.3	14 11.7
	60歳代以上	425 100.0	78 18.4	7 1.6	74 17.4	2 0.5	13 3.1	37 8.7	4 0.9	12 2.8
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	91 19.4	11 2.3	81 17.3	3 0.6	13 2.8	41 8.7	8 1.7	21 4.5
	知的障がい	86 100.0	14 16.3	20 23.3	13 15.1	0 0.0	1 1.2	0 0.0	3 3.5	27 31.4
	精神障がい	95 100.0	20 21.1	8 8.4	42 44.2	2 2.1	3 3.2	5 5.3	10 10.5	8 8.4

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問32 家族・親戚以外の悩みや心配ごとの相談先							
		学校の先 生や職場 の仲間	市社会福 祉協議会 の職員	障がい者 団体	友人、知 人	その他	だれにも 相談して いない	無回答	
全体	641 100.0	10 1.6	26 4.1	5 0.8	155 24.2	34 5.3	183 28.5	66 10.3	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	5 6.0	1 1.2	2 2.4	15 18.1	7 8.4	23 27.7	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	2 1.7	6 5.0	1 0.8	32 26.7	6 5.0	31 25.8	7 5.8
	60歳代以上	425 100.0	3 0.7	17 4.0	2 0.5	106 24.9	19 4.5	128 30.1	54 12.7
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	5 1.1	21 4.5	2 0.4	126 26.9	19 4.1	137 29.2	52 11.1
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	4 4.7	1 1.2	6 7.0	3 3.5	24 27.9	10 11.6
	精神障がい	95 100.0	3 3.2	4 4.2	2 2.1	23 24.2	12 12.6	18 18.9	9 9.5

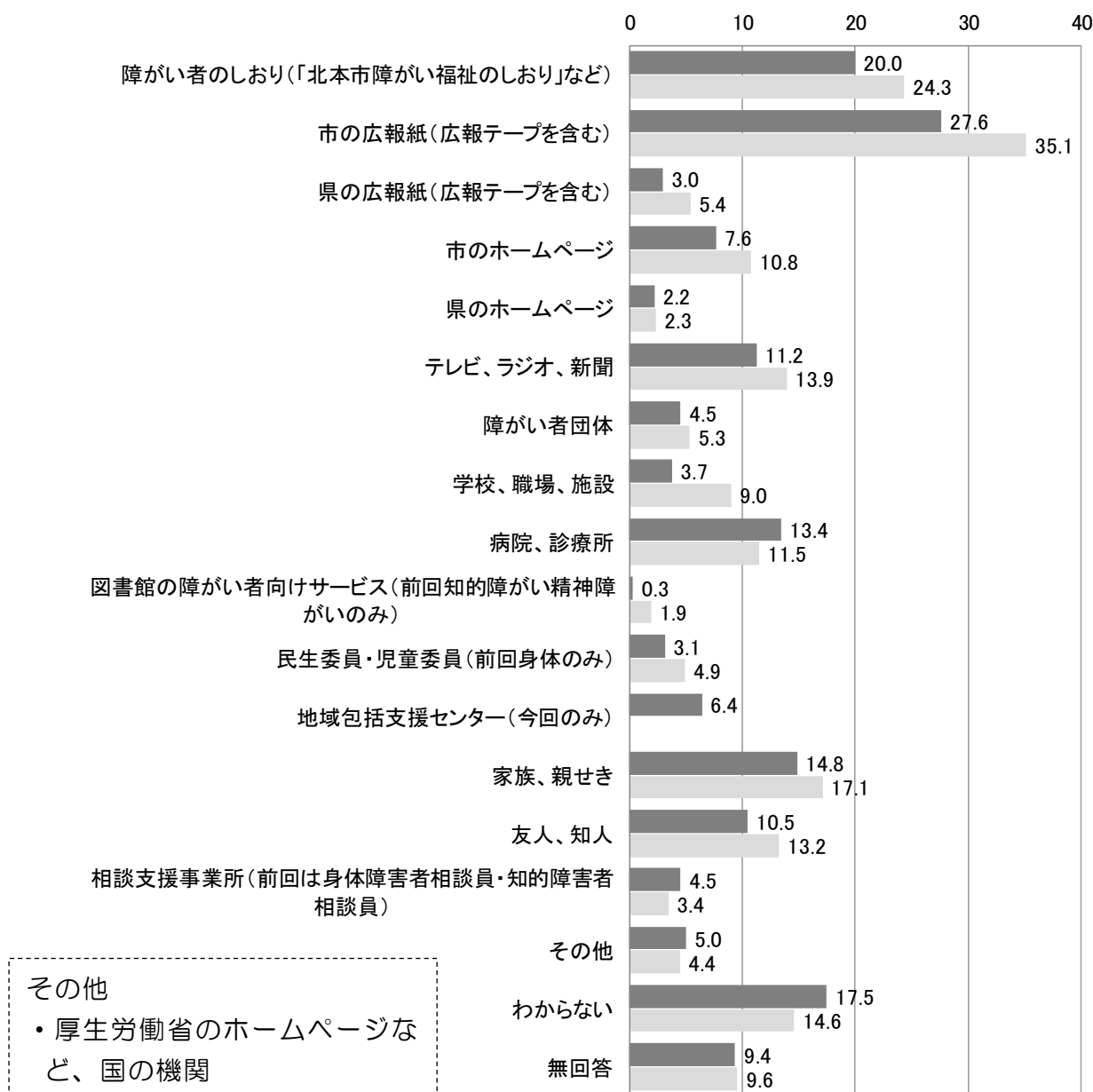
問33 障がい福祉サービスの情報入手先（MA）

○「市の広報紙（広報テープを含む）」が最も多く、「障がい者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」、「わからない」、「家族、親せき」、「病院、診療所」と続きます。

●「わからない」、「その他」を除くと、「病院、診療所」で1.9ポイント、「相談支援事業所（前回は身体障害者相談員・知的障害者相談員）」で1.1ポイント上昇し、その他の各項目で低下しています。

★「市の広報紙（広報テープを含む）」については、“60歳代以上”、“身体障がい”及び“知的障がい”で、「障がい者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」については、“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”で、「病院、診療所」については、“40歳代～50歳代”、“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。

(%)



その他
 ・厚生労働省のホームページなど、国の機関
 ・市役所の福祉相談窓口
 ・市からのLINE 等

今回調査 n=641
 前回調査 身体障がい n=529
 知的障がい n=107
 精神障がい n=92

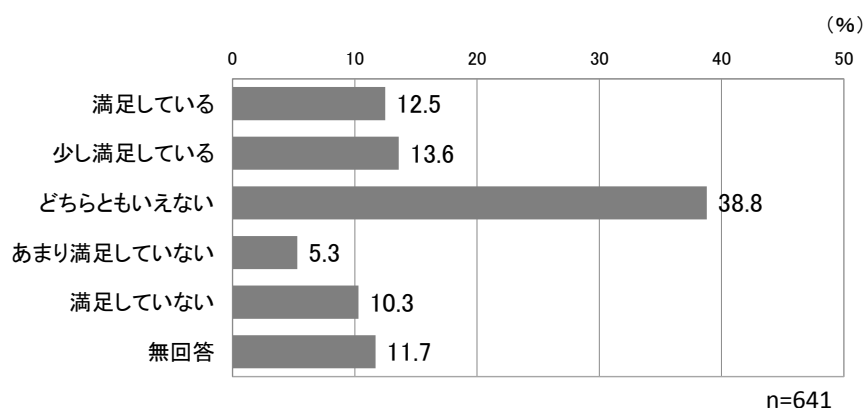
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問33 障がい福祉サービスの情報入手先										
		障がい者のしおり （「北本市障がい福祉のしおり」など）	市の広報紙（広報テープを含む）	県の広報紙（広報テープを含む）	市のホームページ	県のホームページ	テレビ、ラジオ、新聞	障がい者団体	学校、職場、施設	病院、診療所	図書館の障がい者向けサービス	
全体	641 100.0	128 20.0	177 27.6	19 3.0	49 7.6	14 2.2	72 11.2	29 4.5	24 3.7	86 13.4	2 0.3	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	19 22.9	18 21.7	3 3.6	6 7.2	3 3.6	6 7.2	15 18.1	13 15.7	6 7.2	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	25 20.8	23 19.2	4 3.3	17 14.2	9 7.5	11 9.2	3 2.5	5 4.2	25 20.8	0 0.0
	60歳代以上	425 100.0	83 19.5	133 31.3	12 2.8	26 6.1	2 0.5	52 12.2	10 2.4	6 1.4	53 12.5	2 0.5
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	94 20.0	142 30.3	14 3.0	40 8.5	7 1.5	57 12.2	15 3.2	8 1.7	61 13.0	2 0.4
	知的障がい	86 100.0	17 19.8	20 23.3	3 3.5	3 3.5	1 1.2	7 8.1	11 12.8	14 16.3	6 7.0	0 0.0
	精神障がい	95 100.0	22 23.2	20 21.1	2 2.1	10 10.5	8 8.4	11 11.6	5 5.3	3 3.2	25 26.3	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問33 障がい福祉サービスの情報入手先								
		民生委員・児童委員	地域包括支援センター	家族、親せき	友人、知人	相談支援事業所	その他	わからない	無回答	
全体	641 100.0	20 3.1	41 6.4	95 14.8	67 10.5	29 4.5	32 5.0	112 17.5	60 9.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	0 0.0	1 1.2	13 15.7	7 8.4	15 18.1	6 7.2	19 22.9	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	2 1.7	6 5.0	18 15.0	15 12.5	9 7.5	12 10.0	24 20.0	7 5.8
	60歳代以上	425 100.0	18 4.2	34 8.0	62 14.6	45 10.6	5 1.2	12 2.8	68 16.0	48 11.3
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	18 3.8	35 7.5	68 14.5	53 11.3	8 1.7	12 2.6	78 16.6	47 10.0
	知的障がい	86 100.0	3 3.5	1 1.2	15 17.4	6 7.0	17 19.8	3 3.5	15 17.4	10 11.6
	精神障がい	95 100.0	2 2.1	4 4.2	9 9.5	9 9.5	9 9.5	15 15.8	17 17.9	5 5.3

問34 障がい福祉サービスなどの情報満足度（SA）

○「どちらともいえない」が最も多く、「満足している」と「少し満足している」を合わせた『満足している』が26.1%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』が15.6%で、『満足している』が多くなっています。

★「どちらともいえない」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。『満足している』については、“40歳代～50歳代”、“身体障がい”で、それぞれ割合が高く、また、“10歳代～30歳代”、“精神障がい”では、『満足していない』の割合が『満足している』より高くなっています。



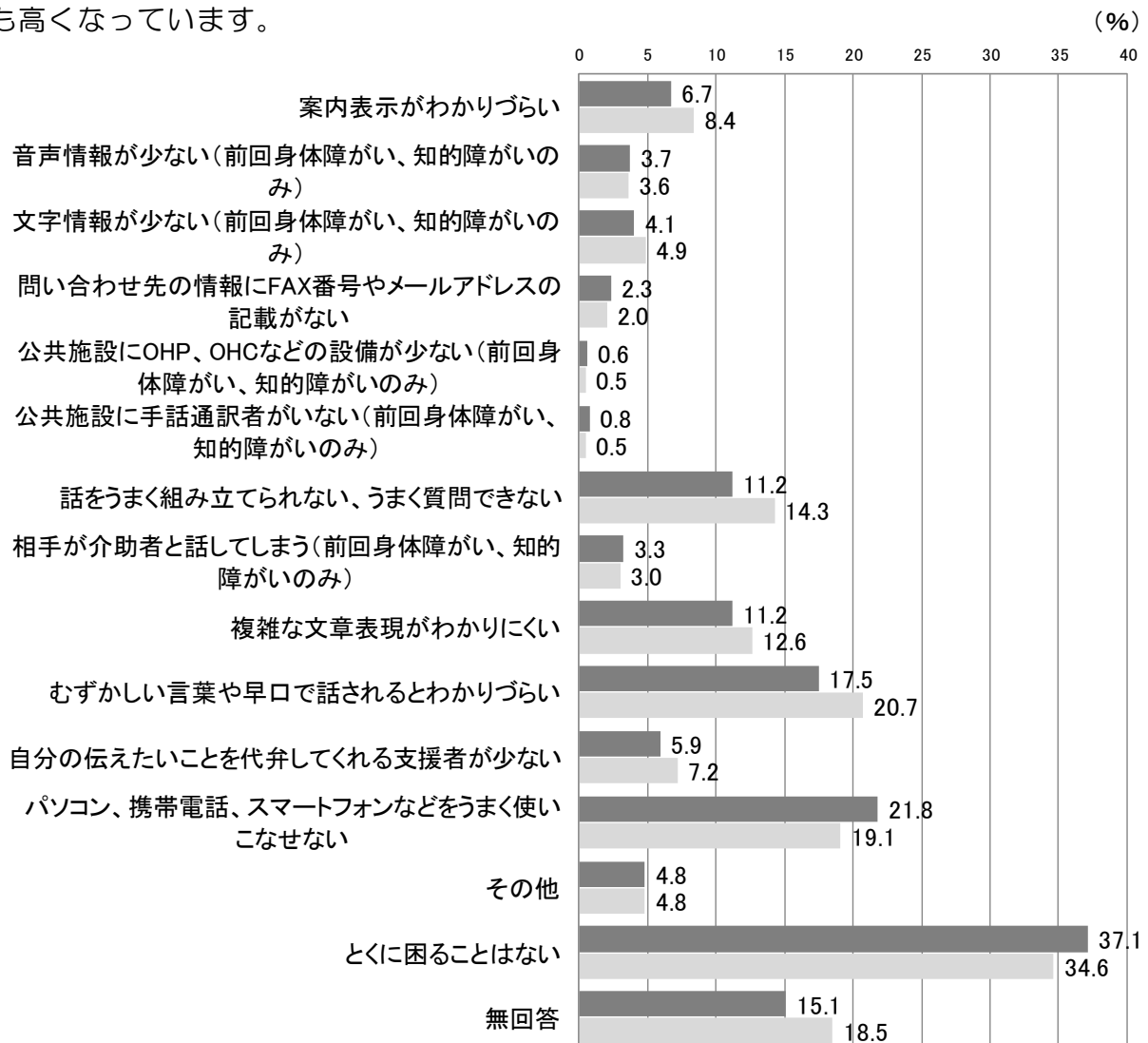
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問34 障がい福祉サービスなどの情報満足度						満足して いる	満足して いない	
		満足して いる	少し満足 している	どちらと もいえない	あまり満 足してい ない	満足して いない	無回答			
全体	641 100.0	80 12.5	87 13.6	249 38.8	84 13.1	66 10.3	75 11.7	167 26.1	150 23.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	6 7.2	11 13.3	33 39.8	13 15.7	18 21.7	2 2.4	17 20.5	31 37.3
	40歳代～50歳代	120 100.0	16 13.3	20 16.7	45 37.5	15 12.5	18 15.0	6 5.0	36 30.0	33 27.5
	60歳代以上	425 100.0	57 13.4	54 12.7	168 39.5	53 12.5	29 6.8	64 15.1	111 26.1	82 19.3
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	63 13.4	64 13.6	187 39.9	60 12.8	35 7.5	60 12.8	127 27.1	95 20.3
	知的障がい	86 100.0	12 14.0	11 12.8	32 37.2	8 9.3	12 14.0	11 12.8	23 26.7	20 23.3
	精神障がい	95 100.0	8 8.4	14 14.7	32 33.7	14 14.7	20 21.1	7 7.4	22 23.2	34 35.8

問35 コミュニケーションや情報取得で困ること (MA)

○「とくに困ることはない」及び無回答を除くと、47.8%とおよそ半数が困ることをあげています。その中では、「パソコン、携帯電話、スマートフォンなどをうまく使いこなせない」が最も多く、「むずかしい言葉や早口で話されるとわかりづらい」と続きます。

●「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が最も上昇し、「無回答」を除くと「案内表示がわかりづらい」、「文字情報が少ない」、「とくに困ることはない」が低下しています。

★「とくに困ることはない」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。“10歳代～30歳代”、“知的障がい”では、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」の割合が最も高くなっています。



その他

- ・ 情報取得先が分からない
- ・ 難聴の為、聞き取りにくい
- ・ 相談事の相手先が分からない
- ・ 用語が似通っていて違いが分からない
- ・ 世の中での障がい福祉に対する認識が薄い
- ・ 介護者なしには情報取得も利用もコミュニケーションも出来ない 等

今回調査 n=641

前回調査 身体障がい n=529

知的障がい n=107

精神障がい n=92

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問35 コミュニケーションや情報取得で困ること								
		案内表示 がわかり づらい	音声情報 が少ない	文字情報 が少ない	問い合わせ 先の情報 にFAX 番号や メールア ドレスの 記載がない	公共施設 にOHP、 OHCなど の設備が 少ない	公共施設 に手話通 訳者がい ない	話をうまく 組み立 てられな い、うまく 質問で きかない	相手が介 助者と話 してしま う	
全体	641 100.0	43 6.7	24 3.7	26 4.1	15 2.3	4 0.6	5 0.8	72 11.2	21 3.3	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	6 7.2	3 3.6	3 3.6	1 1.2	0 0.0	25 30.1	6 7.2	
	40歳代～50歳代	120 100.0	13 10.8	5 4.2	3 2.5	6 5.0	0 0.0	16 13.3	2 1.7	
	60歳代以上	425 100.0	23 5.4	14 3.3	20 4.7	8 1.9	4 0.9	3 0.7	29 6.8	13 3.1
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	29 6.2	16 3.4	20 4.3	10 2.1	4 0.9	4 0.9	31 6.6	14 3.0
	知的障がい	86 100.0	3 3.5	3 3.5	2 2.3	1 1.2	0 0.0	0 0.0	23 26.7	6 7.0
	精神障がい	95 100.0	12 12.6	3 3.2	6 6.3	4 4.2	0 0.0	0 0.0	19 20.0	4 4.2

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問35 コミュニケーションや情報取得で困ること							
		複雑な文 章表現が わかりに くい	むずかし い言葉や 早口で話 されると わかりづ らい	自分の伝 えたいこ とを代弁 してくれ る支援者 が少ない	パソコ ン、携帯 電話、ス マート フォンな どをうまく 使いこ なせない	その他	とくに困 ることは ない	無回答	
全体	641 100.0	72 11.2	112 17.5	38 5.9	140 21.8	31 4.8	238 37.1	97 15.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	17 20.5	19 22.9	20 24.1	9 10.8	13 15.7	19 22.9	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	15 12.5	20 16.7	6 5.0	17 14.2	4 3.3	56 46.7	11 9.2
	60歳代以上	425 100.0	39 9.2	70 16.5	12 2.8	112 26.4	14 3.3	160 37.6	75 17.6
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	42 9.0	77 16.4	15 3.2	107 22.8	14 3.0	196 41.8	70 14.9
	知的障がい	86 100.0	11 12.8	19 22.1	16 18.6	11 12.8	5 5.8	16 18.6	19 22.1
	精神障がい	95 100.0	21 22.1	19 20.0	12 12.6	25 26.3	12 12.6	26 27.4	7 7.4

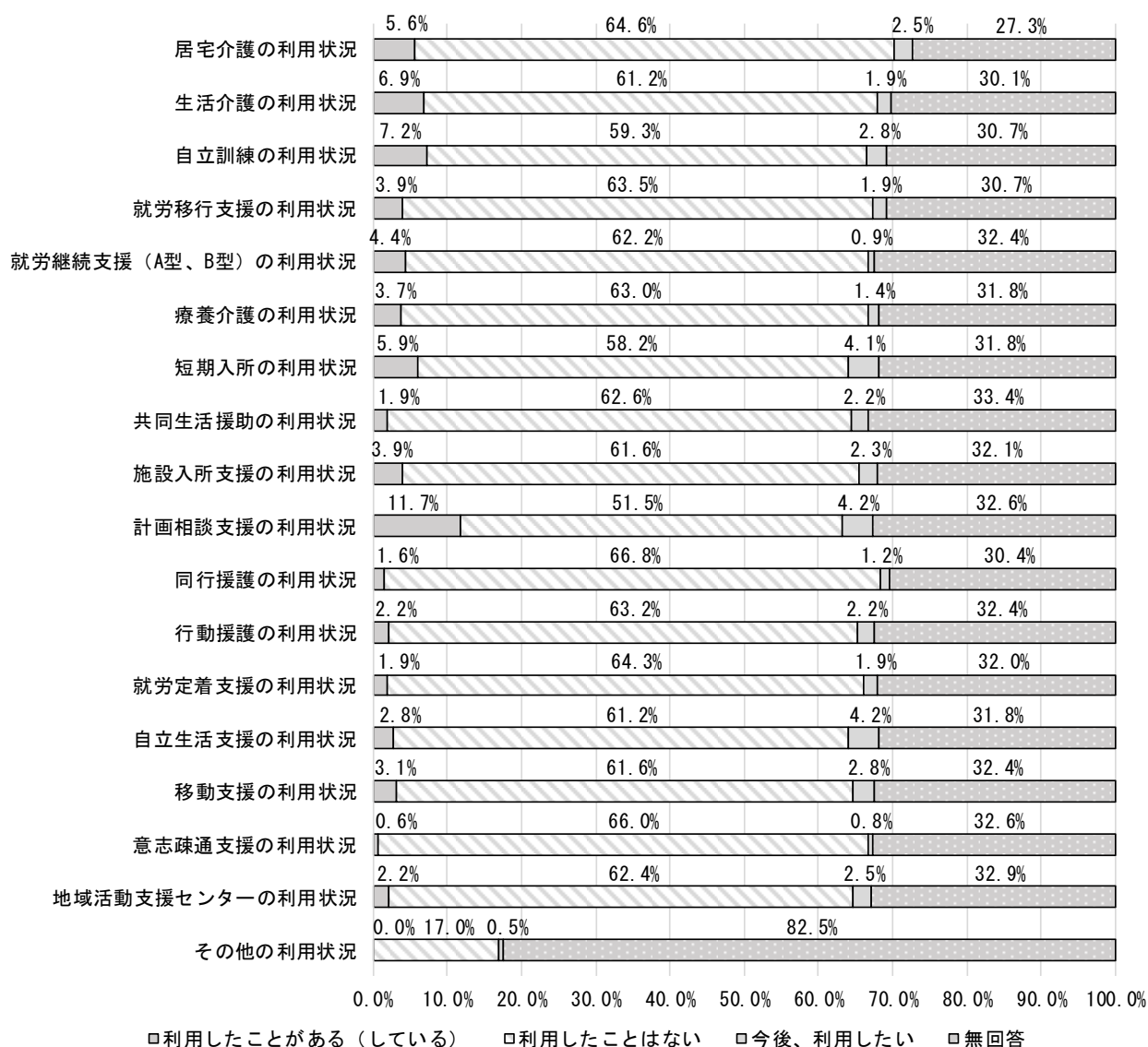
9 障がい福祉サービスについて

問36 障がい福祉サービスの利用状況

「利用したことがある（している）」と「利用したことはない」で選択、
今後利用したいは、「利用したことない」を選択した人の中で回答

○「利用したことがある（している）」については、【計画相談支援】が最も多く、【自立訓練】、
【生活介護】、【短期入所】、【居宅介護】と続きます。

○「今後、利用したい」については、【計画相談支援】及び【自立生活支援】が最も多く、【短
期入所】と続きます。

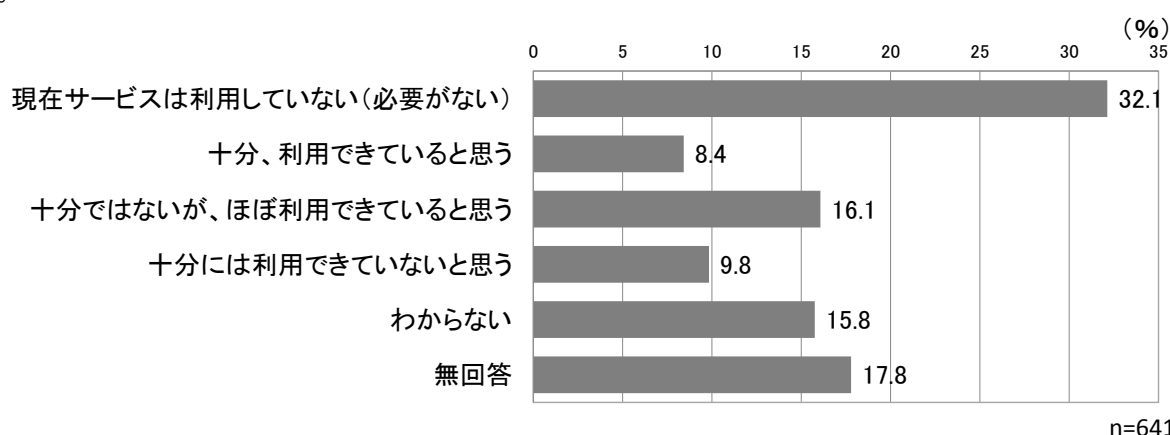


その他
・成年後見人制度

問37 利用している障がい福祉サービスの利用充足度（SA）

○「現在サービスは利用していない（必要がない）」を除くと利用率は67.9%となっています。利用している中では、無回答が最も多く、「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」、「わからない」が僅差で続きます。一方、「十分には利用できていないと思う」が9.8%となっています。

★「現在サービスは利用していない（必要がない）」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。「どちらともいえない」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」については、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”で、それぞれ割合が最も高く、また、「わからない」については、“精神障がい”で、「現在サービスは利用していない（必要がない）」と同率で最も高くなっています。

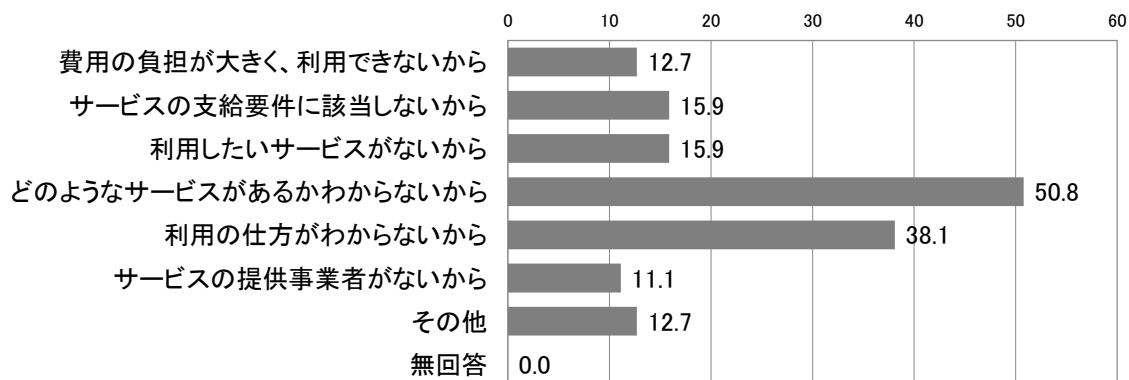


上段:人 下段:%	合計	問37 利用している福祉サービスの利用の程度						
		現在サービスは利用していない(必要がない)	十分、利用できていると思う	十分ではないが、ほぼ利用できていると思う	十分には利用できていないと思う	わからない	無回答	
全体	641 100.0	206 32.1	54 8.4	103 16.1	63 9.8	101 15.8	114 17.8	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	13 15.7	8 9.6	21 25.3	15 18.1	17 20.5	9 10.8
	40歳代～50歳代	120 100.0	33 27.5	13 10.8	19 15.8	16 13.3	24 20.0	15 12.5
	60歳代以上	425 100.0	159 37.4	33 7.8	60 14.1	31 7.3	58 13.6	84 19.8
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	174 37.1	35 7.5	67 14.3	34 7.2	71 15.1	88 18.8
	知的障がい	86 100.0	12 14.0	14 16.3	22 25.6	11 12.8	11 12.8	16 18.6
	精神障がい	95 100.0	21 22.1	7 7.4	17 17.9	16 16.8	21 22.1	13 13.7

問38 サービスを十分に利用できていない理由（MA）

問37で「十分には利用できていないと思う」と回答した人
 ○「どのようなサービスがあるかわからないから」が最も多く、「利用の仕方がわからないから」と続きます。

★「どのようなサービスがあるかわからないから」については、“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高く、「利用の仕方がわからないから」については、“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”で、それぞれ割合が最も高くなっています。また、“知的障がい”及び“精神障がい”では、「どのようなサービスがあるかわからないから」及び「利用の仕方がわからないから」の割合が同率で最も高くなっています。 (%)



n=63

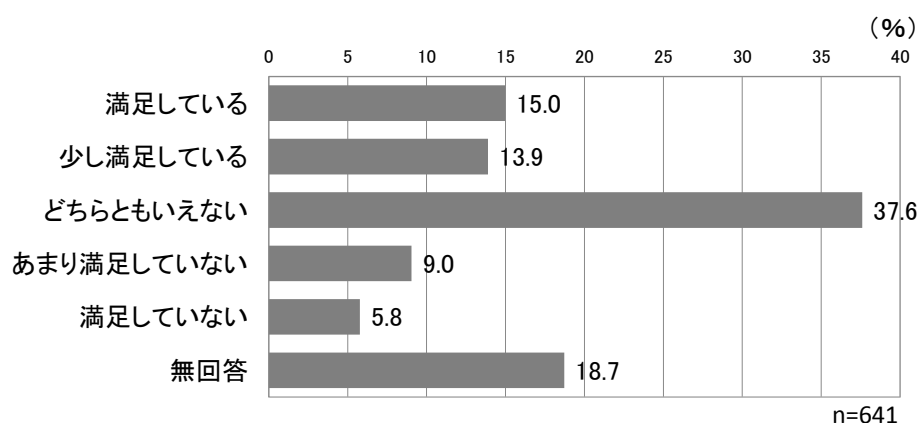
その他
 ・ 行動援護を受け入れてくれる事業者が少なく利用できる日が少ないから

上段:人 下段:%	合計	問38 サービスを十分に利用できていない理由								
		費用の負担が大きく、利用できないから	サービスの支給要件に該当しないから	利用したいサービスがないから	どのようなサービスがあるかわからないから	利用の仕方がわからないから	サービスの提供事業者がないから	その他	無回答	
全体	63 100.0	8 12.7	10 15.9	10 15.9	32 50.8	24 38.1	7 11.1	8 12.7	0 0.0	
年齢	10歳代～30歳代	15 100.0	2 13.3	0 0.0	2 13.3	7 46.7	8 53.3	5 33.3	1 6.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	16 100.0	1 6.3	6 37.5	3 18.8	8 50.0	9 56.3	1 6.3	2 12.5	0 0.0
	60歳代以上	31 100.0	4 12.9	3 9.7	5 16.1	17 54.8	7 22.6	1 3.2	4 12.9	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	34 100.0	5 14.7	5 14.7	4 11.8	19 55.9	11 32.4	1 2.9	3 8.8	0 0.0
	知的障がい	11 100.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	5 45.5	5 45.5	4 36.4	2 18.2	0 0.0
	精神障がい	16 100.0	3 18.8	4 25.0	3 18.8	8 50.0	8 50.0	2 12.5	2 12.5	0 0.0

問39 市の障がい福祉サービス全般の満足度（SA）

○「どちらともいえない」が最も多く、「満足している」と「少し満足している」を合わせた『満足している』が28.9%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』が14.8%で、『満足している』が多くなっています。

★「どちらともいえない」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。『満足している』については、“40歳代～50歳代”、“知的障がい”で、それぞれ割合が高く、また、“10歳代～30歳代”、“精神障がい”では、『満足していない』が『満足している』より高くなっています。

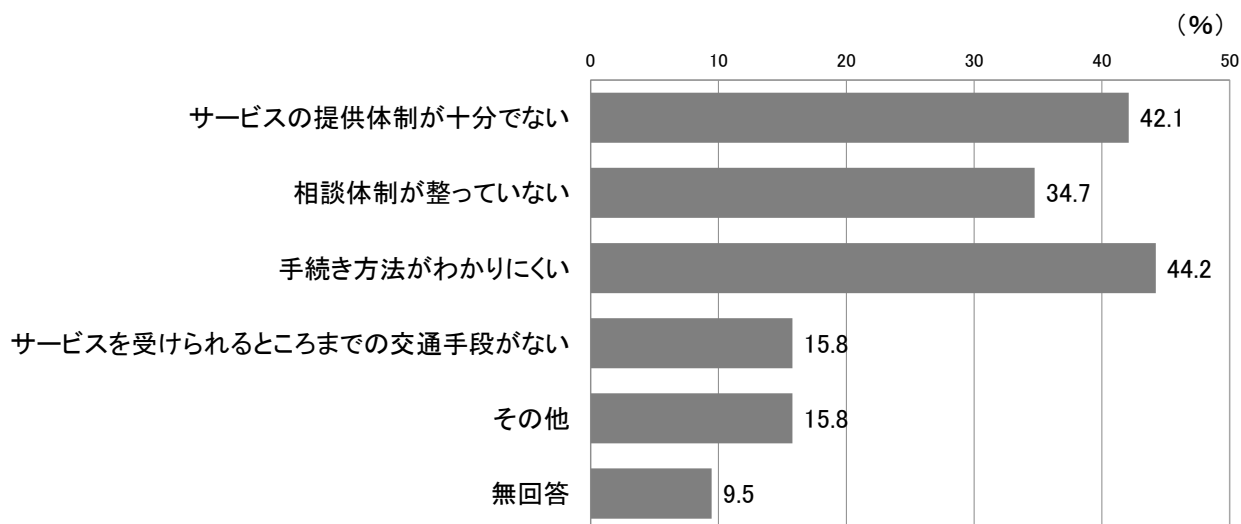


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問39 市の障がい福祉サービス全般の満足度					無回答	満足して いる	満足して いない	
		満足して いる	少し満足 している	どちらと もいえない	あまり満 足してい ない	満足して いない				
全体	641 100.0	96 15.0	89 13.9	241 37.6	58 9.0	37 5.8	120 18.7	185 28.9	95 14.8	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	7 8.4	12 14.5	38 45.8	12 14.5	9 10.8	5 6.0	19 22.9	21 25.3
	40歳代～50歳代	120 100.0	23 19.2	18 15.0	42 35.0	17 14.2	12 10.0	8 6.7	41 34.2	29 24.2
	60歳代以上	425 100.0	65 15.3	56 13.2	158 37.2	29 6.8	14 3.3	103 24.2	121 28.5	43 10.1
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	75 16.0	62 13.2	182 38.8	39 8.3	16 3.4	95 20.3	137 29.2	55 11.7
	知的障がい	86 100.0	17 19.8	15 17.4	25 29.1	8 9.3	8 9.3	13 15.1	32 37.2	16 18.6
	精神障がい	95 100.0	10 10.5	13 13.7	34 35.8	13 13.7	13 13.7	12 12.6	23 24.2	26 27.4

問40 満足していない理由 (MA)

問39で「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人限定
 ○「手続き方法がわかりにくい」が最も多く、「サービスの提供体制が十分でない」が僅差で続きます。

★「手続き方法がわかりにくい」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が高く、「サービスの提供体制が十分でない」については、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。また、“40歳代～50歳代”では、「相談体制が整っていない」の割合が「手続き方法がわかりにくい」と同率で最も高くなっています。



- その他 (n=95)
- ・ 金銭的援助が少ない
 - ・ 受けたいサービスがない
 - ・ 自分に合っていない 等

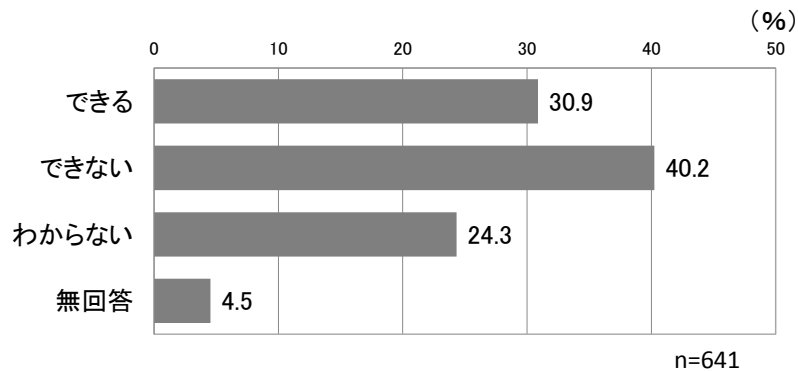
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問40 満足していない理由					
		サービスの提供体制が十分でない	相談体制が整っていない	手続き方法がわかりにくい	サービスを受けられるところまでの交通手段がない	その他	無回答
全体	95	40	33	42	15	15	9
	100.0	42.1	34.7	44.2	15.8	15.8	9.5
年齢	10歳代～30歳代	21	11	8	10	1	2
		100.0	52.4	38.1	47.6	4.8	9.5
	40歳代～50歳代	29	12	13	13	6	7
	100.0	41.4	44.8	44.8	20.7	24.1	
	60歳代以上	43	16	11	17	7	5
	100.0	37.2	25.6	39.5	16.3	11.6	
障がいの種類	身体障がい	55	18	17	27	8	7
		100.0	32.7	30.9	49.1	14.5	12.7
	知的障がい	16	10	9	8	2	2
	100.0	62.5	56.3	50.0	12.5	12.5	
	精神障がい	26	12	10	10	5	6
	100.0	46.2	38.5	38.5	19.2	23.1	

10 災害対策について

問41 災害発生時にひとりで避難ができるか（SA）

○「できない」が最も多くなっています。

★「できない」については、“10歳代～30歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”及び“知的障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。また、“40歳代～50歳代”、“精神障がい”では、「できる」の割合が最も高くなっています。

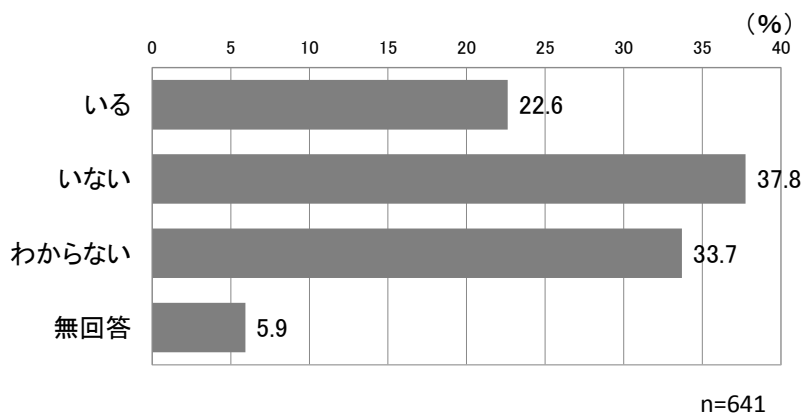


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問41 災害発生時にひとりで避難がで				
		できる	できない	わからな い	無回答	
全体	641 100.0	198 30.9	258 40.2	156 24.3	29 4.5	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	18 21.7	43 51.8	21 25.3	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	47 39.2	38 31.7	30 25.0	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	130 30.6	171 40.2	104 24.5	20 4.7
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	153 32.6	186 39.7	109 23.2	21 4.5
	知的障がい	86 100.0	7 8.1	59 68.6	15 17.4	5 5.8
	精神障がい	95 100.0	36 37.9	21 22.1	34 35.8	4 4.2

問42 近所に助けてくれる人の有無（SA）

○「いない」が最も多くなっています。

★「いない」については、“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”、“知的障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。また、“60歳代以上”、“身体障がい”では、「わからない」の割合が最も高くなっています。



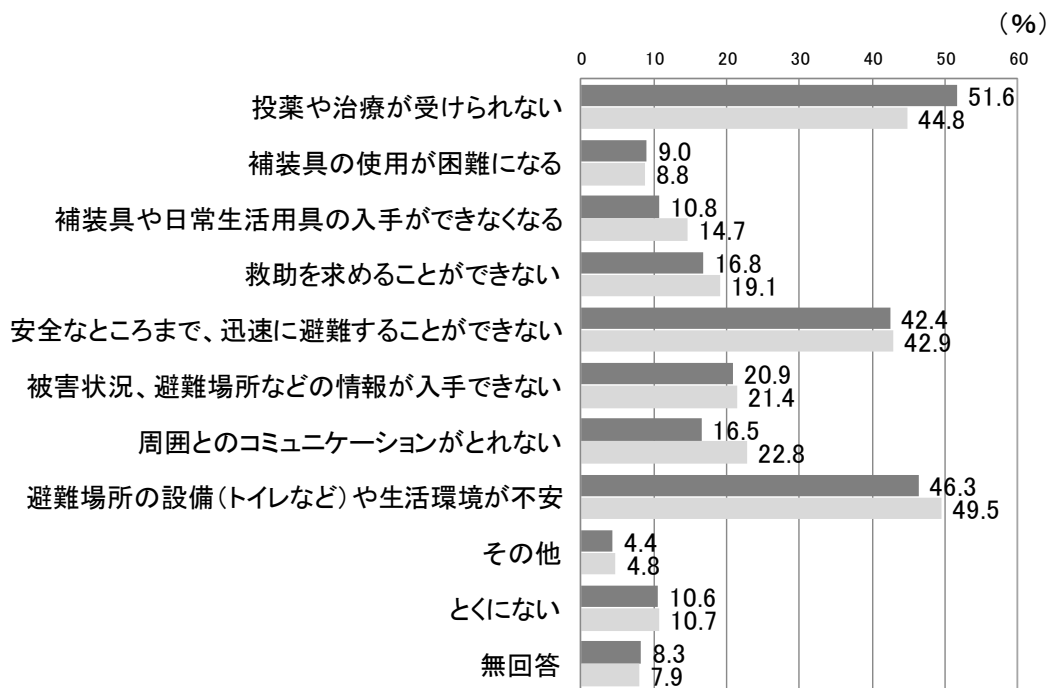
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問42 近所に助けてくれる人の有無				
		いる	いない	わからない	無回答	
全体	641 100.0	145 22.6	242 37.8	216 33.7	38 5.9	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	11 13.3	45 54.2	26 31.3	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	18 15.0	63 52.5	33 27.5	6 5.0
	60歳代以上	425 100.0	112 26.4	129 30.4	154 36.2	30 7.1
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	121 25.8	156 33.3	164 35.0	28 6.0
	知的障がい	86 100.0	8 9.3	37 43.0	31 36.0	10 11.6
	精神障がい	95 100.0	13 13.7	55 57.9	23 24.2	4 4.2

問43 災害時に困ること（MA）

○「とくにない」及び無回答を除くと、81.1%が困ることをあげています。その中では、「投薬や治療が受けられない」が最も多く、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」、「安全なところまで、迅速に避難することができない」と続きます。

●「投薬や治療が受けられない」が6.8ポイント上昇しています。

★「投薬や治療が受けられない」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が高くなっています。また、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”では、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」の割合が最も高く、「安全なところまで、迅速に避難することができない」も50%を超えて高くなっています。



今回調査 n=641

前回調査 身体障がい n=529

知的障がい n=107

精神障がい n=92

その他

- ・精神的ダメージや、周囲に迷惑をかけるパニック的無意識行動をしないか不安
- ・知的障害を理解してもらえるのか不安
- ・大切なものの管理 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問43 災害時に困ること						
		投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手がなくなる	救助を求めることができない	安全なところで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	
全体	641 100.0	331 51.6	58 9.0	69 10.8	108 16.8	272 42.4	134 20.9	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	45 54.2	6 7.2	9 10.8	32 38.6	42 50.6	26 31.3
	40歳代～50歳代	120 100.0	75 62.5	13 10.8	15 12.5	15 12.5	37 30.8	22 18.3
	60歳代以上	425 100.0	207 48.7	38 8.9	42 9.9	58 13.6	186 43.8	82 19.3
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	233 49.7	50 10.7	58 12.4	66 14.1	206 43.9	90 19.2
	知的障がい	86 100.0	40 46.5	10 11.6	10 11.6	35 40.7	48 55.8	31 36.0
	精神障がい	95 100.0	61 64.2	4 4.2	9 9.5	14 14.7	21 22.1	15 15.8

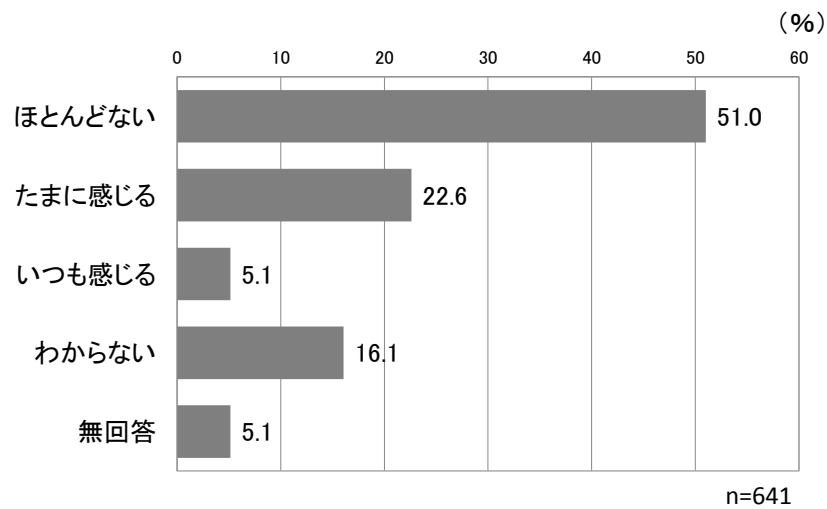
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問43 災害時に困ること					
		周囲とのコミュニケーションがとれない	避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安	その他	とくにな	無回答	
全体	641 100.0	106 16.5	297 46.3	28 4.4	68 10.6	53 8.3	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	40 48.2	49 59.0	11 13.3	7 8.4	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	22 18.3	46 38.3	8 6.7	11 9.2	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	42 9.9	194 45.6	9 2.1	49 11.5	44 10.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	55 11.7	223 47.5	11 2.3	52 11.1	41 8.7
	知的障がい	86 100.0	37 43.0	49 57.0	7 8.1	5 5.8	8 9.3
	精神障がい	95 100.0	23 24.2	38 40.0	9 9.5	12 12.6	4 4.2

11 権利擁護などについて

問44 差別や人権侵害を感じることはあるか（SA）

○「ほとんどない」がおおよそ半数を占め最も多く、「たまに感じる」と「いつも感じる」を合わせた『感じる』が27.7%となっています。

★「ほとんどない」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。“10歳代～30歳代”、“知的障がい”及び“精神障がい”では、「たまに感じる」の割合が最も高くなっています。また、『感じる』については、“10歳代～30歳代”、“精神障がい”では、50%を超えて高くなっています。

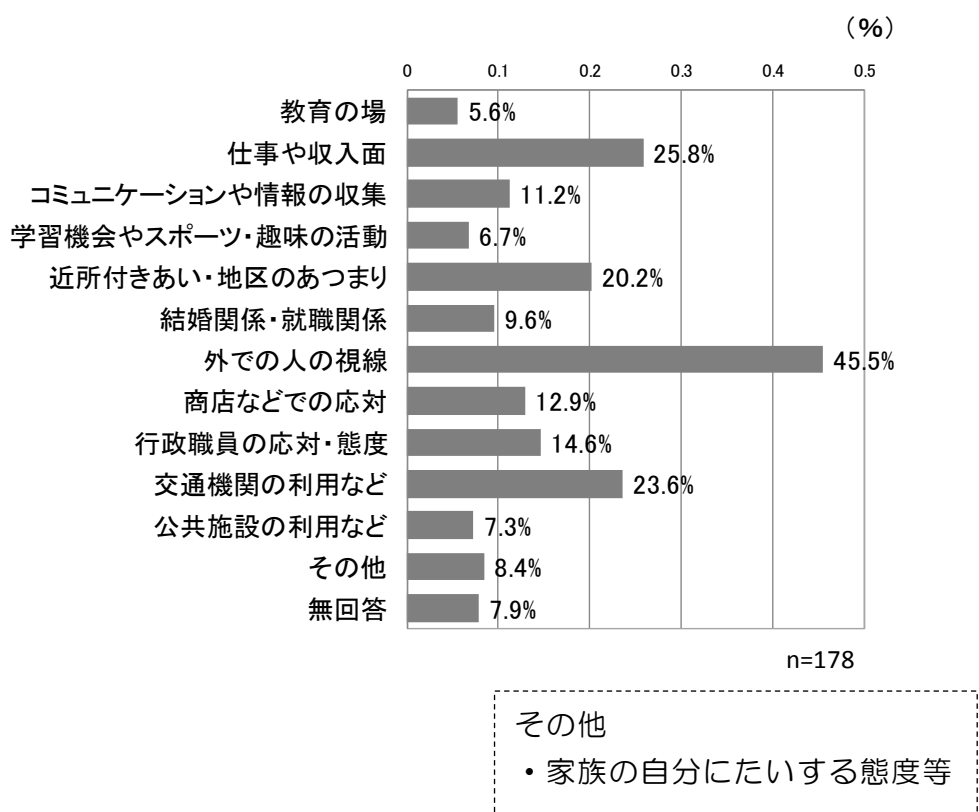


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問44 差別や人権侵害を感じることはありますか					
		ほとんど ない	たまに感 じる	いつも感 じる	わからな い	無回答	
全体	641 100.0	327 51.0	145 22.6	33 5.1	103 16.1	33 5.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	18 21.7	39 47.0	8 9.6	18 21.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	42 35.0	39 32.5	16 13.3	20 16.7	3 2.5
	60歳代以上	425 100.0	260 61.2	67 15.8	7 1.6	63 14.8	28 6.6
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	288 61.4	83 17.7	11 2.3	62 13.2	25 5.3
	知的障がい	86 100.0	20 23.3	30 34.9	9 10.5	24 27.9	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	23 24.2	44 46.3	11 11.6	14 14.7	3 3.2

問45 差別や人権侵害を受けていると感じる場面（MA）

問44で「たまに感じる」「いつも感じると回答した人限定
 ○無回答以外では、「外での人の視線」が最も多く、「仕事や収入面」、「交通機関の利用など」と続きます。

★「外での人の視線」については、“10歳代～30歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”及び“知的障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。また、「仕事や収入面」については、“40歳代～50歳代”、“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。



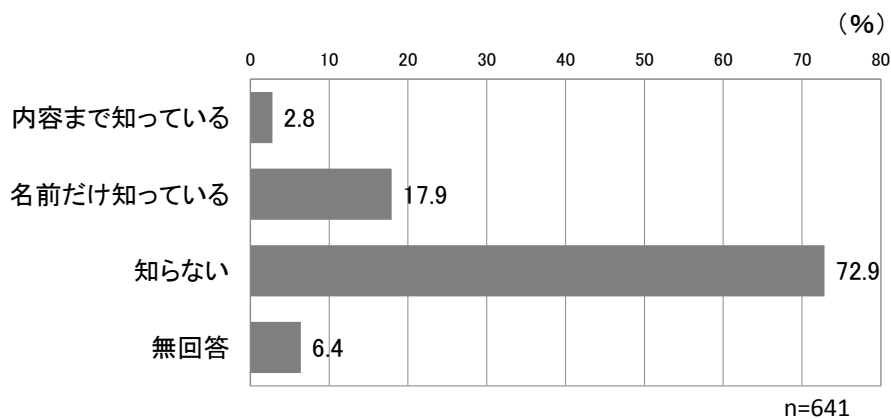
	合計	問45 差別や人権侵害を受けていると感じる場面							
		教育の場	仕事や収入面	コミュニケーションや情報の収集	学習機会やスポーツ・趣味の活動	近所付き合い・地域のあつまり	結婚関係・就職関係	外での人の視線	
全体	178 100.0	10 5.6	46 25.8	20 11.2	12 6.7	36 20.2	17 9.6	81 45.5	
年齢	10歳代～30歳代	47 100.0	6 12.8	17 36.2	5 10.6	5 10.6	10 21.3	6 12.8	31 66.0
	40歳代～50歳代	55 100.0	2 3.6	23 41.8	8 14.5	1 1.8	9 16.4	8 14.5	19 34.5
	60歳代以上	74 100.0	1 1.4	5 6.8	6 8.1	5 6.8	15 20.3	2 2.7	29 39.2
障がいの種類	身体障がい	94 100.0	2 2.1	11 11.7	8 8.5	4 4.3	16 17.0	5 5.3	37 39.4
	知的障がい	39 100.0	2 5.1	8 20.5	4 10.3	5 12.8	5 12.8	0 0.0	28 71.8
	精神障がい	55 100.0	6 10.9	27 49.1	8 14.5	2 3.6	16 29.1	13 23.6	18 32.7

	合計	問45 差別や人権侵害を受けていると感じる場面						
		商店などでの対応	行政職員の対応・態度	交通機関の利用など	公共施設の利用など	その他	無回答	
全体	178 100.0	23 12.9	26 14.6	42 23.6	13 7.3	15 8.4	14 7.9	
年齢	10歳代～30歳代	47 100.0	4 8.5	6 12.8	11 23.4	2 4.3	6 12.8	2 4.3
	40歳代～50歳代	55 100.0	9 16.4	15 27.3	12 21.8	4 7.3	7 12.7	1 1.8
	60歳代以上	74 100.0	10 13.5	4 5.4	18 24.3	7 9.5	2 2.7	11 14.9
障がいの種類	身体障がい	94 100.0	15 16.0	12 12.8	24 25.5	8 8.5	5 5.3	11 11.7
	知的障がい	39 100.0	5 12.8	4 10.3	9 23.1	4 10.3	5 12.8	1 2.6
	精神障がい	55 100.0	3 5.5	13 23.6	10 18.2	3 5.5	7 12.7	5 9.1

問46 「障害者差別解消法」の認知状況（SA）

○「知らない」が最も多くなっています。

★「知らない」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。

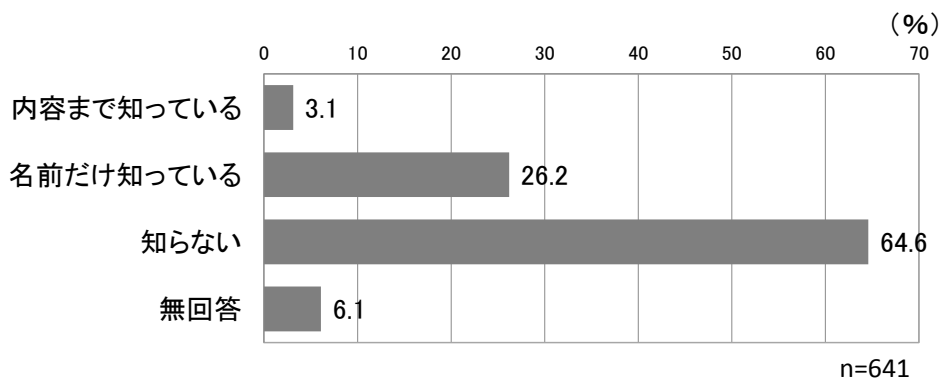


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問46 「障害者差別解消法」の認知状況				
		内容まで 知っている	名前だけ 知っている	知らない	無回答	
全体	641 100.0	18 2.8	115 17.9	467 72.9	41 6.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	3 3.6	23 27.7	57 68.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	9 7.5	21 17.5	85 70.8	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	6 1.4	70 16.5	314 73.9	35 8.2
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	10 2.1	84 17.9	341 72.7	34 7.2
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	21 24.4	59 68.6	4 4.7
	精神障がい	95 100.0	6 6.3	17 17.9	70 73.7	2 2.1

問47 「障害者虐待防止法」の認知状況（SA）

○「知らない」が最も多くなっています。

★「知らない」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。

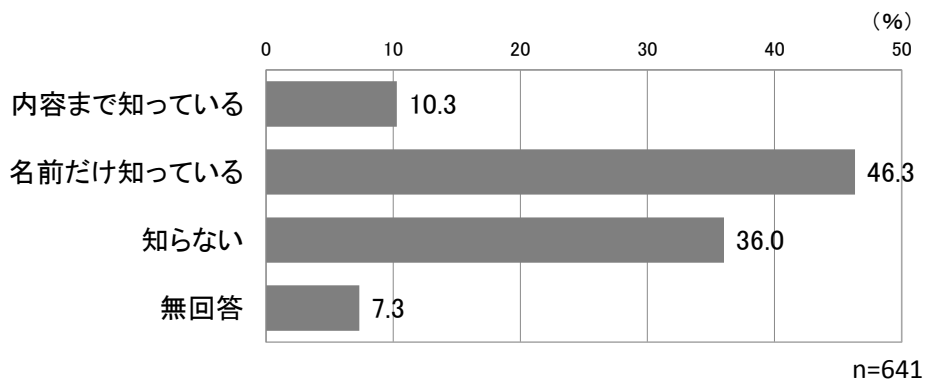


上段:人 下段:%	合計	問47 「障害者虐待防止法」の認知状況				
		内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答	
全体	641 100.0	20 3.1	168 26.2	414 64.6	39 6.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	5 6.0	30 36.1	48 57.8	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	5 4.2	32 26.7	79 65.8	4 3.3
	60歳代以上	425 100.0	10 2.4	104 24.5	277 65.2	34 8.0
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	10 2.1	126 26.9	299 63.8	34 7.2
	知的障がい	86 100.0	5 5.8	32 37.2	46 53.5	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	3 3.2	23 24.2	69 72.6	0 0.0

問48 成年後見制度の認知状況（SA）

○「名前だけ知っている」が最も多くなっています。

★「名前だけ知っている」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。“10歳代～30歳代”、“知的障がい”及び“精神障がい”では、「知らない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

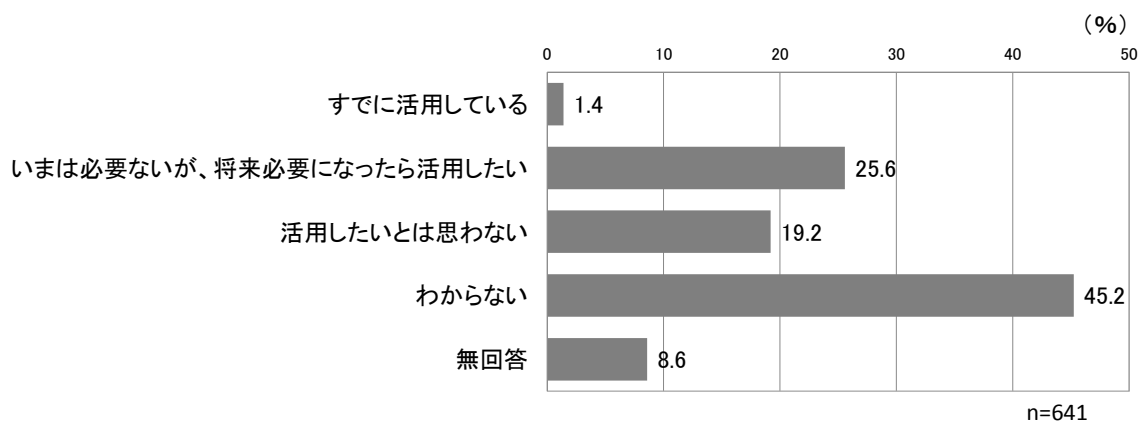


〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問48 成年後見制度の認知状況			
			内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		641 100.0	66 10.3	297 46.3	231 36.0	47 7.3
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	13 15.7	33 39.8	37 44.6	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	14 11.7	54 45.0	46 38.3	6 5.0
	60歳代以上	425 100.0	39 9.2	206 48.5	140 32.9	40 9.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	45 9.6	233 49.7	151 32.2	40 8.5
	知的障がい	86 100.0	12 14.0	34 39.5	36 41.9	4 4.7
	精神障がい	95 100.0	11 11.6	35 36.8	47 49.5	2 2.1

問49 成年後見制度の活用意向（SA）

○「わからない」が最も多く、「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」が25.6%とおよそ4分の1となっています。

★「わからない」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。また、「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」については、年齢別では“10歳代～30歳代”で、障がいの種類別では“知的障がい”で、それぞれ割合が高くなっています。



上段:人 下段:%	合計	問49 成年後見制度の活用意向					
		すでに活用している	いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい	活用したいとは思わない	わからない	無回答	
全体	641 100.0	9 1.4	164 25.6	123 19.2	290 45.2	55 8.6	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	1 1.2	36 43.4	8 9.6	38 45.8	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	6 5.0	27 22.5	18 15.0	64 53.3	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	2 0.5	99 23.3	95 22.4	180 42.4	49 11.5
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	4 0.9	111 23.7	101 21.5	209 44.6	44 9.4
	知的障がい	86 100.0	8 9.3	32 37.2	7 8.1	36 41.9	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	1 1.1	29 30.5	16 16.8	45 47.4	4 4.2

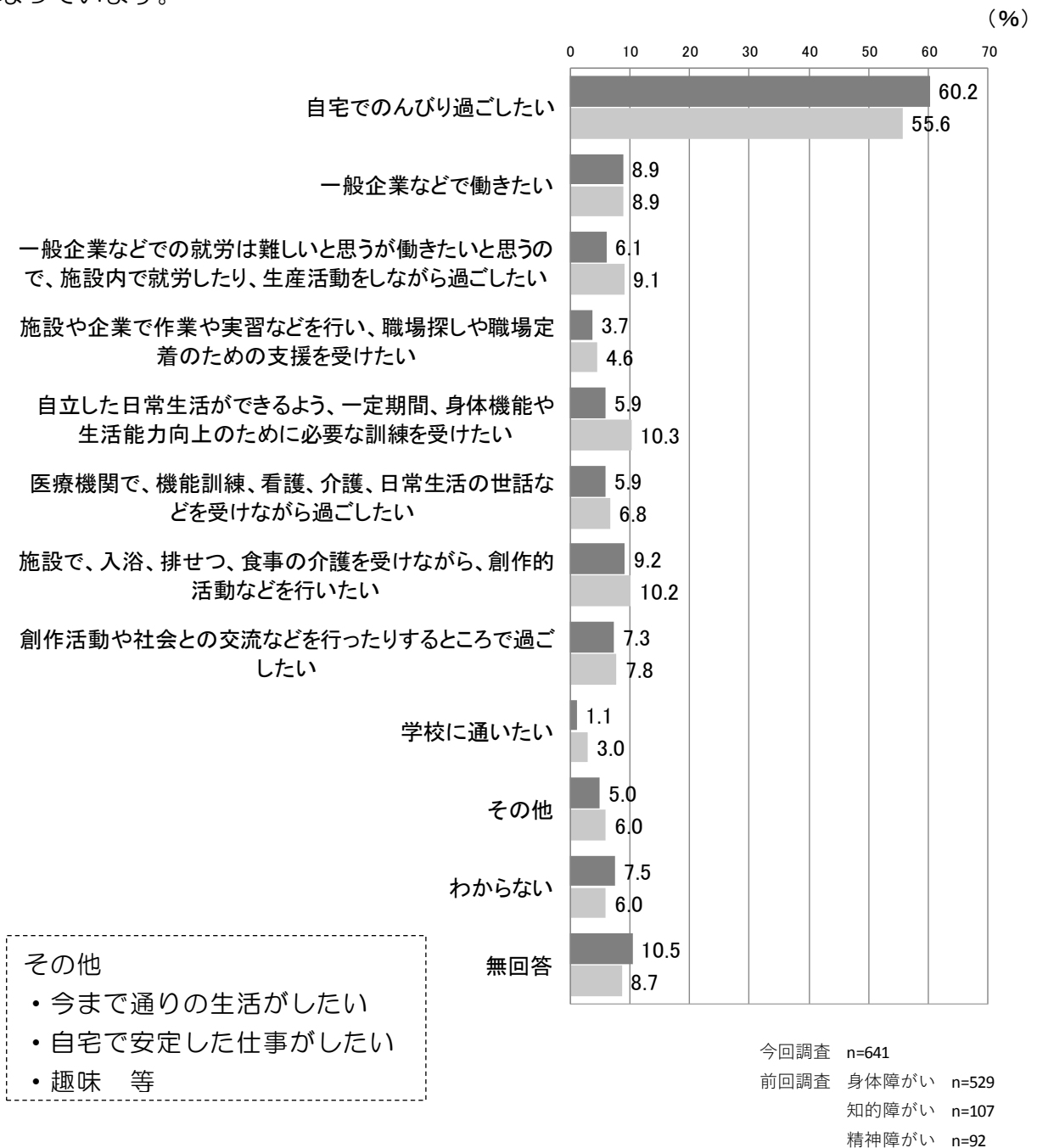
12 今後について

問50 今後希望する日中の過ごし方（MA）

○「自宅でのんびり過ごしたい」が最も多くなっています。

●「わからない」、「無回答」を除くと、「自宅でのんびり過ごしたい」が上昇しています。

★「自宅でのんびり過ごしたい」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。

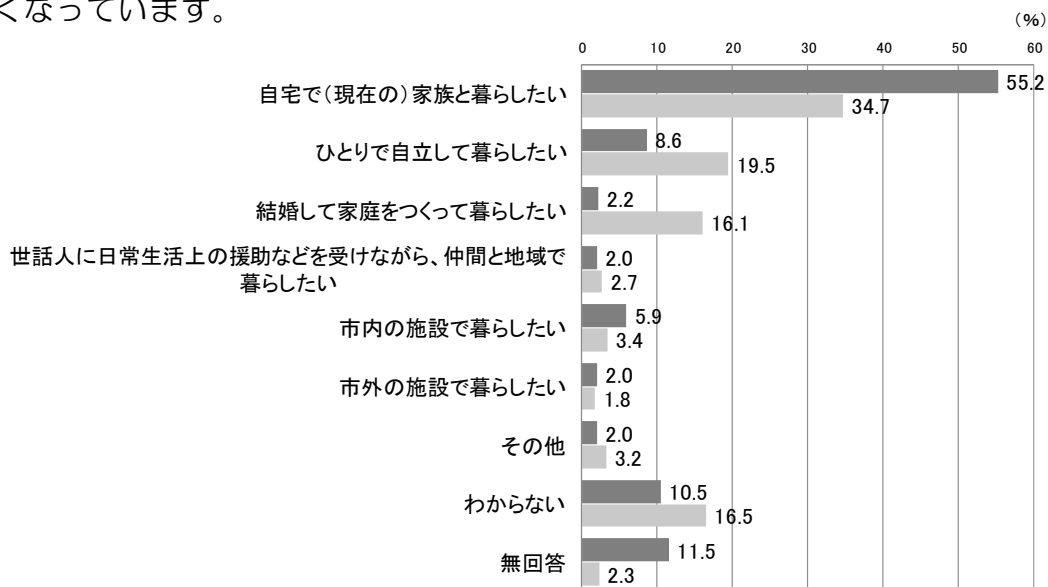


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問50 今後希望する日中の過ごし方						
		自宅でのんびり過ごしたい	一般企業などで働きたい	一般企業などでの就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動しながら過ごしたい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けながら過ごしたい	
全体	641 100.0	386 60.2	57 8.9	39 6.1	24 3.7	38 5.9	38 5.9	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	31 37.3	20 24.1	16 19.3	10 12.0	10 12.0	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	58 48.3	26 21.7	16 13.3	10 8.3	3 2.5	7 5.8
	60歳代以上	425 100.0	289 68.0	10 2.4	6 1.4	3 0.7	24 5.6	26 6.1
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	318 67.8	26 5.5	13 2.8	7 1.5	28 6.0	25 5.3
	知的障がい	86 100.0	31 36.0	7 8.1	15 17.4	7 8.1	7 8.1	8 9.3
	精神障がい	95 100.0	46 48.4	26 27.4	14 14.7	13 13.7	5 5.3	9 9.5

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問50 今後希望する日中の過ごし方						
		施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい	創作活動や社会との交流などを行うところで行いたい	学校に通いたい	その他	わからない	無回答	
全体	641 100.0	59 9.2	47 7.3	7 1.1	32 5.0	48 7.5	67 10.5	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	17 20.5	14 16.9	2 2.4	5 6.0	6 7.2	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	9 7.5	7 5.8	2 1.7	11 9.2	11 9.2	10 8.3
	60歳代以上	425 100.0	32 7.5	25 5.9	2 0.5	14 3.3	30 7.1	53 12.5
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	37 7.9	24 5.1	1 0.2	15 3.2	29 6.2	53 11.3
	知的障がい	86 100.0	22 25.6	12 14.0	0 0.0	4 4.7	8 9.3	5 5.8
	精神障がい	95 100.0	4 4.2	13 13.7	5 5.3	13 13.7	6 6.3	7 7.4

問51 近い将来どのように暮らしたいと思うか（SA）

- 「日宅で（現在の）家族と暮らしたい」が半数を超え最も多くなっています。
- 「自宅で（現在の）家族と暮らしたい」が、20.5ポイントと大幅に上昇しています。
- ★「日宅で（現在の）家族と暮らしたい」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。



今回調査 n=641
 前回調査 身体障がい n=529
 知的障がい n=107
 精神障がい n=92

その他

- ・病気の症状が出ない様、病院の先生とうまく付き合い通常の生活をしていきたい
- ・介護、ケア付きの県内の施設

上段:人 下段:%	合計	問51 近い将来どのように暮らしたいと思いますか									
		自宅で(現在の)家族と暮らしたい	ひとりで自立して暮らしたい	結婚して家庭をつくって暮らしたい	世話人に日常生活上の援助を受けながら、仲間と地域で暮らしたい	市内の施設で暮らしたい	市外の施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答	
全体	641 100.0	354 55.2	55 8.6	14 2.2	13 2.0	38 5.9	13 2.0	13 2.0	67 10.5	74 11.5	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	42 50.6	6 7.2	6 7.2	4 4.8	3 3.6	3 3.6	2 2.4	9 10.8	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	57 47.5	12 10.0	8 6.7	6 5.0	6 5.0	5 4.2	3 2.5	9 7.5	14 11.7
	60歳代以上	425 100.0	251 59.1	34 8.0	0 0.0	3 0.7	29 6.8	5 1.2	8 1.9	47 11.1	48 11.3
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	282 60.1	38 8.1	1 0.2	4 0.9	31 6.6	4 0.9	7 1.5	50 10.7	52 11.1
	知的障がい	86 100.0	42 48.8	5 5.8	3 3.5	7 8.1	4 4.7	9 10.5	1 1.2	6 7.0	9 10.5
	精神障がい	95 100.0	36 37.9	13 13.7	11 11.6	2 2.1	2 2.1	2 1.1	1 4.2	4 11.6	15 15.8

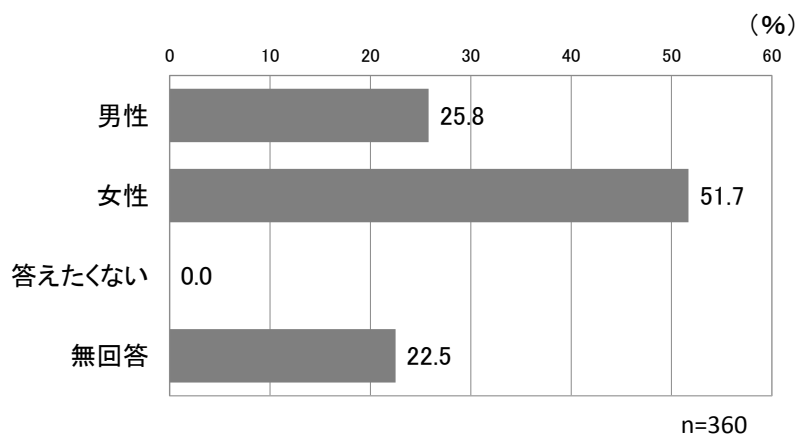
障がい者（家族）アンケート結果の詳細

第3章の問13で「父、母」「配偶者（夫、妻）」「子ども、子どもの配偶者」「兄弟、姉妹」「その他の親せき」に限定

問1 介助者の性別（SA）

○「女性」がおよそ半数を占め、最も多くなっています。

★「女性」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。

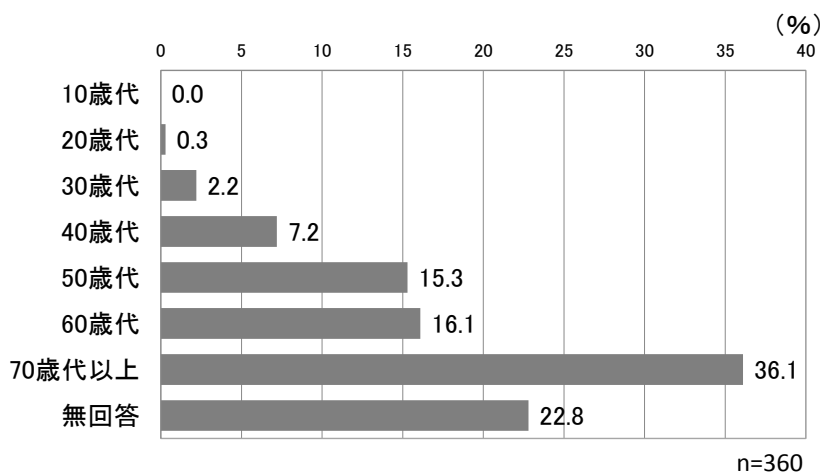


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問1 介助者の性別				
		男性	女性	答えたく ない	無回答	
全体	360 100.0	93 25.8	186 51.7	0 0.0	81 22.5	
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	8 14.0	45 78.9	0 0.0	4 7.0
	40歳代～50歳代	62 100.0	20 32.3	23 37.1	0 0.0	19 30.6
	60歳代以上	233 100.0	65 27.9	112 48.1	0 0.0	56 24.0
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	73 27.9	132 50.4	0 0.0	57 21.8
	知的障がい	60 100.0	13 21.7	44 73.3	0 0.0	3 5.0
	精神障がい	45 100.0	7 15.6	19 42.2	0 0.0	19 42.2

問2 介助者の年齢（SA）

○「70歳代以上」が最も多くなっています。

★「70歳代以上」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。また、「50歳代」については、“40歳代～50歳代”、“知的障がい”で、それぞれ割合が最も高く、「60歳代」については、“10歳代～30歳代”、“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。”

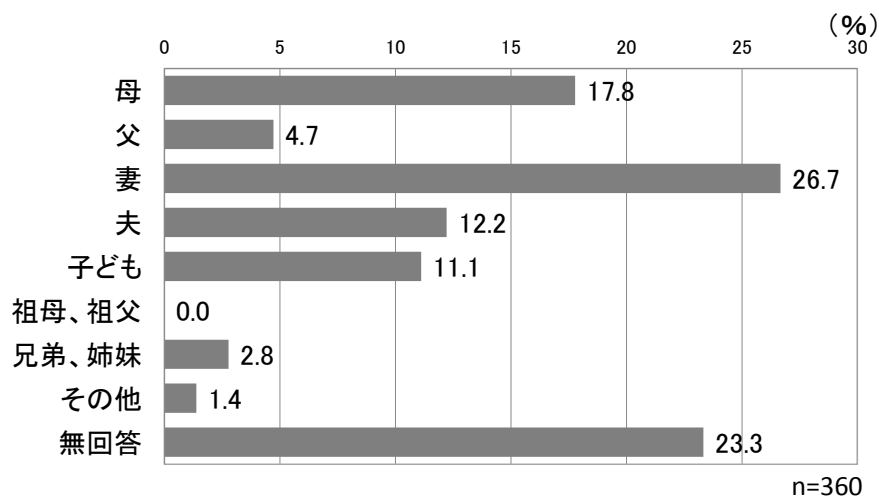


〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問2 介助者の年齢							無回答
			10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	
全体		360 100.0	0 0.0	1 0.3	8 2.2	26 7.2	55 15.3	58 16.1	130 36.1	82 22.8
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	0 0.0	0 0.0	2 3.5	3 5.3	21 36.8	23 40.4	4 7.0	4 7.0
	40歳代～50歳代	62 100.0	0 0.0	1 1.6	3 4.8	11 17.7	13 21.0	2 3.2	13 21.0	19 30.6
	60歳代以上	233 100.0	0 0.0	0 0.0	3 1.3	12 5.2	20 8.6	30 12.9	112 48.1	56 24.0
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	0 0.0	1 0.4	6 2.3	19 7.3	31 11.8	31 11.8	116 44.3	58 22.1
	知的障がい	60 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7	4 6.7	22 36.7	21 35.0	9 15.0	3 5.0
	精神障がい	45 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.2	4 8.9	4 8.9	10 22.2	7 15.6	19 42.2

問3 本人との続柄 (SA)

○無回答を除くと、「妻」が最も多く、「母」、「夫」、「子ども」と続きます。

★「妻」については、“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ最も割合が最も高くなっています。「母」については、“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”、“知的障がい”及び“精神障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。

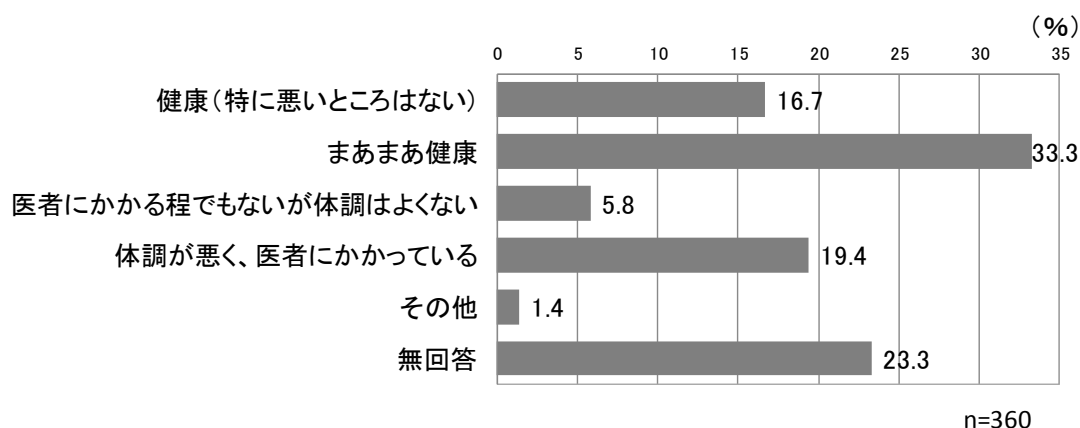


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問3 本人との続柄								
		母	父	妻	夫	子ども	祖母、祖父	兄弟、姉妹	その他	無回答
全体	360 100.0	64 17.8	17 4.7	96 26.7	44 12.2	40 11.1	0 0.0	10 2.8	5 1.4	84 23.3
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	44 77.2	8 14.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	0 0.0	4 7.0
	40歳代～50歳代	62 100.0	12 19.4	6 9.7	11 17.7	6 9.7	3 4.8	0 0.0	5 8.1	0 0.0
	60歳代以上	233 100.0	7 3.0	3 1.3	83 35.6	36 15.5	36 15.5	0 0.0	4 1.7	5 2.1
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	18 6.9	9 3.4	91 34.7	42 16.0	34 13.0	0 0.0	5 1.9	4 1.5
	知的障がい	60 100.0	40 66.7	11 18.3	0 0.0	0 0.0	1 1.7	0 0.0	3 5.0	1 1.7
	精神障がい	45 100.0	14 31.1	2 4.4	4 8.9	2 4.4	1 2.2	0 0.0	2 4.4	0 0.0

問4 介助者の健康状態（SA）

○「まあまあ健康」が最も多くなっています。一方、「医者にかかる程でもないが体調はよくない」及び「体調が悪く、医者にかかっている」を合わせた『体調はよくない』が25.3%とおおよそ4分の1となっています。

★「まあまあ健康」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。また、『体調はよくない』については、“10歳代～30歳代”、“知的障がい”で、それぞれ30%を超えて高くなっています。

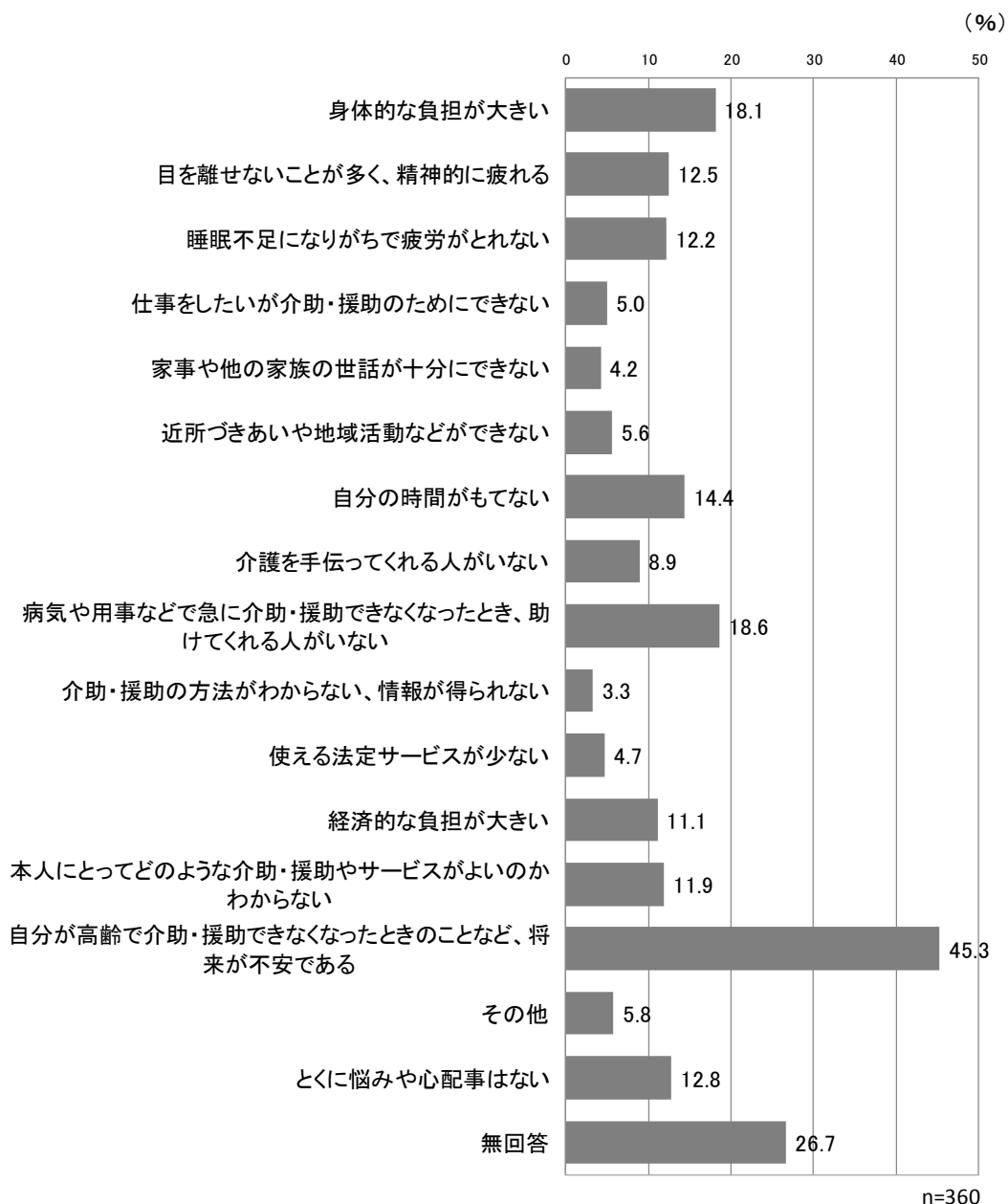


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問4 介助者の健康状態						体調はよくない	
		健康(特に悪いところはない)	まあまあ健康	医者にかかる程でもないが体調はよい	体調が悪く、医者にかかっている	その他	無回答		
全体	360 100.0	60 16.7	120 33.3	21 5.8	70 19.4	5 1.4	84 23.3	91 25.3	
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	12 21.1	20 35.1	6 10.5	12 21.1	3 5.3	4 7.0	18 31.6
	40歳代～50歳代	62 100.0	9 14.5	20 32.3	2 3.2	12 19.4	0 0.0	19 30.6	14 22.6
	60歳代以上	233 100.0	38 16.3	77 33.0	12 5.2	45 19.3	2 0.9	59 25.3	57 24.5
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	41 15.6	95 36.3	16 6.1	49 18.7	2 0.8	59 22.5	65 24.8
	知的障がい	60 100.0	13 21.7	20 33.3	6 10.0	15 25.0	2 3.3	4 6.7	21 35.0
	精神障がい	45 100.0	3 6.7	12 26.7	1 2.2	8 17.8	1 2.2	20 44.4	9 20.0

問5 介助・援助の悩みや心配事（MA）

○「とくに悩みは心配事はない」及び無回答を除くと、60.5%が悩みや心配事をあげています。その中では、「自分が高齢で介助・援助ができなくなったときなど、将来が不安である」が最も多くなっています。

★「自分が高齢で介助・援助ができなくなったときなど、将来が不安である」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。

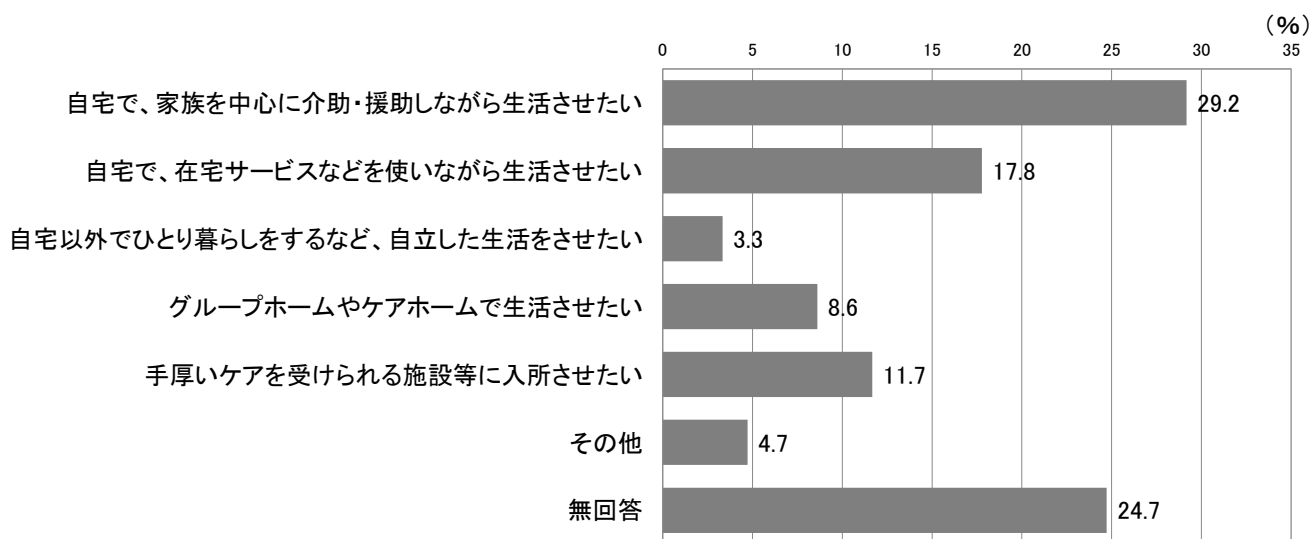


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問5 介助・援助の悩みや心配事									
		身体的な負担が大きい	目を離せないことが多く、精神的に疲れる	睡眠不足になりがちで疲労がとれない	仕事をしたいが介助・援助のためにできない	家事や他の家族の世話が十分にできない	近所づきあいや地域活動などができない	自分の時間がない	介護を手伝ってくれる人がいない	病気や用事などで急に介助・援助できなくなったとき、助けてくれる人がいない	
全体	360 100.0	65 18.1	45 12.5	44 12.2	18 5.0	15 4.2	20 5.6	52 14.4	32 8.9	67 18.6	
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	18 31.6	20 35.1	15 26.3	6 10.5	5 8.8	7 12.3	16 28.1	5 8.8	19 33.3
	40歳代～50歳代	62 100.0	8 12.9	5 8.1	3 4.8	2 3.2	2 3.2	4 6.5	4 6.5	5 8.1	11 17.7
	60歳代以上	233 100.0	38 16.3	20 8.6	26 11.2	10 4.3	8 3.4	9 3.9	32 13.7	22 9.4	37 15.9
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	46 17.6	24 9.2	29 11.1	10 3.8	10 3.8	10 3.8	37 14.1	24 9.2	46 17.6
	知的障がい	60 100.0	18 30.0	20 33.3	15 25.0	6 10.0	6 10.0	9 15.0	14 23.3	7 11.7	17 28.3
	精神障がい	45 100.0	2 4.4	3 6.7	2 4.4	3 6.7	1 2.2	1 2.2	2 4.4	2 4.4	6 13.3

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問5 介助・援助の悩みや心配事							無回答	
		介助・援助の方法がわからない、情	使える法定サービスが少ない	経済的な負担が大きい	本人にとってどのような介助・援助	自分が高齢で介助・援助できなく	その他	とくに悩みや心配事はない		
全体	360 100.0	12 3.3	17 4.7	40 11.1	43 11.9	163 45.3	21 5.8	46 12.8	96 26.7	
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	1 1.8	8 14.0	6 10.5	9 15.8	41 71.9	5 8.8	2 3.5	5 8.8
	40歳代～50歳代	62 100.0	2 3.2	3 4.8	8 12.9	10 16.1	23 37.1	3 4.8	10 16.1	22 35.5
	60歳代以上	233 100.0	9 3.9	5 2.1	25 10.7	23 9.9	97 41.6	13 5.6	32 13.7	67 28.8
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	11 4.2	6 2.3	26 9.9	28 10.7	111 42.4	12 4.6	42 16.0	71 27.1
	知的障がい	60 100.0	1 1.7	9 15.0	8 13.3	9 15.0	43 71.7	4 6.7	2 3.3	5 8.3
	精神障がい	45 100.0	0 0.0	1 2.2	5 11.1	7 15.6	15 33.3	5 11.1	3 6.7	23 51.1

問6 本人の将来の生活をどのように考えているか (SA)

○「自宅で、家族を中心に介助・援助しながら生活させたい」が最も多くなっています。
 ★「自宅で、家族を中心に介助・援助しながら生活させたい」については、“40歳代～50歳代”及び“60歳代以上”、“身体障がい”で、それぞれ割合が高くなっています。また、“10歳代～30歳代”では、「グループホームやケアホームで生活させたい」の割合が最も高く、“精神障がい”では、「自宅以外でひとり暮らしをするなど、自立した生活をさせたい」の割合が最も高くなっています。



n=360

上段:人 下段:%	合計	問6 本人の将来の生活をどのように考えていますか							
		自宅で、家族を中心に介助・援助しながら生活させたい	自宅で、在宅サービスなどを使いながら生活させたい	自宅以外でひとり暮らしをするなど、自立した生活をさせたい	グループホームやケアホームで生活させたい	手厚いケアを受けられる施設等に入所させたい	その他	無回答	
全体	360 100.0	105 29.2	64 17.8	12 3.3	31 8.6	42 11.7	17 4.7	89 24.7	
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	8 14.0	5 8.8	7 12.3	16 28.1	14 24.6	4 7.0	3 5.3
	40歳代～50歳代	62 100.0	17 27.4	7 11.3	4 6.5	5 8.1	6 9.7	5 8.1	18 29.0
	60歳代以上	233 100.0	76 32.6	52 22.3	1 0.4	10 4.3	20 8.6	8 3.4	66 28.3
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	92 35.1	54 20.6	1 0.4	10 3.8	28 10.7	11 4.2	66 25.2
	知的障がい	60 100.0	10 16.7	6 10.0	2 3.3	20 33.3	16 26.7	3 5.0	3 5.0
	精神障がい	45 100.0	4 8.9	6 13.3	9 20.0	2 4.4	2 4.4	3 6.7	19 42.2

自由記述

○129人の方から171件のご意見・ご要望を頂きました。内容と件数については以下の通りです。

主な意見の内容（件数）
障がいの状況・近況について 31件
<ul style="list-style-type: none">・現在透析中でありこれからも行動に十分注意して家族に迷惑を掛けない様にしたい。・リハビリに通所させるも金額的にも辛い生活が続いている。・今自分に出来る事を精一杯やっていきたいと考えています。・交通災害による右股関節全廃ですが他にも目とかに障害は残りましたが現在1人で生活しております。・身体障害者手帳で1級となっておりますが、現在介護は一切必要ではなく、働く事も出来ています。今の所は以前と変わらない毎日が過ごせています。・うつなので気分の浮き沈みが激しい。・本人は現在96才、施設に入居し聴力、脚力が弱くホームヘルパーの介助で入居しています。・今現在は介助、援助する必要性がないので自分の身体の保護に気を付けています。
不安・心配・困り事について 20件
<ul style="list-style-type: none">・私自身が寝たきりになった場合、ストーマを交換してくれる人（福祉）がいるかが心配だ。・私も収入、健康を考えると42歳の息子を援助し続けられるかと思うと不安です。・親亡き後、療育手帳Bなのに障害者年金が受けられず、将来が非常に不安です。・夫婦、70才代の我が家では（子供がいないので）日中はタクシーデマンドの外出が出来ますが、夜中、早朝の動きが取れないのは困ります。・収入がなくなった時の生活が不安。・精神的障害は、一見普通に見えるので他人からの理解が得られない。・今は両親と暮らしていますが、両親がいなくなり1人になった時はどうしていいか分かりません。
アンケートについて 20件
<ul style="list-style-type: none">・自身は精神の側ですが1級ではないのでこのアンケートはとても申し訳ないのですが計画のお役に立てると思えません。精神の方からは1級の方を選ばれるべきだったのではないのでしょうか。。・私は現在90才を過ぎています。年齢の質問にも70才以上しかないし、アンケートに協力できていないかとも思います。・私は視覚障がい者です（弱視）、書く事や読む事が辛い、書類、アンケートが辛いです。・記入スペースが小さくて書きづらいです。もう少し文字を大きく書けるようにして下さい。・色々なサービスがある事が分かり今後必要な時に必要なサービスを受けたいと思います。

相談・情報提供・手続きについて 16件

- ・手続きや申請の流れがもう少しスムーズにできるようになるとありがたいです。
- ・市役所職員が自宅に来て相談にのってくれる市町村も多いのに北本は一切ない。
- ・2年に1度手帳を更新する事が負担です。手帳を更新する為だけに生涯治らないのに病院に3ヶ月に1度通院し続ける事が負担です。
- ・身体障害者手帳は一度も使っていないし何時使うのか理解できない。どういう場で使用するのか役に立てるのかを知りたい、是非教えて下さい。
- ・障がい福祉課より種々の書類が送られてきます。提出書類の年間スケジュール表のようなものを作成していただけないでしょうか。心づもりができます。
- ・重度心身障害者医療費の請求書を作成するのが面倒である。

行政施策について 13件

- ・障害者にはもちろん、介助援助している者にもケアが必要。
- ・発達障害者用の手帳制度がほしいです。
- ・災害時に障害者用の避難場所を用意してほしい。
- ・長マスク等の備蓄をお願いしたいと思います。
- ・月1回でも巡回図書館が来てもらえたらどんなにか楽しいか。
- ・身体障害者手帳のサイズが一般のカードとサイズが違うので合うサイズのケースが見つかりません。
- ・現在北本の東口ストッカーが2月19日に閉店になり皆様大変困っております。道の駅みたいなお店でも良いですから今後つくって欲しいです。
- ・日常生活で不自由はありませんが、子育てにおいて体の負担がかかります。障がい者の方の子育て支援も手厚くなれば良いと思います。

障害福祉サービスについて 9件

- ・グループホームやケアホームを早く建設して頂きたい。両親が元気なうちに子供がケアホームやグループホームで生活しているのを見届けたい。
- ・北本市内に生活介護やA、B型作業所などをすすんで作ってほしい。
- ・肢体のショートステイが1時間位かかる所にしかないのでは北本に肢体の預けられる所がほしい。
- ・長期で見てくれる療養病院がもっとあって欲しい。

感謝 8件

- ・市の障害者福祉課にはいつもお世話になり非常に感謝しております。今後共よろしくお願ひ致します。
- ・日頃から大変お世話になり本当に感謝しています。これからも支援よろしくお願ひ致します。
- ・買い物の帰りに小学生から荷物を持とうと言う声を掛けられた時、北本市の教育水準はスゴイと感じた事がありました。北本市が今後もより良いものを作り上げられますようお祈り申し上げます。

将来の生活について 7件

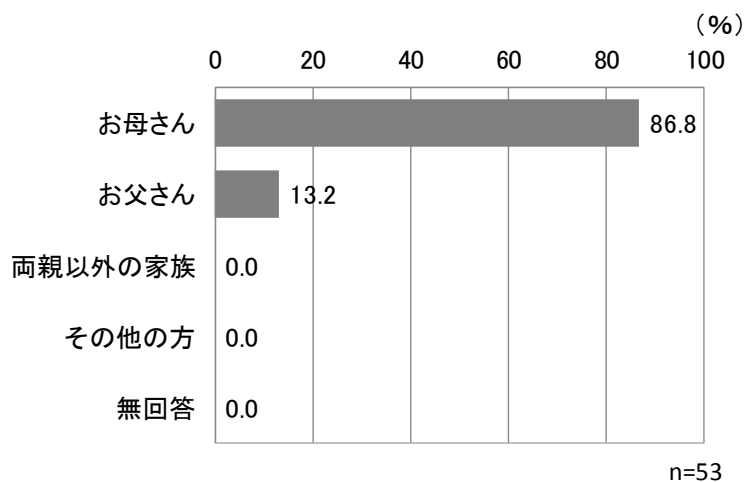
- ・一人暮らしかグループホームかこのまま同居を続けるか本人は分からないと言います。
- ・一人暮らしだと日常生活に不安が有り、グループホームだと人の付き合いが出来なくて今の仕事もいつまで続くかわからない。

<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームにするか施設にするか悩んでいます。グループホームの方が多少自由な生活が出来そうなのですが、病気の時や年を取った時に施設に入所するのは馴染めていけるか心配です。 ・私は介助してくれる人がいない、年金がないのでお金のかからない施設に入りたいと思っています。
理解・啓発について 7件
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプマークの認知度が低いと思います。 ・買い物の帰りに小学生から荷物を持とうと言う声を掛けられた時、北本市の教育水準はスゴイと感じた事がありました。 ・障がい者を排除しようとした事件があってこわくて他者に話せない。見た目が障がい者と分からない為、優先スペースを利用すると睨まれる。 ・世間では補聴器を付けていれば健常者並に聞こえていると誤解している。音としては聞こえるが言葉として聞き取れないことはあることを理解してほしい。
サービス全般について 6件
<ul style="list-style-type: none"> ・北本市には居宅介護事業所も入所施設もありません。障害の悪い人程利用できるサービスがありません。住み慣れた市で生活させたいと思っていますが、高齢者施設は民間でもあるので障害者施設を市が責任を持ってつくっていただきたいと思っています。 ・自宅で一人で暮らすサービスや援助の制度がない。 ・他市町村に比べると北本市は福祉サービスが整っていない。区分等も北本市だと厳しくて必要なサービスが受けられない。
バリアフリーについて 6件
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車は安全に乗れるスペースが無いです。安全に移動できるように道路の整備を早急をお願いします。 ・公的な施設のトイレが使いにくい。 ・駅東口に点字ブロック（目印）がほしい。 <p>・交差点で音声のない場所があると歩行が難しく不安。歩道で車進入禁止のポールがあるが鉄やコンクリートで出来ている所があり、膝等をぶつける事がある為、ポールの周りにケガ防止用の何かを巻いてほしい。</p>
移動支援について 6件
<ul style="list-style-type: none"> ・北本は交通が不便に感じます。デマンドバスは目的地までに迂回していく事が多くあり時間がかかり、福祉タクシー利用券は初乗り分だけなので、ほとんど意味がありません。 ・デマンドバスがとても良いのですが4件しか予約が出来ず取りにくいです。デマンドバスをもっと増やして欲しいです。
経済的負担の軽減について 6件
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費負担を減じるために市内医療関連費用を個人負担でしないようにしてほしい。 ・精神障害者は定義があいまいで、完治は難しく病気との共生と思っています。そういった中で一般の方との経済的負担に大きなサービスを増やして欲しいです。 ・補装具の補助について。高度な補聴器になるほど金額は高くなりますので補助金の増加をご検討をお願いします。

<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドバスが全線4月1日より500円になります。予算のある人は良いと思いますが、ない人は病院にも行けません。 ・精神の病気と異なり脳の病気による障害なのに身体障害とは見なされず、車椅子やヘッドギアの（政策）製作に補助が出ないのが負担である。
<p>雇用・就労について 4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般企業で働いていますが、障がい者との配慮が全くないです。他の人と同じノートパソコンで見えないし使いにくい。週に5日働いたら普通に生活できるだけの給料が欲しいと思います。 ・60代の時いくつかの仕事場へ行きましたが断られ、障がいがあると働けない事を知らされました。もっと受け入れてくれる会社を取り入れてほしいです。 ・北本市内では自分のやれる仕事が無く、熊谷市へ出勤している、小さな北本市では会社等の仕事をする場所、種類が少ないと思う。
<p>病院での対応等について 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の職員が患者の物品を盗む、患者同士で喧嘩が起きる、スタッフが暴言を吐く、嫌がらせをするスタッフだと思われる人が患者の所持品を盗む、スタッフの指導が足りない。 ・障がい者は介護タクシーで入院していた病院に行けと言われ、早く帰れみたいな態度でした。 ・医療機関（医師）で聞き返すとあからさまに不快な反応を受け、十分なコミュニケーションが取れないようになる。必要な医療説明を受けられない。
<p>その他 9件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常会話する相手がいないことが問題だと医師に言われた事がありますが、食事の種類などが問題でその様な施設に行けなかった。 ・もっと暮らしやすい地域になることを願います。 ・より高度な支援を受けられる病院付属の施設に入所出来なかったのが残念です。 ・先日、自宅へ市の高齢介護課の方が見えまして家の実情など聞かれました。今後ともよろしく願いいたします。

第3章 障がい児アンケートの詳細

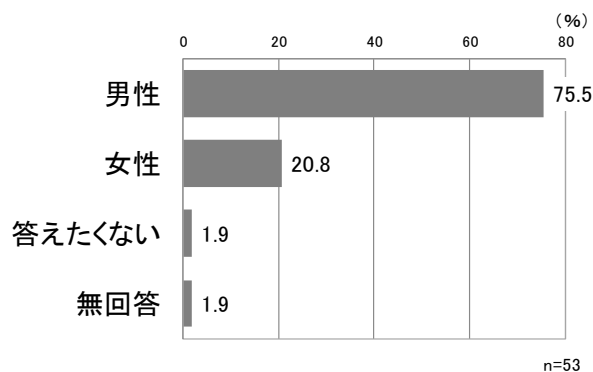
問1 調査票への記入者（SA）



上段:人 下段:%	合計	問1 記入者					
		お母さん	お父さん	両親以外の家族	その他の方	無回答	
全体	53 100.0	46 86.8	7 13.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	12 85.7	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	15 93.8	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	29 85.3	5 14.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

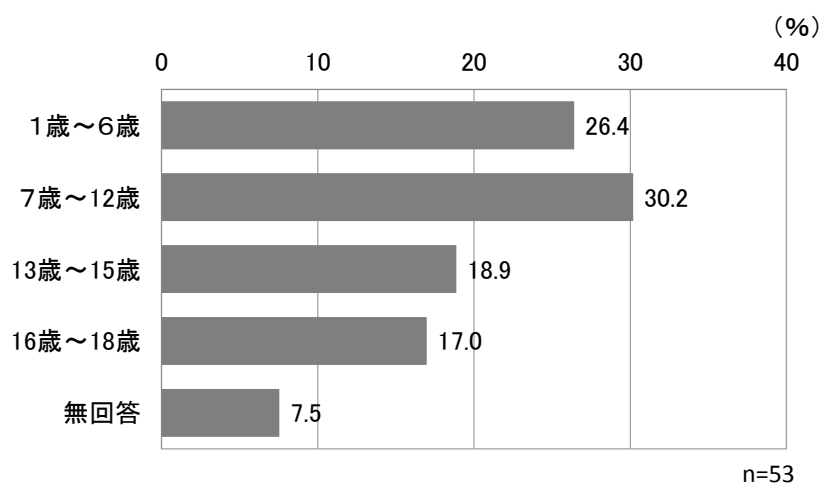
1 調査対象者のプロフィール

問2① 性別 (SA)

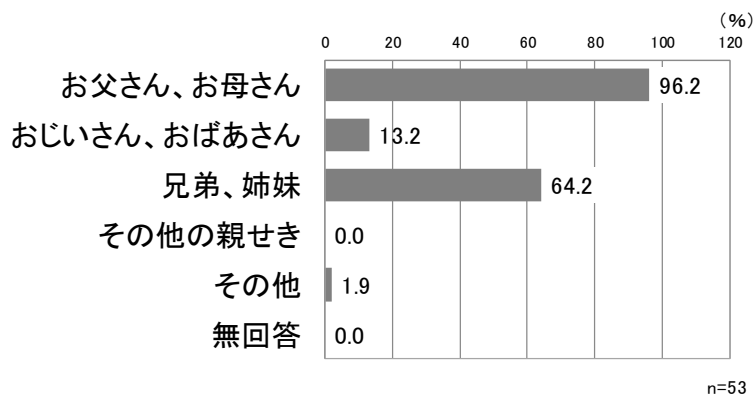


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問2①お子さんの性別				
		男性	女性	答えたくない	無回答	
全体	53 100.0	40 75.5	11 20.8	1 1.9	1 1.9	
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	27 79.4	6 17.6	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

問2② 年齢 (NA)

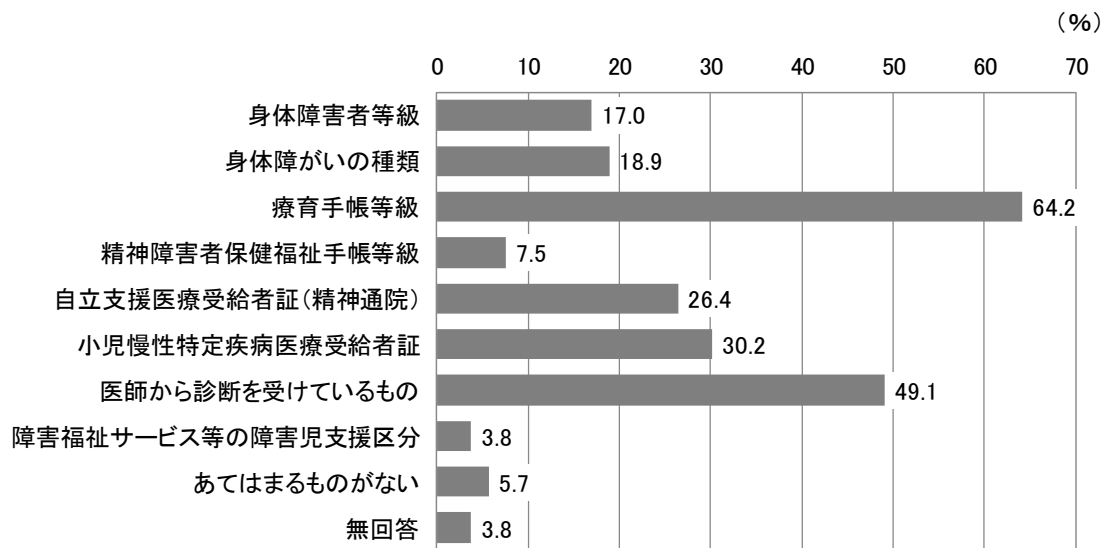


問3 現在一緒に暮らしている人 (MA)



上段:人 下段:%	合計	問3 いっしょに暮らしている人						
		お父さん、お母さん	おじいさん、おばあさん	兄弟、姉妹	その他の親せき	その他	無回答	
全体	53 100.0	51 96.2	7 13.2	34 64.2	0 0.0	1 1.9	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	14 100.0	0 0.0	8 57.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	16 100.0	2 12.5	14 87.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	10 100.0	2 20.0	6 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	8 88.9	2 22.2	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	8 80.0	2 20.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	33 97.1	4 11.8	23 67.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

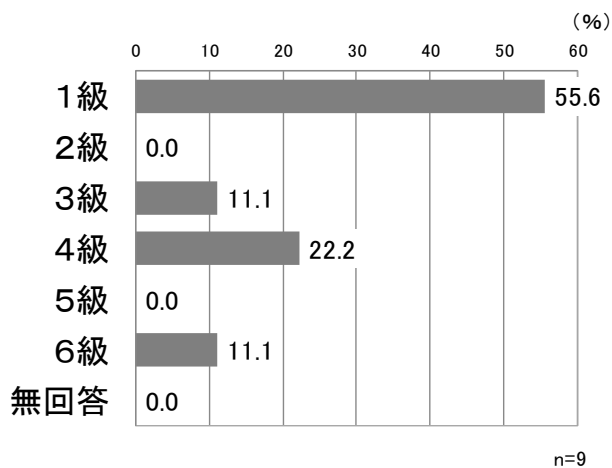
問4 持っている手帳・受給者証の種類 (MA)



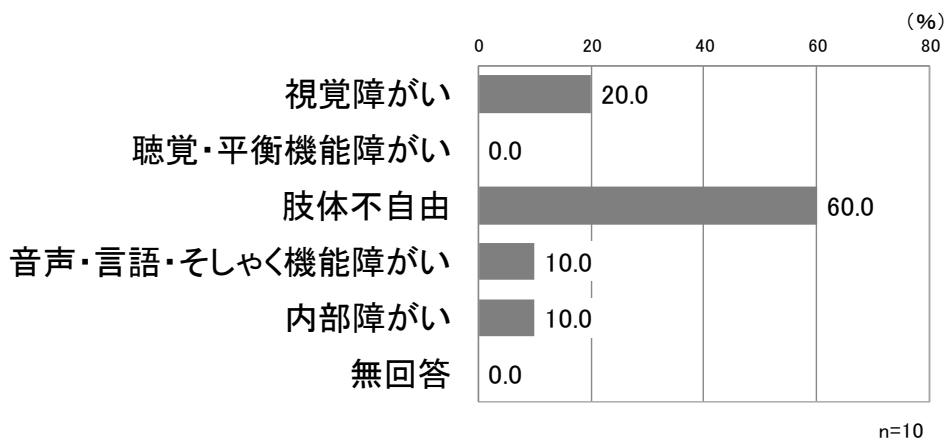
n=53

上段:人 下段:%	合計	問4 持っている手帳・受給者証の種類										
		身体障害者等級	身体障がいの種類	療育手帳等級	精神障害者保健福祉手帳等級	自立支援医療受給者証(精神通院)	小児慢性特定疾病医療受給者証	医師から診断を受けているもの	障害福祉サービス等の障害児支援区分	あてはまるものがない	無回答	
全体	53 100.0	9 17.0	10 18.9	34 64.2	4 7.5	14 26.4	16 30.2	26 49.1	2 3.8	3 5.7	2 3.8	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	2 14.3	4 28.6	0 0.0	1 7.1	1 7.1	8 57.1	1 7.1	2 14.3	2 14.3
	7歳～12歳	16 100.0	2 12.5	2 12.5	13 81.3	2 12.5	5 31.3	5 31.3	8 50.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	2 20.0	7 70.0	1 10.0	4 40.0	5 50.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	3 33.3	7 77.8	0 0.0	3 33.3	3 33.3	4 44.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	9 90.0	10 100.0	3 30.0	2 20.0	7 70.0	8 80.0	5 50.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	2 5.9	3 8.8	34 100.0	2 5.9	8 23.5	9 26.5	14 41.2	1 2.9	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	4 100.0	2 50.0	3 75.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

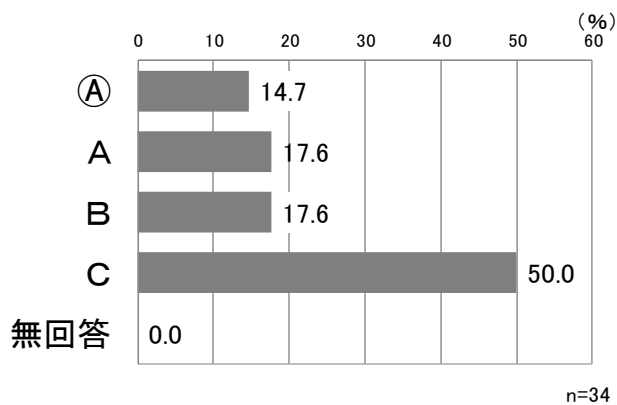
問4 ①身体障害者等級（SA）



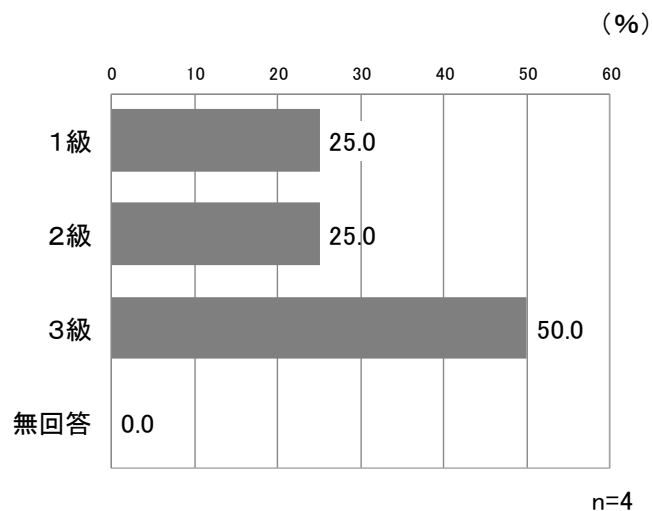
問4 ②身体障がいの種類（MA）



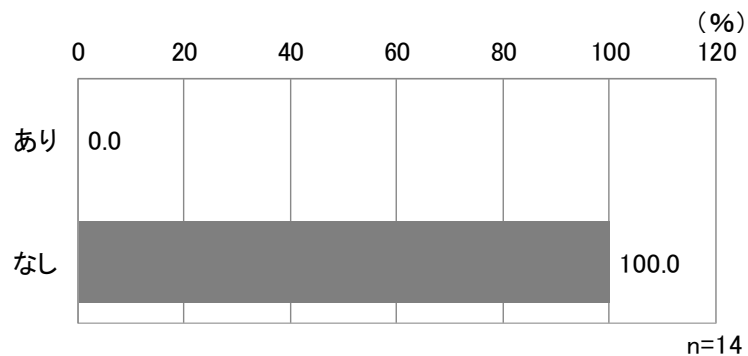
問4 ③療育手帳等級（SA）



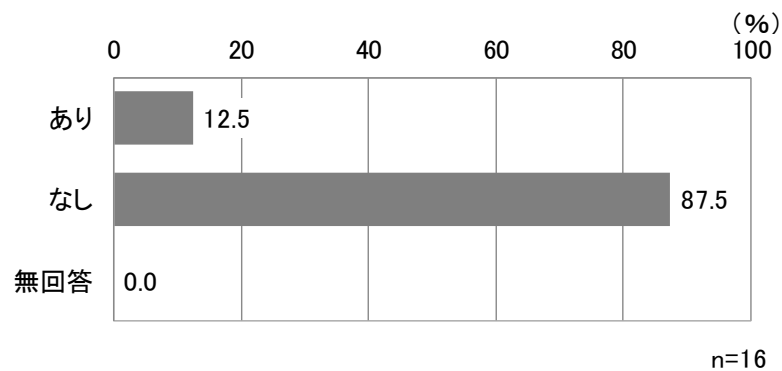
問4 ④精神障害者保健福祉手帳等級 (SA)



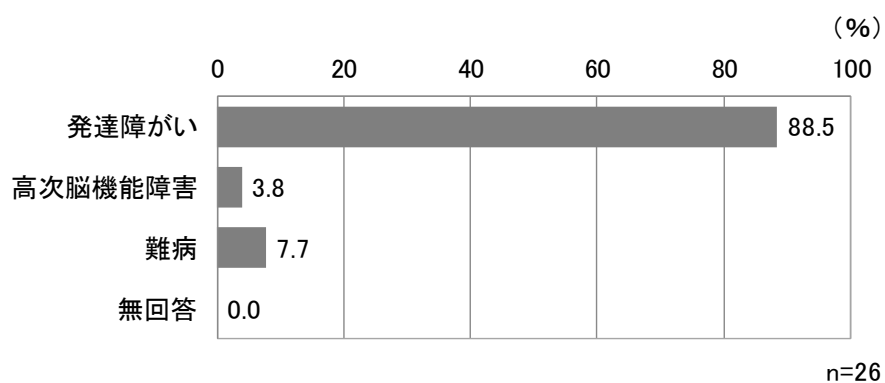
問4 ⑤自立支援医療受給者証 (SA)



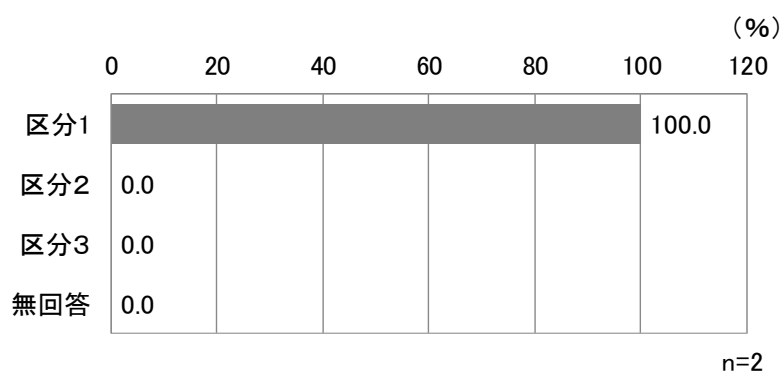
問4 ⑥小児慢性特定疾病医療受給者証 (SA)



問4 ⑦医師から診断を受けているもの

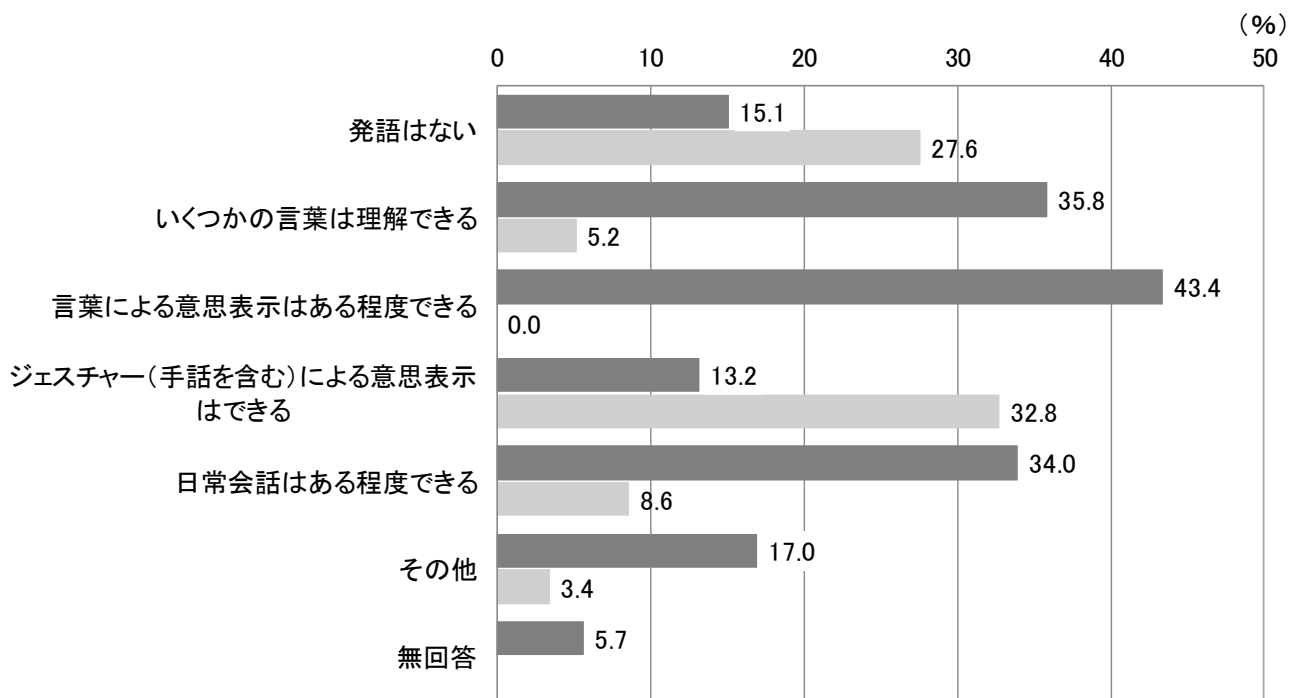


問4 ⑧障害福祉サービス等の障害児支援区分 (SA)



問5 コミュニケーション能力の程度 (MA)

- 「言葉による意思表示はある程度できる」が最も多くなっています。
- 「日常会話はある程度できる」が上昇しました。
- ★「言葉による意思表示はある程度できる」については、“知的障がい”で割合が高くなっています。



n=53
n=58

その他

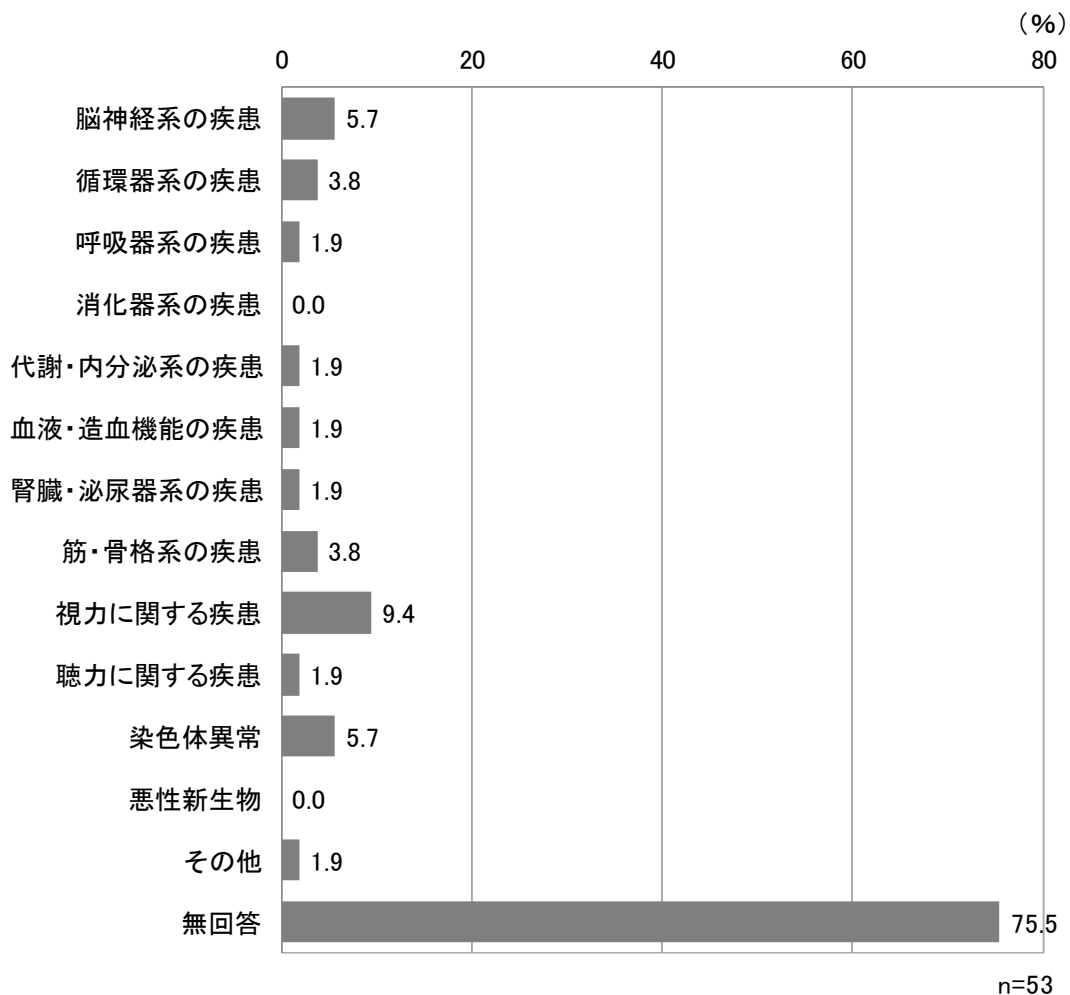
- ・やり取りに時間はかかるが会話できる

上段:人 下段:%	合計	問5 コミュニケーション能力の程度							
		発語はない	いくつかの言葉は理解できる	言葉による意思表示はある程度できる	ジェスチャー(手話を含む)による意思表示はできる	日常会話はある程度できる	その他	無回答	
全体	53 100.0	8 15.1	19 35.8	23 43.4	7 13.2	18 34.0	9 17.0	3 5.7	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	3 21.4	8 57.1	6 42.9	2 14.3	3 21.4	3 21.4	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	3 18.8	6 37.5	1 6.3	7 43.8	2 12.5	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	5 50.0	3 30.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	6 66.7	4 44.4	3 33.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	4 40.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0
	知的障がい	34 100.0	5 14.7	14 41.2	18 52.9	6 17.6	14 41.2	3 8.8	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0

問6 お子さんの持っている疾患（MA）

○無回答を除くおよそ4分の1の中では、「視力に関する疾患」が最も多くなっています。

★「視力に関する疾患」については“7歳～12歳”で“知的障がい”の割合が高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問6 子どもの持っている疾患							
		脳神経系 の疾患	循環器系 の疾患	呼吸器系 の疾患	消化器系 の疾患	代謝・内 分泌系の 疾患	血液・造 血機能の 疾患	腎臓・泌 尿器系の 疾患	
全体	53 100.0	3 5.7	2 3.8	1 1.9	0 0.0	1 1.9	1 1.9	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	2 5.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0	1 2.9	1 2.9	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

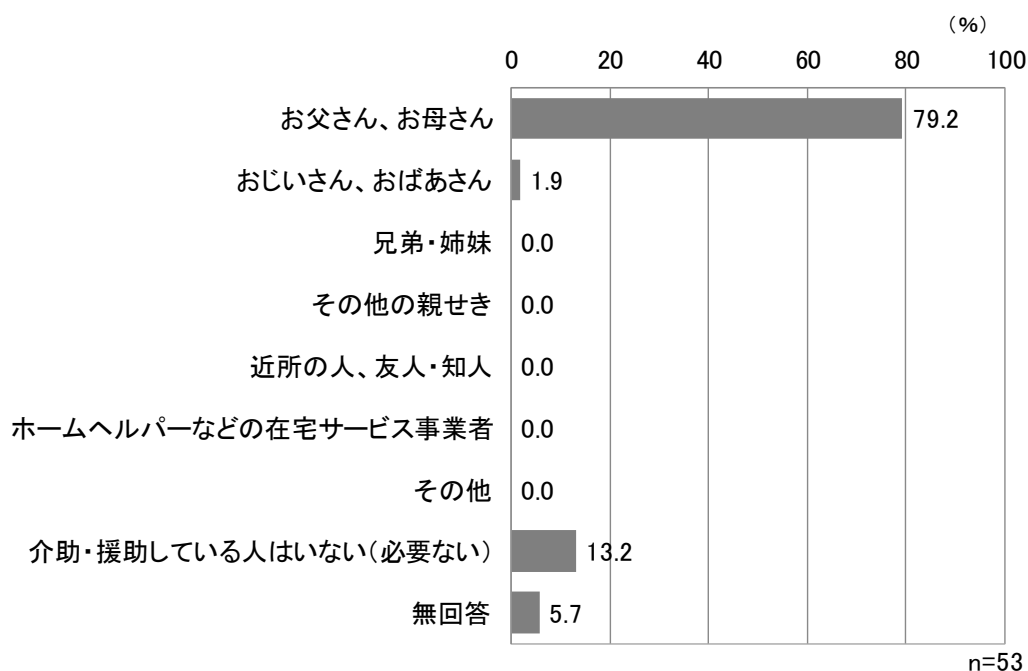
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問6 子どもの持っている疾患							
		筋・骨格 系の疾患	視力に関 する疾患	聴力に関 する疾患	染色体異 常	悪性新生 物	その他	無回答	
全体	53 100.0	2 3.8	5 9.4	1 1.9	3 5.7	0 0.0	1 1.9	40 75.5	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	12 85.7
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	3 18.8	0 0.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	9 56.3
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 80.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 88.9
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0
	知的障がい	34 100.0	1 2.9	4 11.8	1 2.9	3 8.8	0 0.0	1 2.9	25 73.5
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

2 介助について

問7 主な介助・援助者（SA）

○「お父さん、お母さん」が最も多くなっています。

★「介護・援助している人はいない（必要ない）」については、“13歳～15歳”、“16歳～18歳”、“身体障がい”で割合が高くなっています。



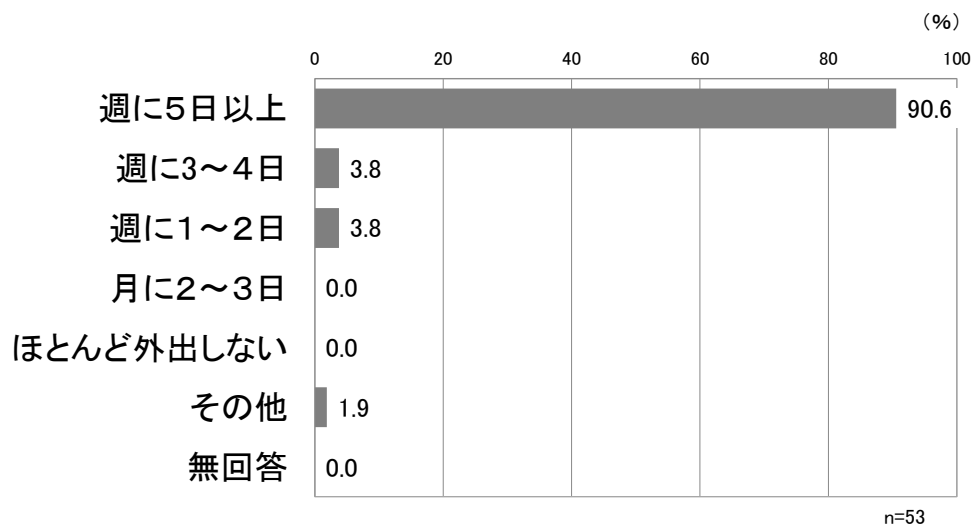
上段:人 下段:%	合計	問7 主な介助・援助者									
		お父さん、お母さん	おじいさん、おばあさん	兄弟・姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパーなどの在宅サービス事業者	その他	介護・援助している人はいない(必要ない)	無回答	
全体	53 100.0	42 79.2	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 13.2	3 5.7	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	11 78.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	14 87.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	8 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	2 20.0
	知的障がい	34 100.0	30 88.2	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.9	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

3 外出について

問8 お子さんの外出の頻度 (SA)

○「週に5日以上」が最も多くなっています。

★「週に1~2日」については、“16歳~18歳”、“知的障がい”で割合が高くなっています。



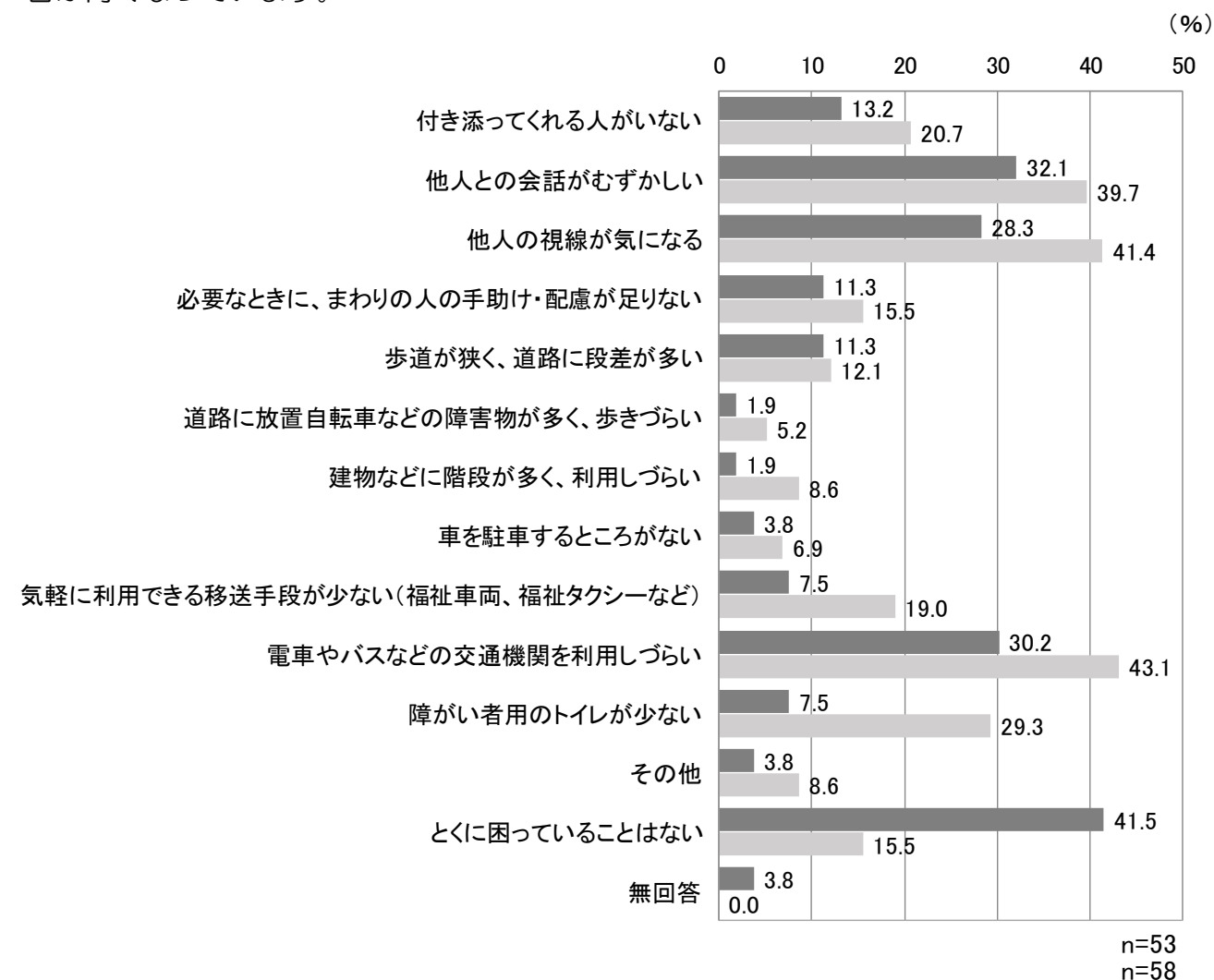
〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問8 お子さんの外出の頻度						
			週に5日 以上	週に3~ 4日	週に1~ 2日	月に2~ 3日	ほとんど 外出しな い	その他	無回答
全体		53 100.0	48 90.6	2 3.8	2 3.8	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0
年齢	0歳~6歳	14 100.0	13 92.9	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	7歳~12歳	16 100.0	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳~15歳	10 100.0	8 80.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	16歳~18歳	9 100.0	7 77.8	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	31 91.2	0 0.0	2 5.9	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問9 お子さんが外出の際に困っていること (MA)

○「とくに困っていることはない」及び無回答を除くと、54.7%が困っていることをあげ、その中では「他人との会話がむずかしい」や「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」が30%を超えています。

●「とくに困っていることはない」が26.0ポイント上昇し、無回答以外の各項目で低下していますが、特に「障がい者用のトイレが少ない」の低下が大きくなっています。

★「他人との会話がむずかしい」については、“知的障がい”で、「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」については、“16歳～18歳”、“知的障がい”及び“精神障がい”で割合が高くなっています。



その他意見

- ・ ガードレールがない
- ・ 不安感から1人で外に出られない

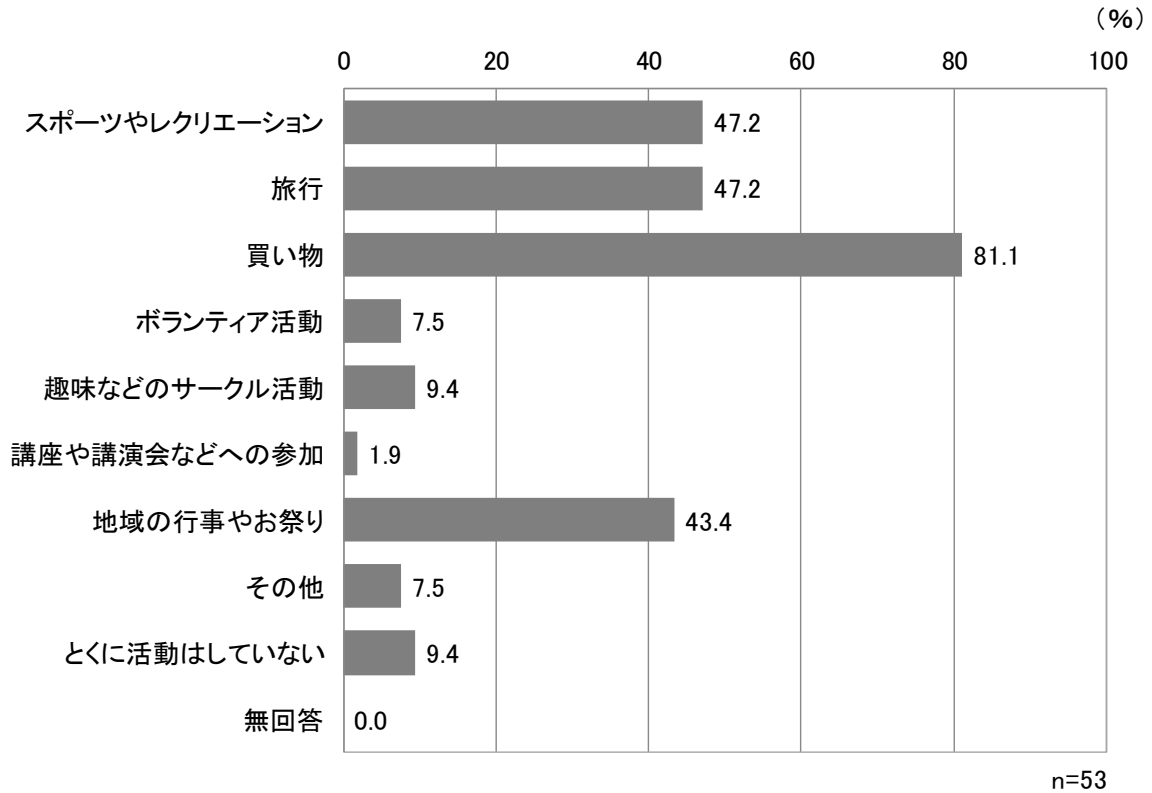
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問9 お子さんが外出の際に困っていること							
		付き添ってくれる人がいない	他人との会話がむずかしい	他人の視線が気になる	必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない	歩道が狭く、道路に段差が多い	道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きづらい	建物などに階段が多く、利用しづらい	
全体	53 100.0	7 13.2	17 32.1	15 28.3	6 11.3	6 11.3	1 1.9	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	5 35.7	3 21.4	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	6 37.5	4 25.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	4 44.4	4 44.4	4 44.4	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0
	知的障がい	34 100.0	6 17.6	15 44.1	13 38.2	6 17.6	3 8.8	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問9 お子さんが外出の際に困っていること							
		車を駐車するところがない	気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉車両、福祉タクシーなど)	電車やバスなどの交通機関を利用しづらい	障がい者の用のトイレが少ない	その他	とくに困っていることはない	無回答	
全体	53 100.0	2 3.8	4 7.5	16 30.2	4 7.5	2 3.8	22 41.5	2 3.8	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	1 7.1	2 14.3	1 7.1	0 0.0	5 35.7	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	0 0.0	6 37.5	1 6.3	2 12.5	6 37.5	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	6 60.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	1 11.1	5 55.6	1 11.1	0 0.0	4 44.4	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	1 2.9	2 5.9	15 44.1	3 8.8	1 2.9	13 38.2	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

10 この1年くらいに行った活動（MA）

○「買い物」が最も多く、「スポーツやレクリエーション」、「旅行」、「地域の行事やお祭り」と続きます。

★「買い物」については、各年齢、各障がいの割合が最も高くなっています。一方、「とくに活動はしていない」については、“16～18歳”、“知的障がい”で割合が高くなっています。



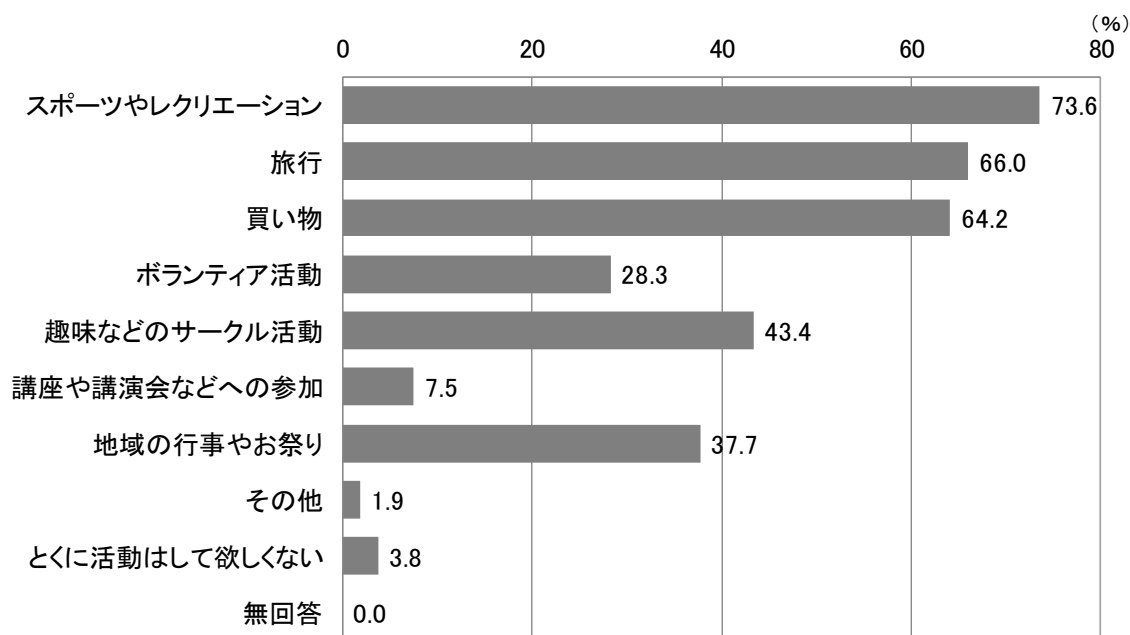
その他
・ 支援センターでの仕事

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問10 お子さんが1年くらいの間に行った活動										
		スポーツ やレクリ エーショ ン	旅行	買い物	ボラン ティア活 動	趣味など のサーク ル活動	講座や講 演会など への参加	地域の行 事やお祭 り	その他	とくに活 動はして いない	無回答	
全体	53 100.0	25 47.2	25 47.2	43 81.1	4 7.5	5 9.4	1 1.9	23 43.4	4 7.5	5 9.4	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	6 42.9	7 50.0	11 78.6	0 0.0	1 7.1	0 0.0	9 64.3	3 21.4	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	8 50.0	10 62.5	16 100.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3	8 50.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	5 50.0	5 50.0	7 70.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	4 44.4	3 33.3	7 77.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	2 22.2	0 0.0
	障がいの種類	10 100.0	5 50.0	4 40.0	10 100.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	34 100.0	16 47.1	13 38.2	25 73.5	3 8.8	2 5.9	1 2.9	14 41.2	2 5.9	5 14.7	0 0.0	
	4 100.0	2 50.0	3 75.0	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

問11 これからお子さんにしたい活動（MA）

○「スポーツやレクリエーション」が最も多く、「旅行」、「買い物」と続きます。

★「スポーツやレクリエーション」については、“16歳～18歳”以外の各年齢、“知的障がい”で割合が最も高くなっています。



n=53

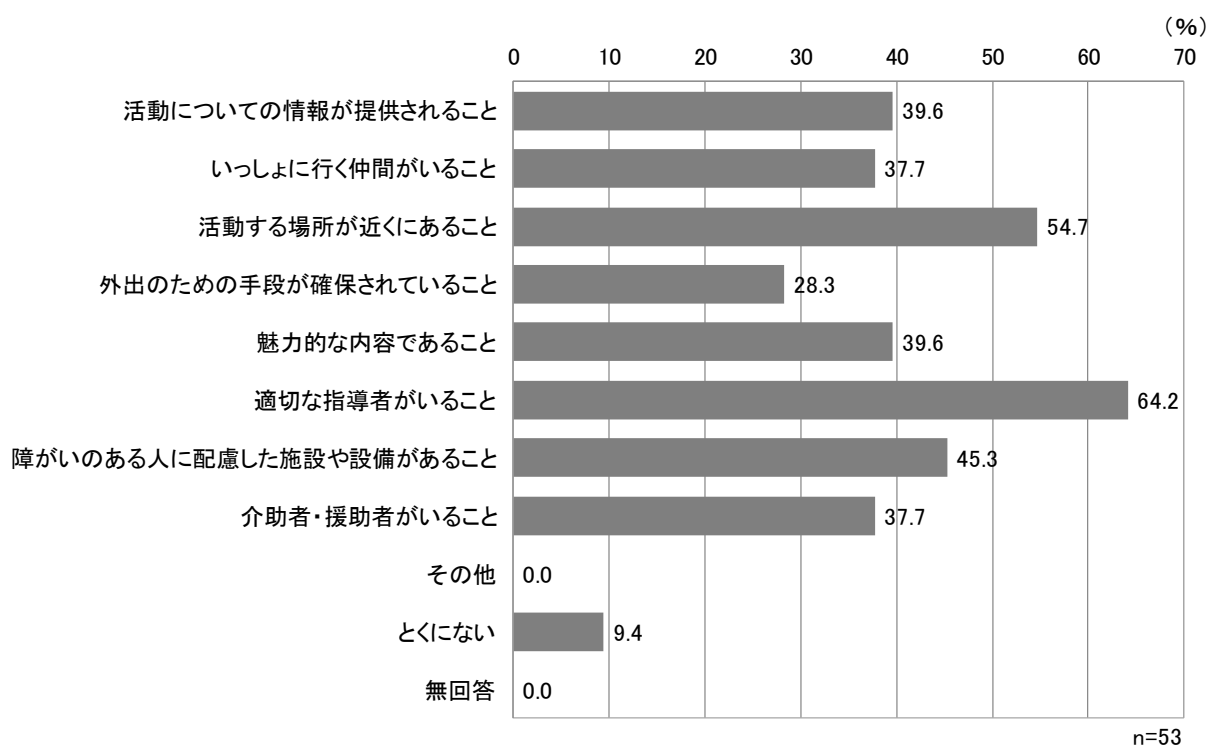
その他
・習い事

上段:人 下段:%	合計	問11 これからお子さんにしたい活動									
		スポーツやレクリエーション	旅行	買い物	ボランティア活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会などへの参加	地域の行事やお祭り	その他	とくに活動はして欲しくない	無回答
全体	53 100.0	39 73.6	35 66.0	34 64.2	15 28.3	23 43.4	4 7.5	20 37.7	1 1.9	2 3.8	0 0.0
年齢	0歳～6歳	14 100.0	10 71.4	10 71.4	8 57.1	0 0.0	4 28.6	1 7.1	7 50.0	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	14 87.5	13 81.3	11 68.8	5 31.3	7 43.8	1 6.3	6 37.5	1 6.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	8 80.0	6 60.0	6 60.0	5 50.0	5 50.0	1 10.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	5 55.6	6 66.7	6 66.7	4 44.4	4 44.4	1 11.1	4 44.4	0 0.0	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	6 60.0	6 60.0	7 70.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0
	知的障がい	34 100.0	25 73.5	22 64.7	21 61.8	10 29.4	14 41.2	2 5.9	15 44.1	1 2.9	2 5.9
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	3 75.0	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

問12 活動に必要な条件（MA）

○「適切な指導者がいること」が最も多く、「活動する場所が近くにあること」、「障がいのある人に配慮した施設や設備があること」と続きます。

★「適切な指導者がいること」については、“知的障がい”及び“精神障がい”で割合が最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問12 活動に必要な条件						
		活動につ いての情 報が提供 されるこ と	いっしょ に行く仲 間がいる こと	活動する 場所が近 くにある こと	外出のた めの手段 が確保さ れている こと	魅力的な 内容であ ること	適切な指 導者がい ること	
全体	53 100.0	21 39.6	20 37.7	29 54.7	15 28.3	21 39.6	34 64.2	
年 齢	0歳～6歳	14 100.0	7 50.0	2 14.3	7 50.0	2 14.3	5 35.7	10 71.4
	7歳～12歳	16 100.0	8 50.0	7 43.8	11 68.8	5 31.3	11 68.8	11 68.8
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	5 55.6	5 55.6	5 55.6	3 33.3	5 55.6
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	5 50.0	5 50.0	5 50.0	5 50.0	2 20.0	5 50.0
	知的障がい	34 100.0	14 41.2	13 38.2	17 50.0	11 32.4	15 44.1	21 61.8
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	3 75.0	4 100.0	1 25.0	1 25.0	4 100.0

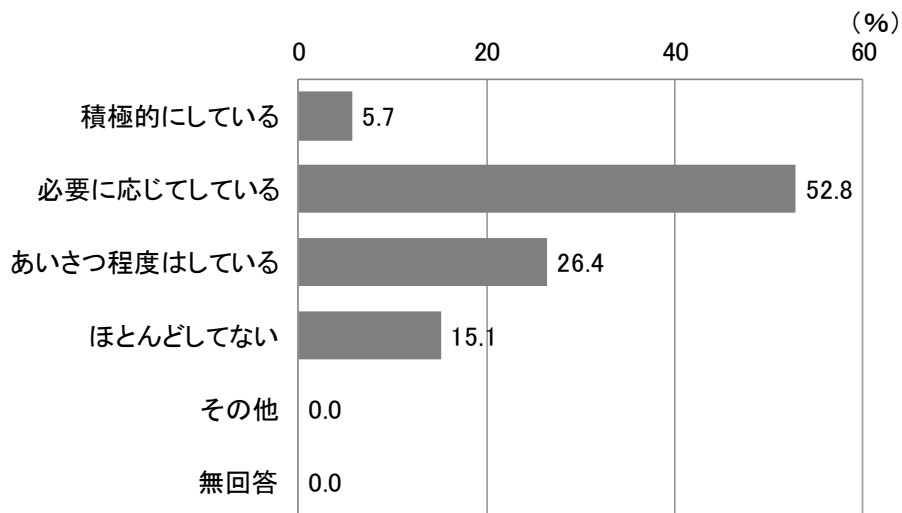
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問12 活動に必要な条件					
		障がいの ある人に 配慮した 施設や設 備がある こと	介助者・ 援助者が いること	その他	とくにな い	無回答	
全体	53 100.0	24 45.3	20 37.7	0 0.0	5 9.4	0 0.0	
年 齢	0歳～6歳	14 100.0	7 50.0	3 21.4	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	6 37.5	7 43.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	5 55.6	5 55.6	0 0.0	2 22.2	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	6 60.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	15 44.1	17 50.0	0 0.0	3 8.8	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

4 地域での生活について

問13 ご近所とのつきあい状況（SA）

○「必要にに応じてしている」が最も多くなっています。

★「必要にに応じてしている」については、各年齢、各障がいで割合が最も高くなっています。
一方、「ほとんどしていない」については、“16歳～18歳”、“知的障がい”で割合が高くなっています。

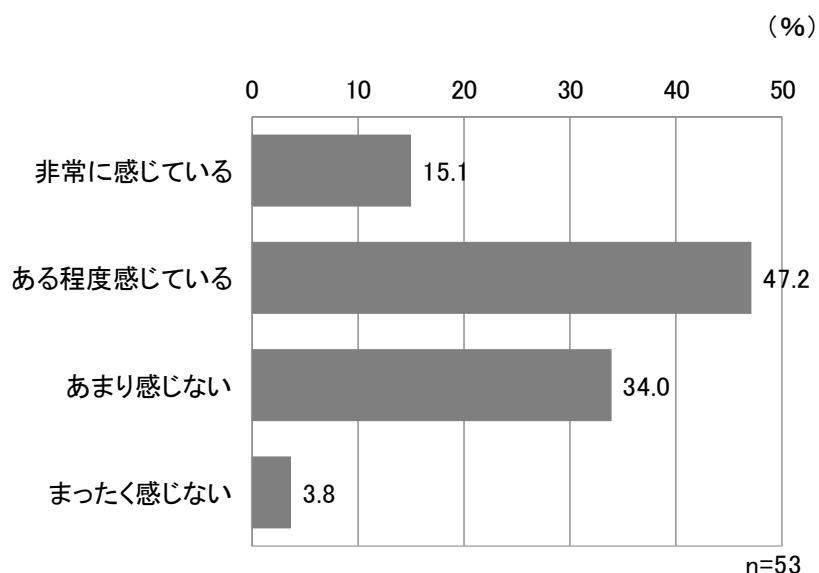


n=53

上段:人 下段:%	合計	問13 ご近所とのつきあい状況						
		積極的に している	必要に 応じて して いる	あいさつ 程度は して いる	ほとん どし て な い	その他	無回答	
全体	53 100.0	3 5.7	28 52.8	14 26.4	8 15.1	0 0.0	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	7 50.0	5 35.7	2 14.3	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	2 12.5	7 43.8	4 25.0	3 18.8	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	7 70.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	5 55.6	2 22.2	2 22.2	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	3 8.8	15 44.1	10 29.4	6 17.6	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問14 地域の人や社会に支えられていると感じるか（SA）

○「ある程度感じている」が最も多く、「非常に感じている」を合わせると62.3%となります。一方、「あまり感じない」及び「まったく感じない」が合わせて37.8%となっています。
 ★「ある程度感じている」については、“7歳～12歳”以外の各年齢、各障がいで割合が最も高くなっています。“7歳～12歳”は「あまり感じない」の割合が最も高くなっています。



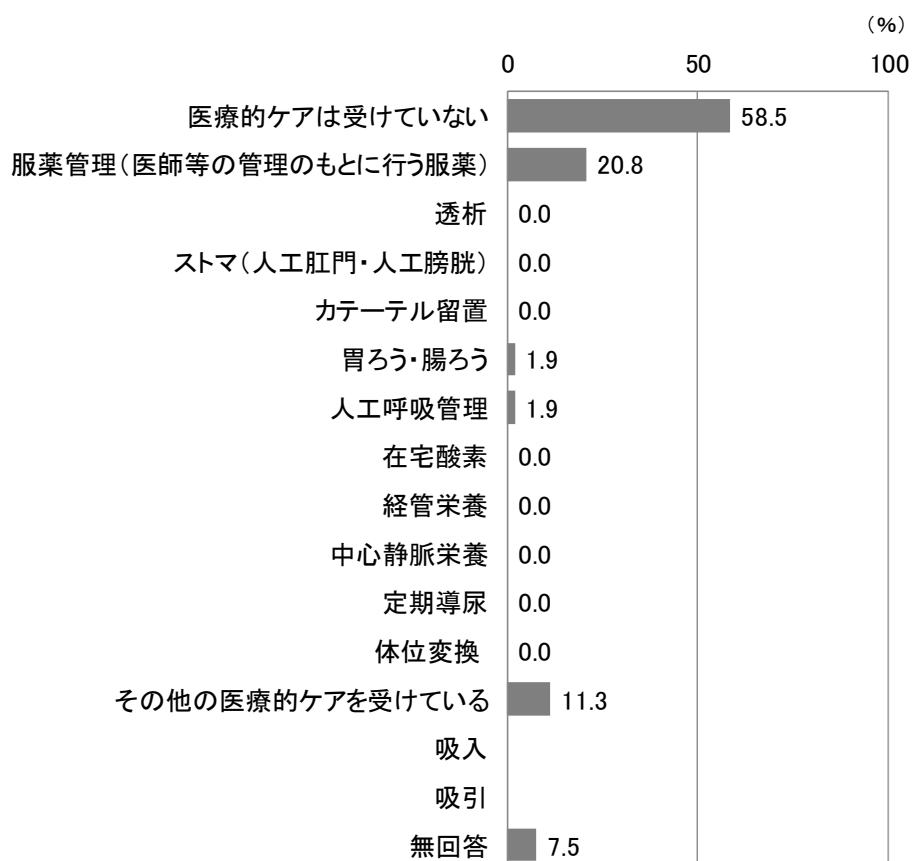
上段:人 下段:%	合計	問14 地域の人や社会に支えられていると感じますか					
		非常に感じている	ある程度感じている	あまり感じない	まったく感じない	無回答	
全体	53 100.0	8 15.1	25 47.2	18 34.0	2 3.8	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	9 64.3	3 21.4	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	4 25.0	5 31.3	7 43.8	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	4 44.4	4 44.4	1 11.1	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	3 30.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	5 14.7	15 44.1	13 38.2	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

5 医療や健康管理について

問15 現在お子さんが受けている医療的ケア（MA）

○「医療的ケアは受けていない」及び無回答を除く34.0%が医療的ケアを受けていますが、その中では「服薬管理（医師等の管理のもとに行う服薬）」が最も多くなっています。

★「医療的ケアは受けていない」については、“16歳～18歳”以外の年齢、各障がいで割合が最も高く、“16歳～18歳”は「服薬管理（医師等の管理のもとに行う服薬）」の割合が最も高くなっています。



n=53

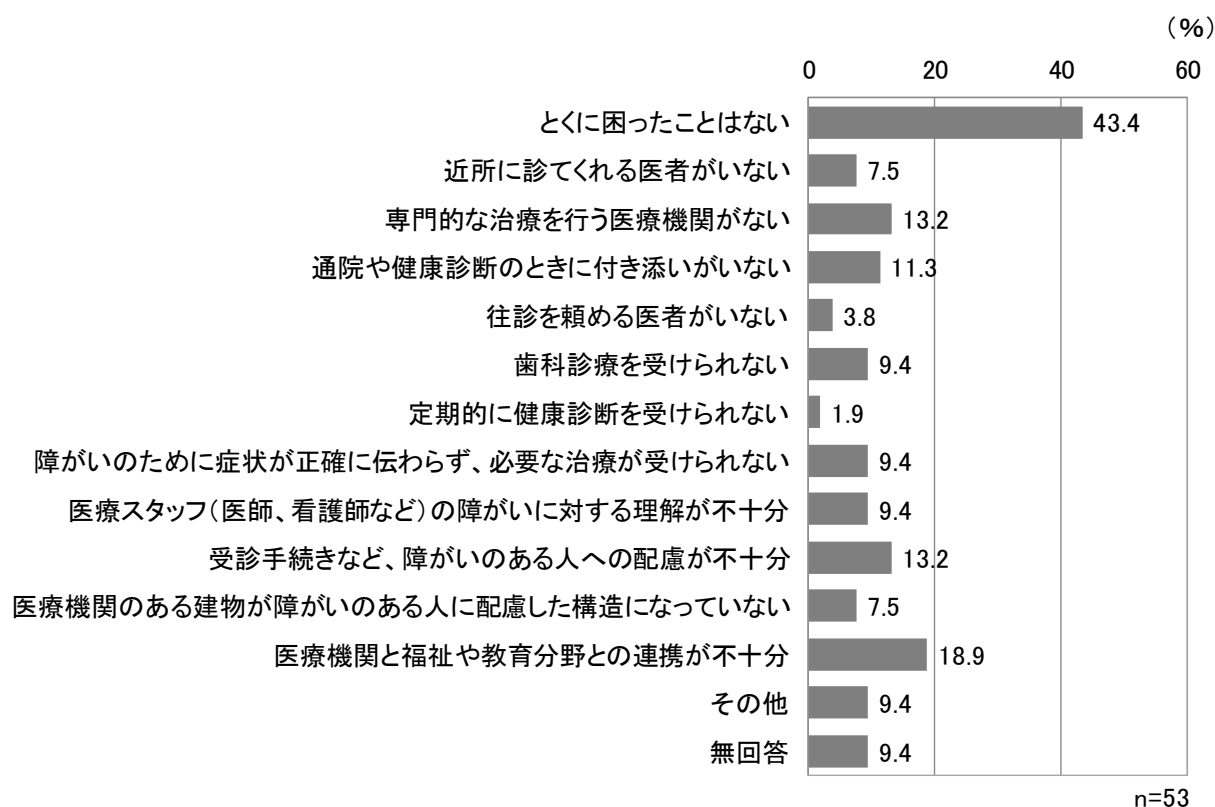
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問15 現在お子さんが受けている医療的ケア							
		医療的ケアは受けていない	服薬管理 (医師等の管理のもとに行う服薬)	透析	ストマ (人工肛門・人工膀胱)	カテーテル留置	胃ろう・腸ろう	人工呼吸管理	
全体	53 100.0	31 58.5	11 20.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	8 57.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	12 75.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	5 50.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0
	知的障がい	34 100.0	19 55.9	9 26.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問15 現在お子さんが受けている医療的ケア						
		在宅酸素	経管栄養	中心静脈 栄養	定期導尿	体位変換	その他の 医療的ケアを受けている	無回答
全体	53 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 11.3	4 7.5
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 28.6	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0
	知的障がい	34 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 8.8	3 8.8
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

問16 健康管理や医療について困ったり不便なこと（MA）

○「とくに困ったことはない」及び無回答を除く47.2%が困ったり不便なことをあげていますが、その中では「医療機関と福祉や教育分野との連携が不十分」が最も多くなっています。

★「とくに困ったことはない」については、“16歳～18歳”以外の年齢、各障がいで割合が最も高く、“16～18歳”では「近所の診てくれる医者がない」及び「通院や健康診断のときに付き添いがいない」の割合が最も高くなっています。



その他

- ・暴れて嫌がるので歯科に連れて行き治療するのが大変、市内には発達障害に詳しい医師がほとんどいない、遠方まで通わなくてはならない。
- ・専門医療機関が少なく患者が集中する為、予約が取れない、東京まで通うのが遠くて困難を感じている。
- ・院内の待ち時間が長いとじっとしてられないし、おおきな声を出して白い目で見られる事も多いので落ち着かせたり静かにさせたりするのはとても大変。

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問16 健康管理や医療について困ったり不便なこと							
		とくに困ったことはない	近所に診てくれる医者がいない	専門的な治療を行う医療機関がない	通院や健康診断のときに付き添いがいない	往診を頼める医者がいない	歯科診療を受けられない	定期的に健康診断を受けられない	
全体	53 100.0	23 43.4	4 7.5	7 13.2	6 11.3	2 3.8	5 9.4	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	5 35.7	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	8 50.0	0 0.0	3 18.8	1 6.3	0 0.0	2 12.5	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	6 60.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	3 33.3	1 11.1	3 33.3	1 11.1	1 11.1	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	15 44.1	3 8.8	6 17.6	6 17.6	2 5.9	4 11.8	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問16 健康管理や医療について困ったり不便なこと							
		障がいのために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	医療スタッフ（医師、看護師など）の障がいに対する理解が不十分	受診手続きなど、障がいのある人への配慮が不十分	医療機関のある建物が障がいのある人に配慮した構造になっていない	医療機関と福祉や教育分野との連携が不十分	その他	無回答	
全体	53 100.0	5 9.4	5 9.4	7 13.2	4 7.5	10 18.9	5 9.4	5 9.4	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	4 28.6	4 28.6	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	3 18.8	2 12.5	1 6.3	2 12.5	0 0.0	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	1 11.1	1 11.1	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0
	知的障がい	34 100.0	5 14.7	5 14.7	6 17.6	4 11.8	7 20.6	3 8.8	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

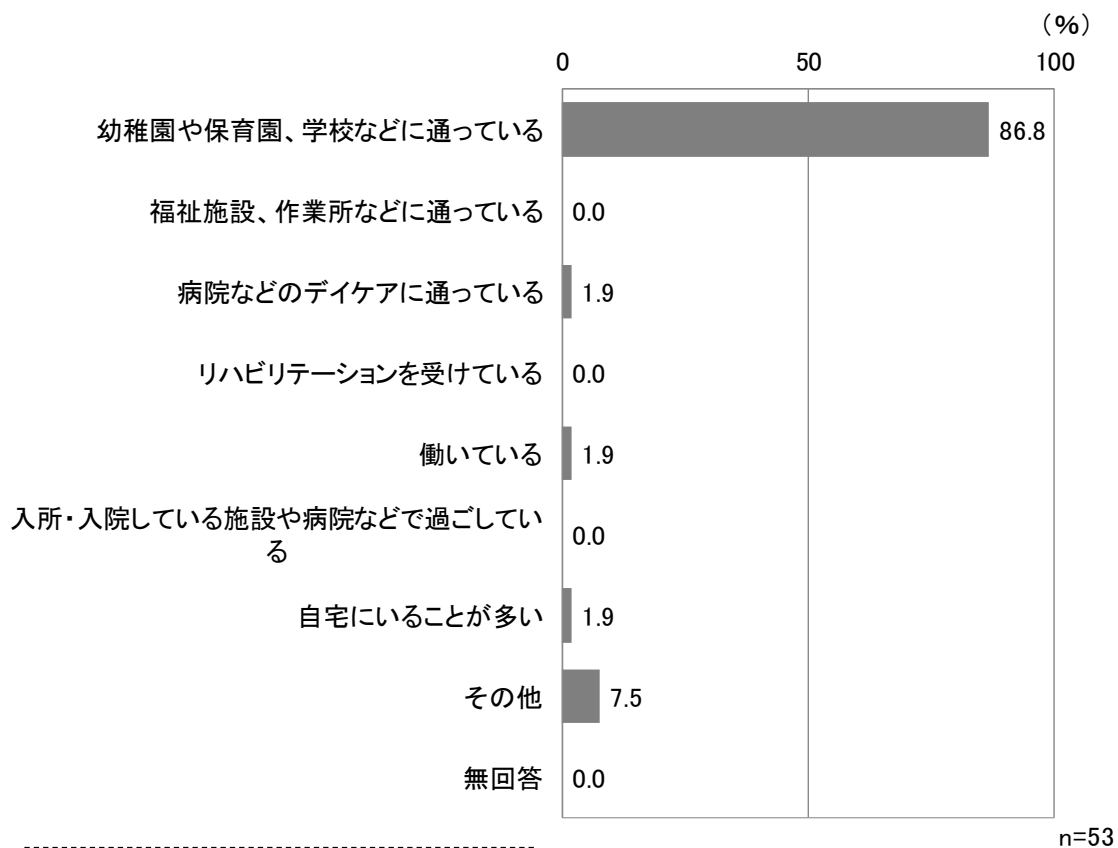
6 日中の過ごし方について

問17 お子さんの平日日中の主な過ごし方（SA）

○「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が最も多くなっています。

●「幼稚園や保育園、学校などに通っている」は前回と同程度で、「その他」や「病院などのデイケアに通っている」、「働いている」が前回の該当なしより上昇しています。

★「幼稚園や保育園、学校などに通っている」については、各年齢、各障がいで割合が最も高くなっています。



その他

- ・ 児童発達支援センター
- ・ 週に3日フリースクールに通う

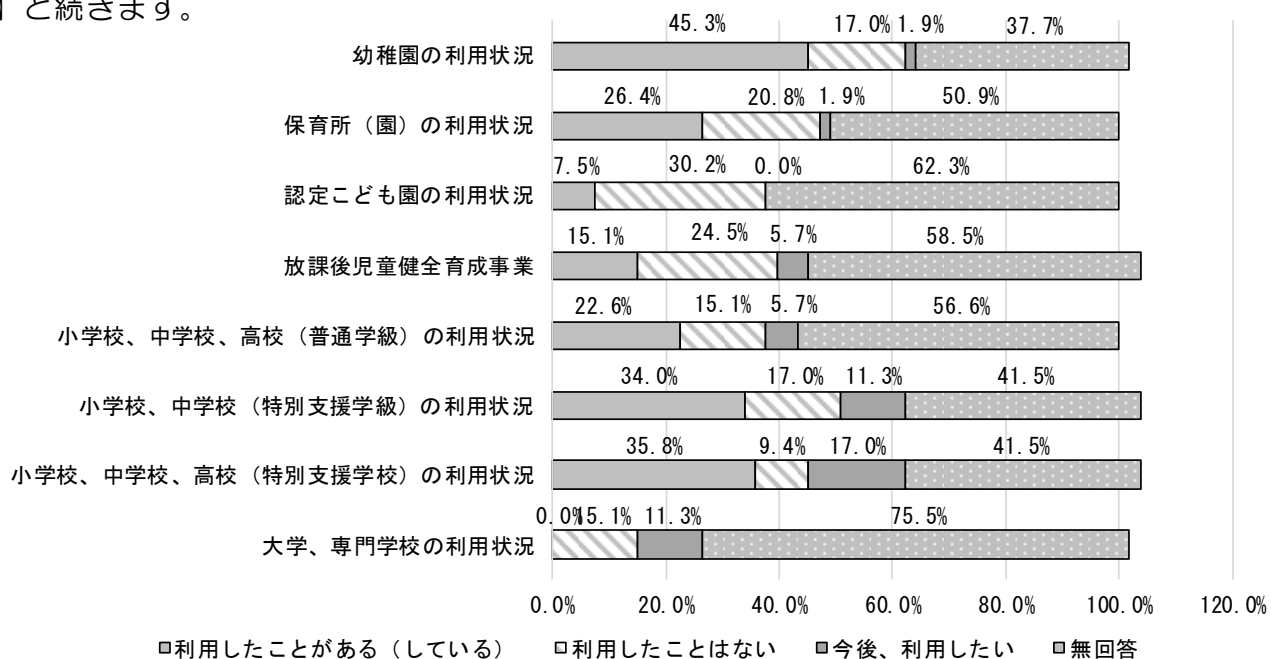
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問17 お子さんの平日中の主な過ごし方								
		幼稚園や 保育園、 学校など に通って いる	福祉施 設、作業 所などに 通ってい る	病院など のデイケ アに通っ ている	リハビリ テーショ ンを受け ている	働いてい る	入所・入 院してい る施設や 病院など で過ごし ている	自宅にい ることが 多い	その他	無回答
全体	53 100.0	46 86.8	0 0.0	1 1.9	0 0.0	1 1.9	0 0.0	1 1.9	4 7.5	0 0.0
年 齢	0歳～6歳	14 100.0	10 71.4	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 21.4	3 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	9 90.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	7 77.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	7 70.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 10.0	1 0.0
	知的障がい	34 100.0	32 94.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 25.0	1 0.0

7 保育施設や教育機関等について

問18 保育施設や教育機関等の利用有無と意向

「利用したことがある（している）」と「利用したことはない」で選択、今後利用したいは、「利用したことがない」を選択した人の中で回答

- 「利用したことがある（している）」は、【幼稚園】が最も多く、【特別支援学校】、【特別支援学級】、【保育所（園）】と続きます。
- 「今後、利用したい」は、【特別支援学校】が最も多く、【特別支援学級】、【大学、専門学校】と続きます。



※この設問は、合計が100%とならない場合があります。

その他

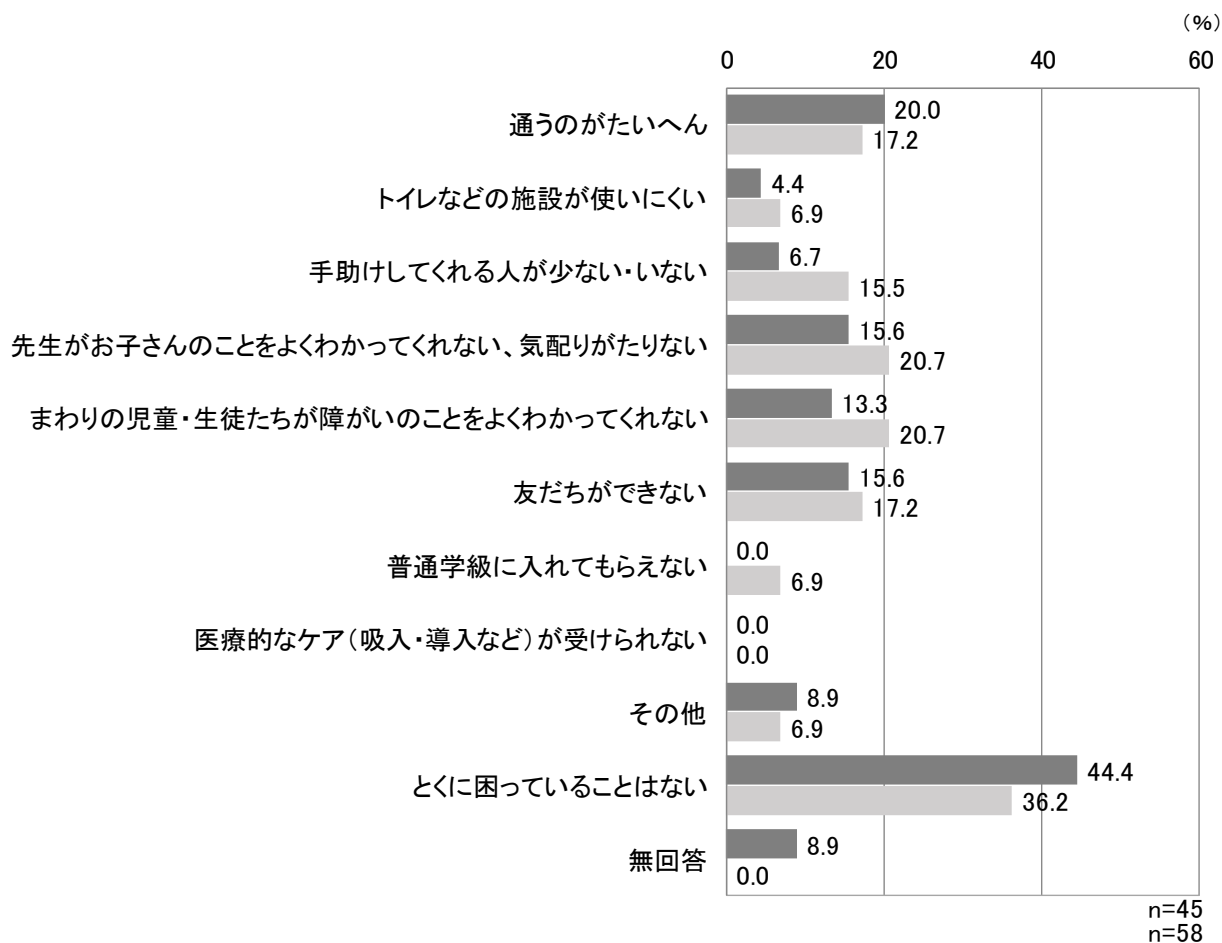
- ・放課後児童デイサービス

問19 幼稚園、保育園などに通っていて困っていること (MA)

問18で、幼稚園や保育園、学校などに通っていると回答した人
 ○「とくに困っていることはない」及び無回答を除く46.7%が困っていることをあげていま
 すが、その中では「通うのがたいへん」が最も多くなっています。

●困っていることをあげる割合が前回の63.8%より大きく低下し、各項目も低下しているも
 のが多い中で、「通うのがたいへん」や「その他」が上昇しています。

★「通うのがたいへん」については、“13歳～15歳”、“精神障がい”で割合が高くなってい
 ます。



- その他
- からかわれる
 - 小学校の宿題や規制の多さについていけない
 - 保育園入所の選考が厳しい
 - 中学卒業後の進路の為に学力不足が不安
 - 内部障害の為に辛さや度合いが伝わりにくく階段の上り下りが体力的に大変だった
 - 普通学級と支援学級の先生間の情報交換が少ない 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問19 幼稚園、保育園などに通っていて困っていること						
		通うのが たいへん	トイレな どの施設 が使いに くい	手助けし てくれる 人が少な い・いな い	先生がお 子さんの ことをよ くわかっ てくれな い、気配 りがたり ない	まわりの 児童・生 徒たちが 障がいの ことをよ くわかっ てくれな い	友だちが できない	
全体	45 100.0	9 20.0	2 4.4	3 6.7	7 15.6	6 13.3	7 15.6	
年齢	0歳～6歳	9 100.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1
	7歳～12歳	16 100.0	5 31.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3
	13歳～15歳	8 100.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	2 25.0
	16歳～18歳	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	2 25.0	1 12.5
障がいの種類	身体障がい	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	知的障がい	31 100.0	9 29.0	2 6.5	3 9.7	6 19.4	5 16.1	3 9.7
	精神障がい	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3

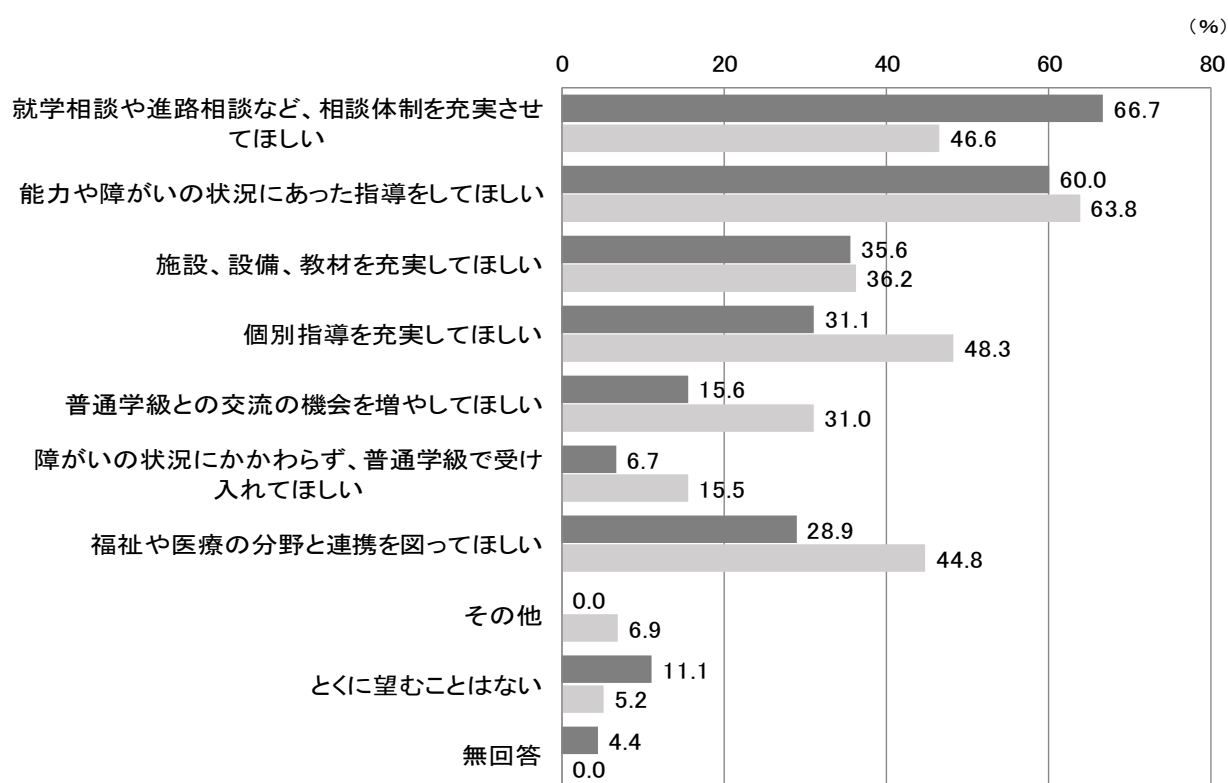
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問19 幼稚園、保育園などに通っていて困っていること					
		普通学級 に入れて もらえな い	医療的な ケア（吸 入・導入 など）が 受けられ ない	その他	とくに 困ってい ることは ない	無回答	
全体	45 100.0	0 0.0	0 0.0	4 8.9	20 44.4	4 8.9	
年齢	0歳～6歳	9 100.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	5 55.6	2 22.2
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	8 50.0	1 6.3
	13歳～15歳	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5
	16歳～18歳	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5
	知的障がい	31 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.2	13 41.9	2 6.5
	精神障がい	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

問20 学校教育に望むこと (MA)

問18で、幼稚園や保育園、学校などに通っていると回答した人
 ○「とくに望むことはない」及び無回答を除く84.5%が望むことをあげていますが、その中
 では「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」が最も多く、「能力や障が
 いの状況にあった指導をしてほしい」が大差なく続きます。

●望むことをあげる割合が前回の94.8%より低下し、低下している項目も多い中で、「就学
 相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」が20.1ポイント上昇しました。

★「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」については、“16～18歳”、
 “知的障がい”以外で割合が最も高く、“16～18歳”、“知的障がい”では「能力や障がい
 の状況にあった指導をしてほしい」の割合が最も高くなっています。



n=45
n=58

その他
 ・学習障害によるPCの使用を可能にしてもらいた

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問20 学校教育の望むこと										
		就学相談 や進路相 談など、 相談体制 を充実さ せてほし い	能力や障 がいの状 況にあっ た指導を してほし い	施設、設 備、教材 を充実し てほしい	個別指導 を充実し てほしい	普通学級 との交流 の機会を 増やして ほしい	障がいの 状況にか かわらず、普通 学級で受 け入れて ほしい	福祉や医 療の分野 と連携を 図ってほ しい	その他	とくに望 むことは ない	無回答	
全体	45 100.0	30 66.7	27 60.0	16 35.6	14 31.1	7 15.6	3 6.7	13 28.9	0 0.0	5 11.1	2 4.4	
年 齢	0歳～6歳	9 100.0	7 77.8	5 55.6	2 22.2	3 33.3	2 22.2	1 11.1	2 22.2	0 0.0	0 0.0	2 22.2
	7歳～12歳	16 100.0	14 87.5	10 62.5	8 50.0	5 31.3	2 12.5	1 6.3	4 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0
	16歳～18歳	8 100.0	3 37.5	5 62.5	4 50.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	8 100.0	4 50.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5
	知的障がい	31 100.0	21 67.7	22 71.0	12 38.7	9 29.0	7 22.6	2 6.5	10 32.3	0 0.0	4 12.9	0 0.0
	精神障がい	3 100.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

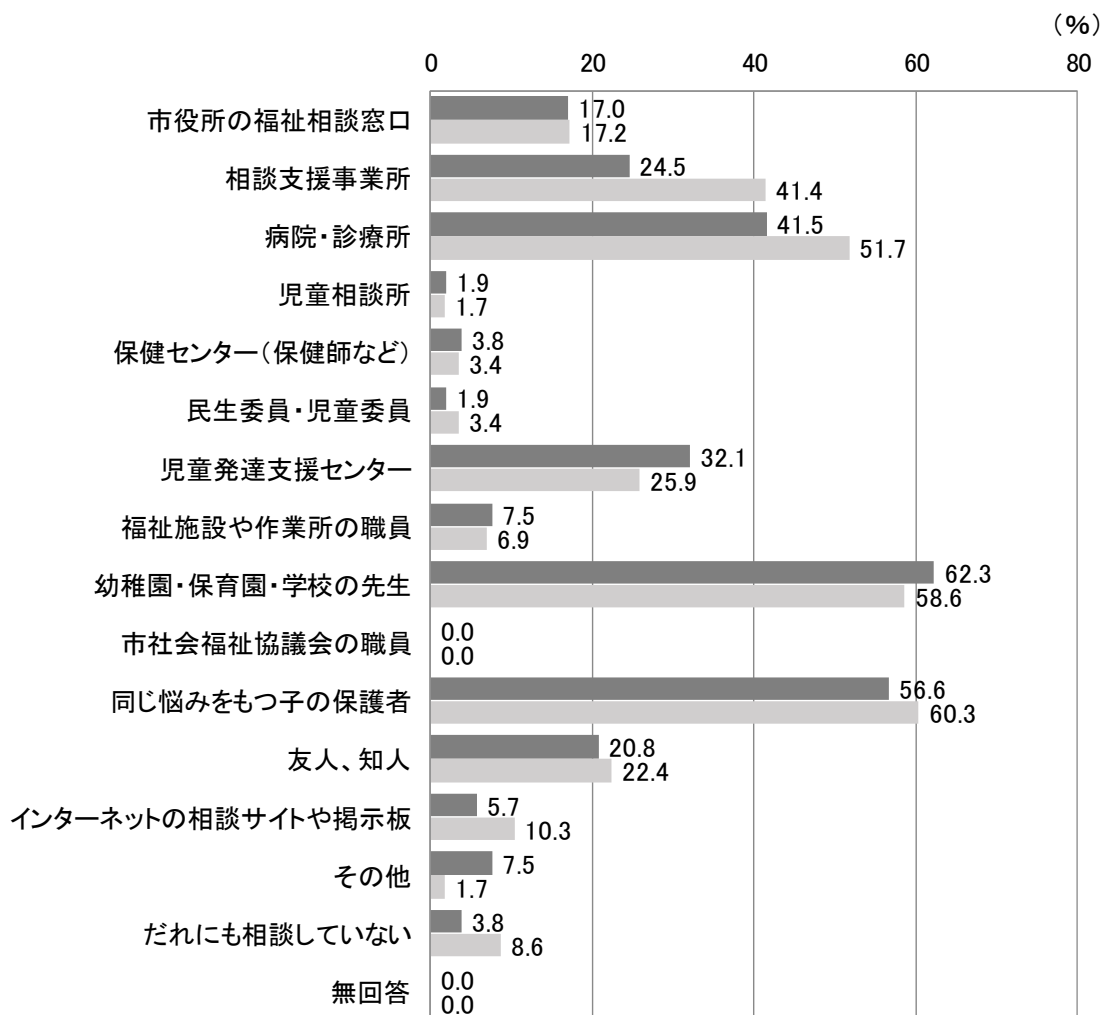
8 相談や情報入手について

問21 家族・親戚以外で悩みや心配ごとの相談先（MA）

○「だれにも相談していない」及び無回答を除くと、96.2%が相談先をあげています。その中では「幼稚園・保育園・学校の先生」が最も多く、「同じ悩みをもつ子の保護者」、「病院・診療所」と続きます。

●相談先をあげる割合が前回の91.4%より上昇し、「幼稚園・保育園・学校の先生」や「児童発達センター」、「その他」が上昇しています。一方、「病院・診療所」や「相談支援事業所」などが低下しています。

★「幼稚園・保育園・学校の先生」については、男女ともに、“7歳～12歳”、“16～18歳”、“知的障がい”で割合が最も高く、「同じ悩みをもつ子の保護者」については、“女性”、“13歳～15歳”、“身体障がい”で割合が最も高くなっています。



n=53
n=58

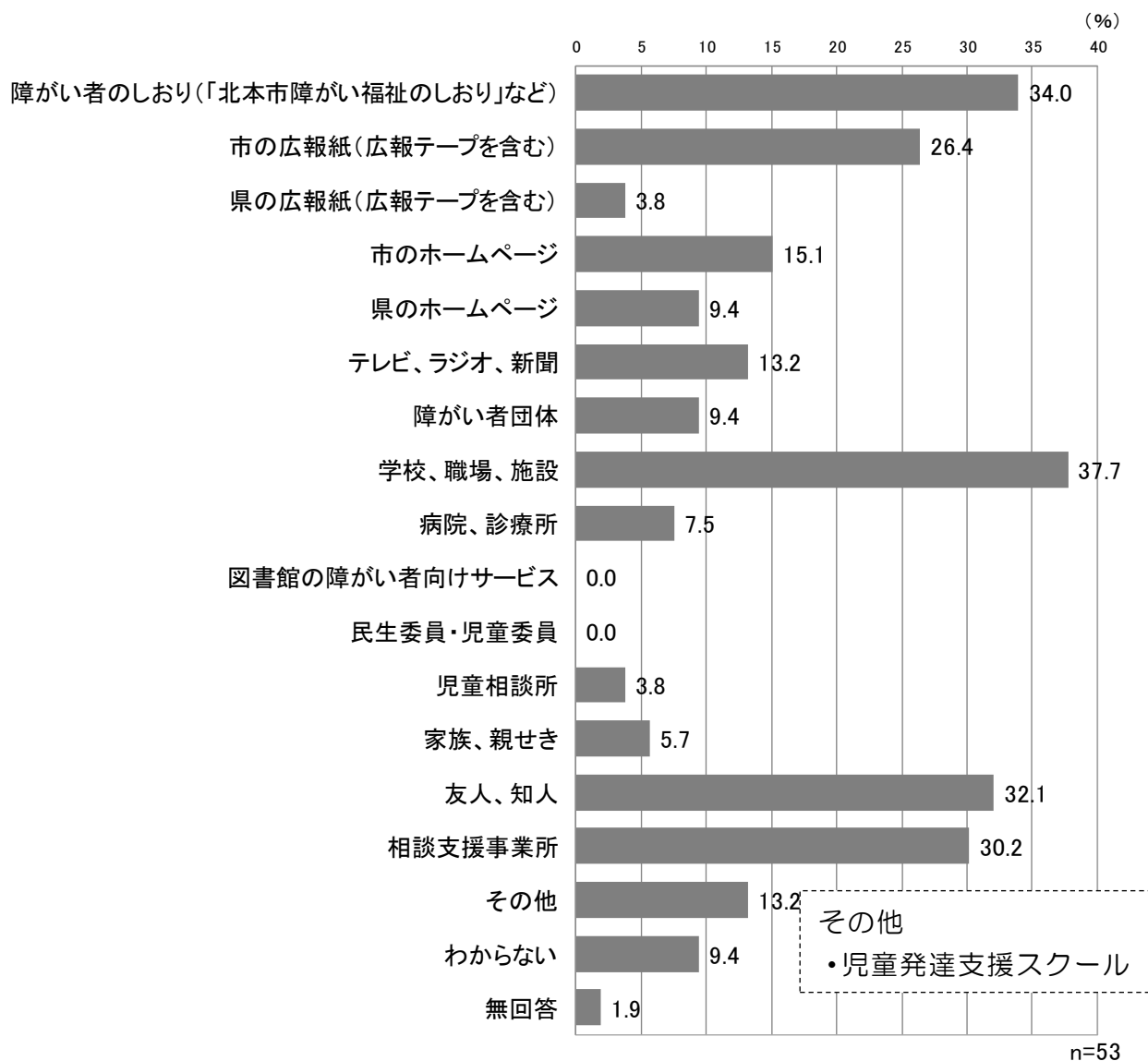
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問21 家族・親戚以外で悩みや心配ごとの相談先								
		市役所の 福祉相談 窓口	相談支援 事業所	病院・診 療所	児童相談 所	保健セン ター（保 健師な ど）	民生委 員・児童 委員	児童発達 支援セン ター	福祉施設 や作業所 の職員	
全体	53 100.0	9 17.0	13 24.5	22 41.5	1 1.9	2 3.8	1 1.9	17 32.1	4 7.5	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	2 14.3	6 42.9	0 0.0	1 7.1	1 7.1	13 92.9	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	3 18.8	4 25.0	5 31.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	3 18.8	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	4 44.4	6 66.7	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	2 22.2
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	9 26.5	10 29.4	14 41.2	1 2.9	2 5.9	1 2.9	7 20.6	3 8.8
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問21 家族・親戚以外で悩みや心配ごとの相談先							
		幼稚園・ 保育園・ 学校の先 生	市社会福 祉協議会 の職員	同じ悩み をもつ子 の保護者	友人、知 人	インター ネットの 相談サイ トや掲示 板	その他	だれにも 相談して いない	無回答
全体	53 100.0	33 62.3	0 0.0	30 56.6	11 20.8	3 5.7	4 7.5	2 3.8	0 0.0
年齢	0歳～6歳	14 100.0	8 57.1	0 0.0	7 50.0	5 35.7	2 14.3	2 14.3	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	13 81.3	0 0.0	11 68.8	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	4 40.0	0 0.0	7 70.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	5 55.6	0 0.0	4 44.4	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	4 40.0	0 0.0	7 70.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	23 67.6	0 0.0	20 58.8	4 11.8	1 2.9	2 5.9	2 5.9
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問22 障がい福祉サービスの情報入手先（MA）

○「学校、職場、施設」が最も多く、「障害者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」、「友人、知人」、「相談支援事業所」、「市の広報紙（広報テープを含む）」と続きます。

★「学校、職場、施設」については、“男性”、“0歳～6歳”以外の各年齢、“知的障がい”で割合が最も高く、「障害者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」については、“女性”、“7歳～12歳”、“13歳～15歳”、“身体障がい”、“精神障がい”で割合が最も高く、“0歳～6歳”では「相談支援事業所」の割合が最も高くなっています。



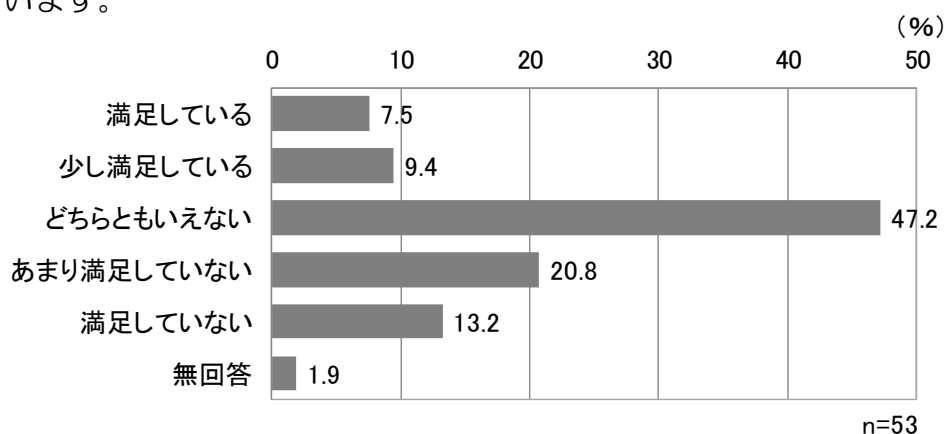
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問22 障がい福祉サービスの情報入手先									
		障がい者のしおり （「北本市障がい福祉のしおり」など）	市の広報紙（広報テープを含む）	県の広報紙（広報テープを含む）	市のホームページ	県のホームページ	テレビ、ラジオ、新聞	障がい者団体	学校、職場、施設	病院、診療所	
全体	53 100.0	18 34.0	14 26.4	2 3.8	8 15.1	5 9.4	7 13.2	5 9.4	20 37.7	4 7.5	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	3 21.4	2 14.3	0 0.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3	
	7歳～12歳	16 100.0	7 43.8	5 31.3	1 6.3	2 12.5	1 6.3	3 18.8	1 6.3	2 12.5	
	13歳～15歳	10 100.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2	0 0.0	
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	
	知的障がい	34 100.0	12 35.3	10 29.4	1 2.9	5 14.7	4 11.8	5 14.7	5 14.7	2 5.9	
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問22 障がい福祉サービスの情報入手先								
		図書館の障がい者向けサービス	民生委員・児童委員	児童相談所	家族、親せき	友人、知人	相談支援事業所	その他	わからない	無回答
全体	53 100.0	0 0.0	0 0.0	2 3.8	3 5.7	17 32.1	16 30.2	7 13.2	5 9.4	1 1.9
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	5 35.7	7 50.0	1 7.1	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	6 37.5	3 18.8	1 6.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	4 44.4	3 33.3	2 22.2	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	0 0.0	0 0.0	2 5.9	0 0.0	12 35.3	10 29.4	4 11.8	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0

問23 障がい福祉サービスなどの情報満足度（SA）

○「どちらともいえない」が最も多くなっています。「満足している」及び「少し満足している」を合わせた『満足している』が16.9%、「あまり満足していない」及び「満足していない」を合わせた『満足していない』が34.0%で、『満足していない』が多くなっています。

★「どちらともいえない」については、“13歳～15歳”以外の各年齢、“身体障がい”及び“知的障がい”で割合が最も高くなっています。また、『満足していない』については、“13歳～15歳”で割合が最も高く、“精神障がい”では『満足している』と『満足していない』が同率となっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問23 障がい福祉サービスなどの情報満足度						
		満足して いる	少し満足 している	どちらと もいえない	あまり満 足してい ない	満足して いない	無回答	
全体	53	4	5	25	11	7	1	
	100.0	7.5	9.4	47.2	20.8	13.2	1.9	
年 齢	0歳～6歳	14	1	1	7	2	2	
		100.0	7.1	7.1	50.0	14.3	14.3	7.1
	7歳～12歳	16	2	2	5	4	3	0
		100.0	12.5	12.5	31.3	25.0	18.8	0.0
	13歳～15歳	10	1	1	5	2	1	0
	100.0	10.0	10.0	50.0	20.0	10.0	0.0	
	16歳～18歳	9	0	0	6	2	1	0
	100.0	0.0	0.0	66.7	22.2	11.1	0.0	
障 が い の 種 類	身体障がい	10	0	2	6	1	1	0
		100.0	0.0	20.0	60.0	10.0	10.0	0.0
	知的障がい	34	3	1	18	9	3	0
	100.0	8.8	2.9	52.9	26.5	8.8	0.0	
	精神障がい	4	0	2	0	2	0	0
	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	

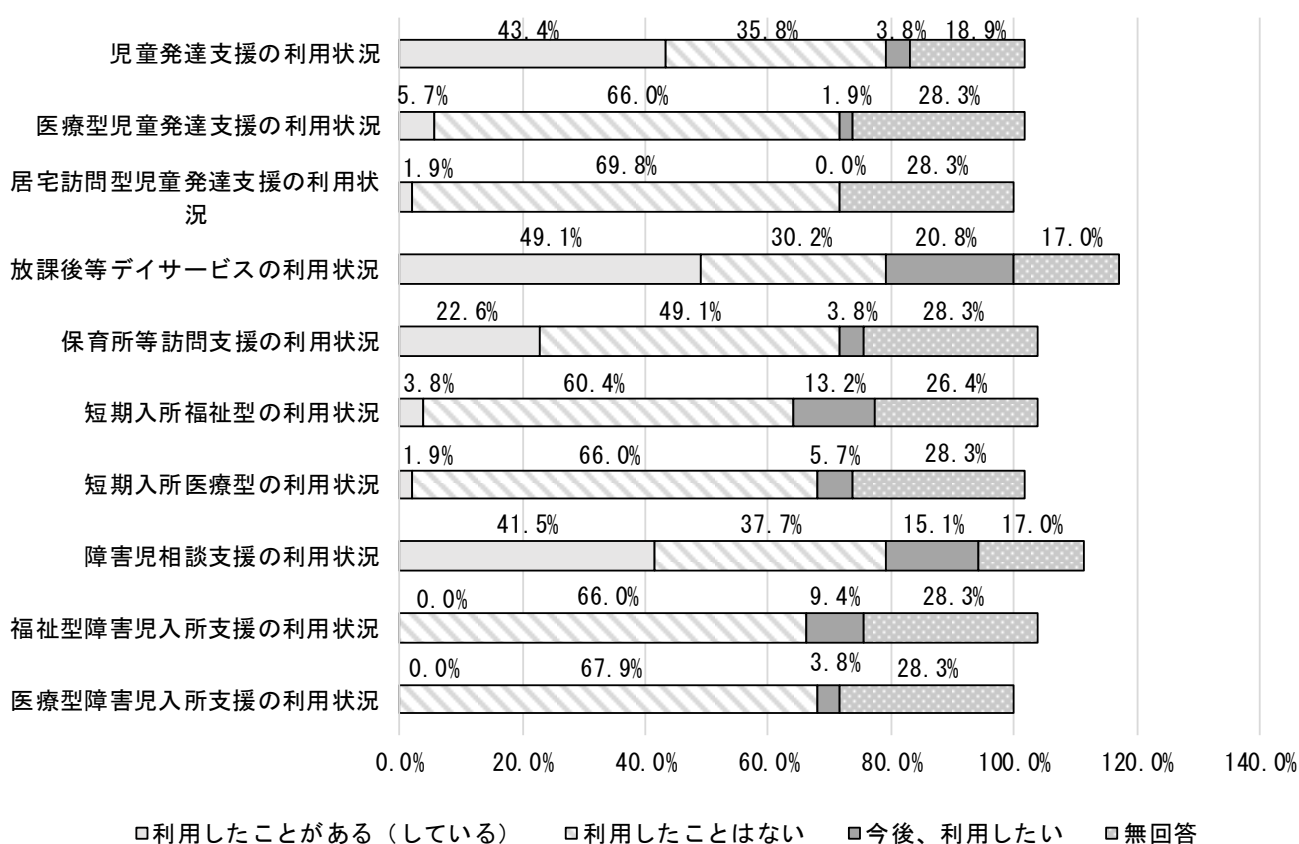
9 障がい福祉サービスについて

問24 障がい福祉サービスの利用有無と利用意向

「利用したことがある（している）」と「利用したことはない」で選択、今後利用したいは、「利用したことがない」を選択した人の中で回答

○「利用したことがある（している）」は、【放課後等デイサービス】が最も多く、【児童発達支援】、【障害児相談支援】、【保育所等訪問支援】と続き、これら以外は10%以下あるいは利用なしとなっています。

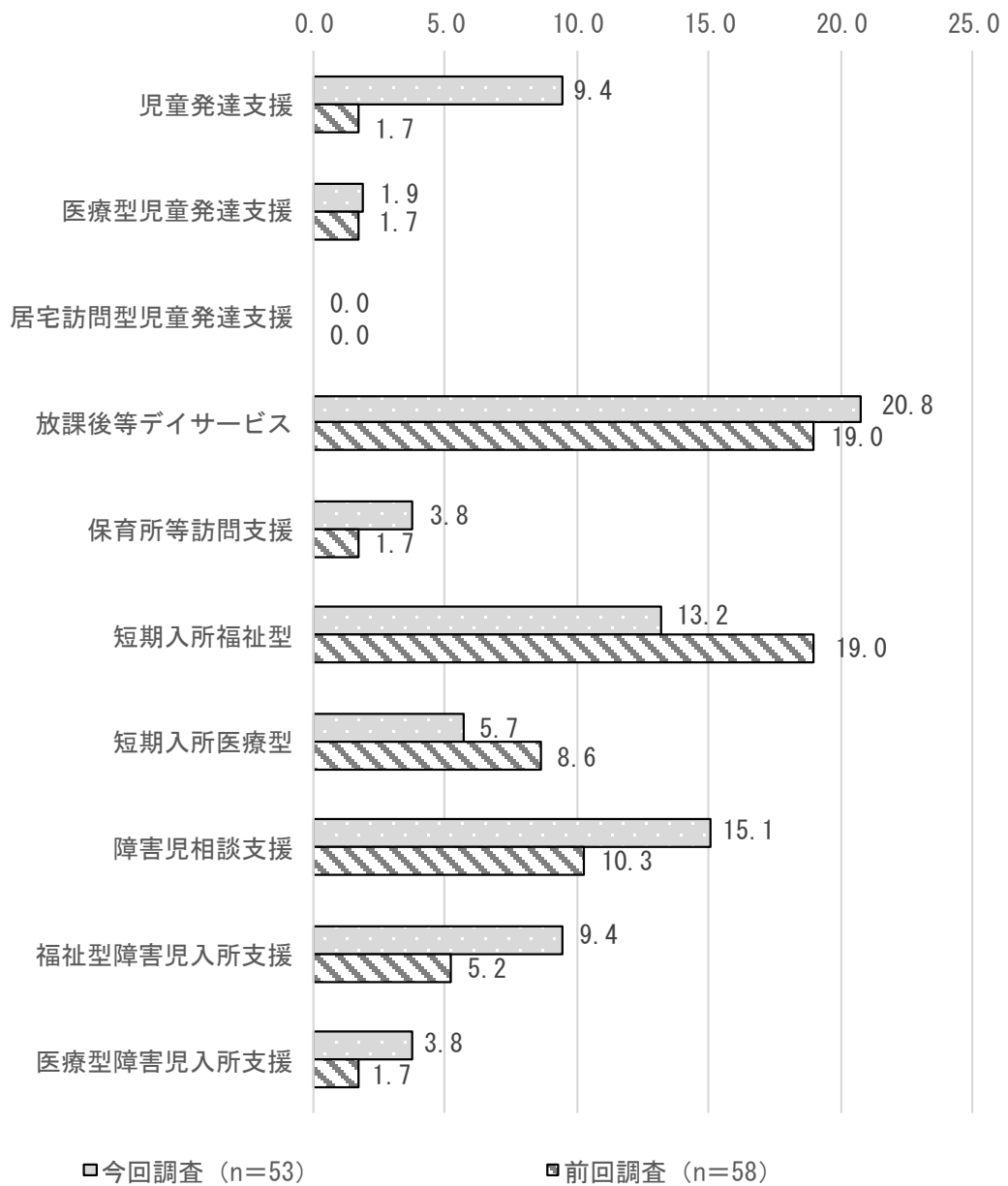
○「今後、利用したい」は、【放課後等デイサービス】が最も多く、【障害児相談支援】、【短期入所福祉型】、【福祉型障害児入所支援】と続きます。



その他
・移動支援サービス

※この設問は、回答が100%とならない場合があります。

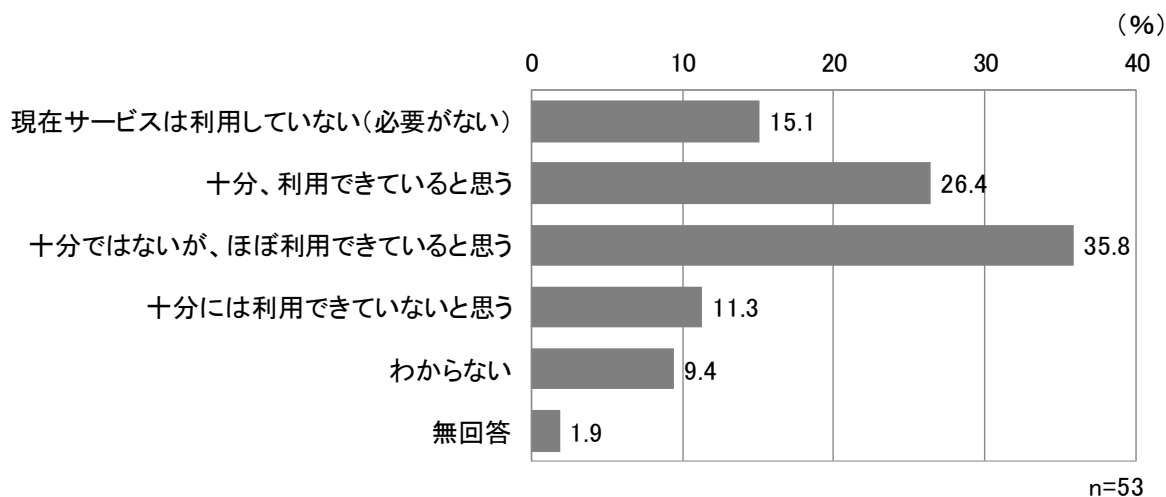
[現在利用していない人で、今後利用したい人の前回比較]



問25 利用している障がい福祉サービスの利用度合（SA）

○「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が最も多くなっています。

★「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」については、他の項目と同率もあるものの、各年齢、“知的障がい”及び“精神障がい”で割合が最も高くなっています。“身体障がい”では「現在サービスは利用していない（必要がない）」及び「十分、利用できていると思う」の割合が同率で最も高くなっています。

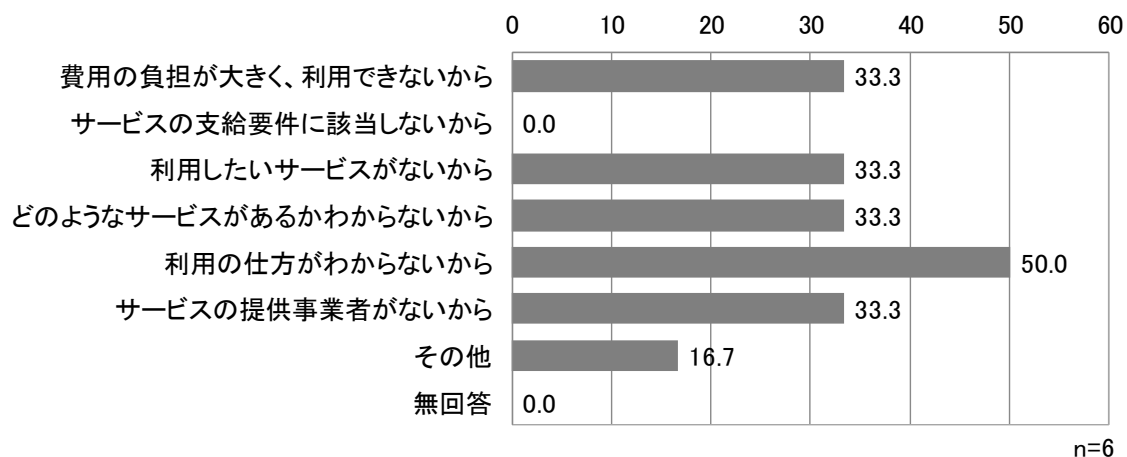


上段:人 下段:%	合計	問25 利用している福祉サービスの利用度合						
		現在サービスは利用していない(必要がない)	十分、利用できていると思う	十分ではないが、ほぼ利用できていると思う	十分には利用できていないと思う	わからない	無回答	
全体	53 100.0	8 15.1	14 26.4	19 35.8	6 11.3	5 9.4	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	5 35.7	5 35.7	2 14.3	2 14.3	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	2 12.5	4 25.0	8 50.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	4 44.4	1 11.1	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	3 30.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	6 17.6	7 20.6	13 38.2	3 8.8	4 11.8	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

問26 障がい福祉サービスを十分に利用できていない理由（MA）

問25で、「十分には利用できていないと思う」と回答した人
 ○「十分には利用できていないと思う」は6人と少ない中で、「利用の仕方がわからないから」
 が最も多くなっています。

★年齢、障がいの種類別の回答数が少ないため、下記に参考表として掲載しています。（%）



その他
 ・施設が少なくいっぱいの為、予約がとれない

	上段:人 下段:%	合計	問26 福祉サービスを十分に利用できていない理由							
			費用の負担が大きく、利用できないから	サービスの支給要件に該当しないから	利用したいサービスがないから	どのようなサービスがあるかわからないから	利用の仕方がわからないから	サービスの提供事業者がないから	その他	無回答
全体	6	6	2	0	2	2	3	2	1	0
	100.0	100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	50.0	33.3	16.7	0.0
年齢	0歳～6歳	2	0	0	1	1	1	1	1	0
		100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	7歳～12歳	1	0	0	0	1	1	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
13歳～15歳	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16歳～18歳	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
障がいの種類	身体障がい	2	1	0	0	0	1	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	知的障がい	3	1	0	1	1	1	1	0	0
	100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	
精神障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

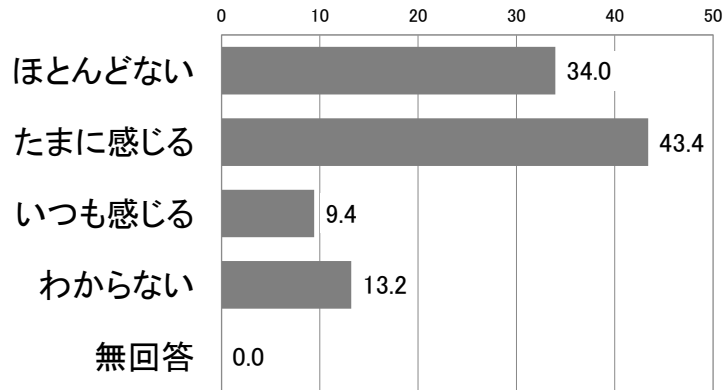
10 権利擁護などについて

問27 差別や人権侵害を感じることはあるか（SA）

○「たまに感じる」が最も多く、「いつも感じる」を合わせた『感じる』は52.8%となります。

★「たまに感じる」については、“7歳～12歳”以外の各年齢、各障がいで割合が最も高く、“7歳～12歳”では「ほとんどない」の割合が最も高くなっています。

(%)



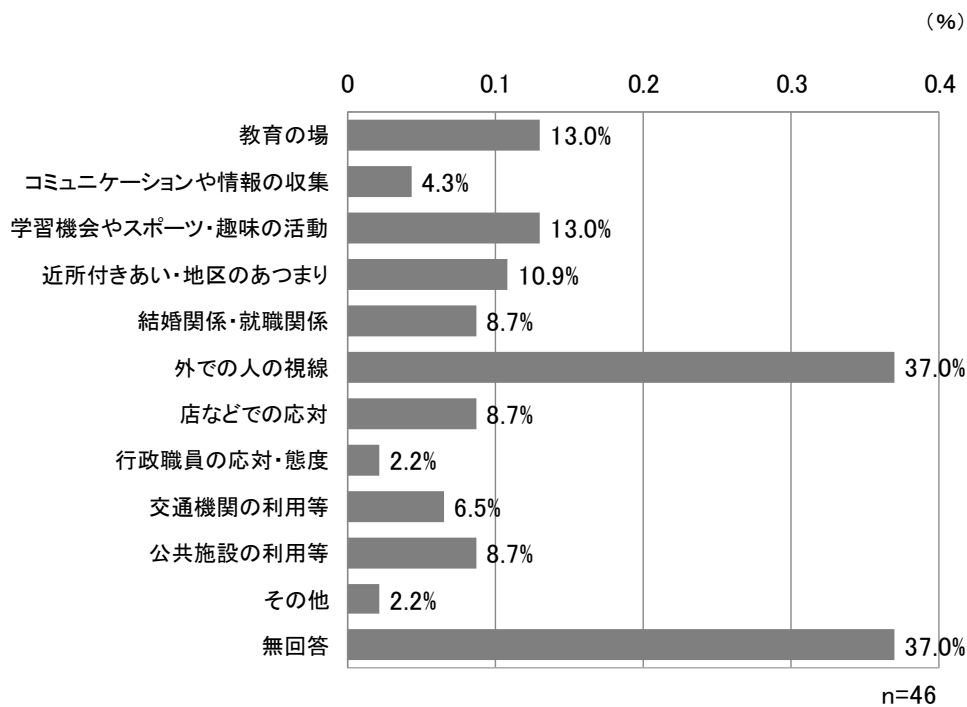
n=53

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問27 差別や人権侵害を感じることはありますか					
		ほとんど ない	たまに感 じる	いつも感 じる	わから ない	無回答	
全体	53 100.0	18 34.0	23 43.4	5 9.4	7 13.2	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	6 42.9	6 42.9	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	7 43.8	5 31.3	1 6.3	3 18.8	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	6 60.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	3 33.3	3 33.3	1 11.1	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	4 40.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	7 20.6	17 50.0	4 11.8	6 17.6	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問28 差別や人権侵害を受けていると感じる場面（MA）

○前述の問で「わからない」以外の人にたずねたところ、無回答以外の63%が場面をあげていますが、その中で「外での人の視線」が最も多くなっています。

★「外での人の視線」については、“13歳～15歳”以外の各年齢、各障がいで、他の項目で同率もあるものの、割合が最も高くなっています。また、“13歳～15歳”では、「学習機会やスポーツ・趣味の活動」の割合が最も高くなっています。



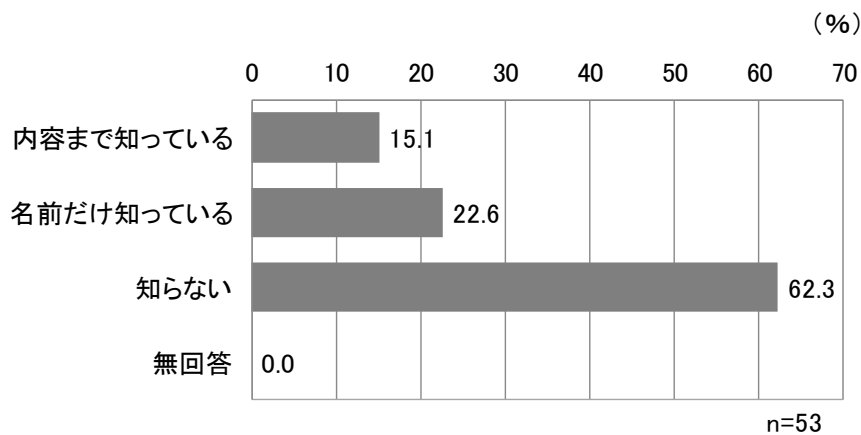
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問28 差別や人権侵害を受けていると感じる場面						
		教育の場	コミュニケーショ ンや情報の 収集	学習機会 やスポー ツ・趣味 の活動	近所付き あい・地 区のおつ まり	結婚関 係・就職 関係	外での人 の視線	
全体	46 100.0	6 13.0	2 4.3	6 13.0	5 10.9	4 8.7	17 37.0	
年 齢	0歳～6歳	13 100.0	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	4 30.8
	7歳～12歳	13 100.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7	2 15.4	6 46.2
	13歳～15歳	8 100.0	2 25.0	0 0.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0
	16歳～18歳	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	4 50.0
障 が い の 種 類	身体障がい	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2
	知的障がい	28 100.0	4 14.3	2 7.1	5 17.9	5 17.9	2 7.1	14 50.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問28 差別や人権侵害を受けていると感じる場面						
		店などで の応対	行政職員 の応対・ 態度	交通機関 の利用等	公共施設 の利用等	その他	無回答	
全体	46 100.0	4 8.7	1 2.2	3 6.5	4 8.7	1 2.2	17 37.0	
年 齢	0歳～6歳	13 100.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	7 53.8
	7歳～12歳	13 100.0	1 7.7	0 0.0	1 7.7	1 7.7	1 7.7	4 30.8
	13歳～15歳	8 100.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0
	16歳～18歳	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5
障 が い の 種 類	身体障がい	9 100.0	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0 0.0	6 66.7
	知的障がい	28 100.0	3 10.7	0 0.0	2 7.1	3 10.7	1 3.6	7 25.0
	精神障がい	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

問29 「障害者差別解消法」の認知状況（SA）

○「知らない」が最も多くなっています。

★「知らない」については、“16歳～18歳”以外の各年齢、各障がいで、他の項目と同率があるものの、割合が最も高くなっています。また、“16歳～18歳”では、「内容まで知っている」及び「名前だけ知っている」の割合が同率で最も高くなっています

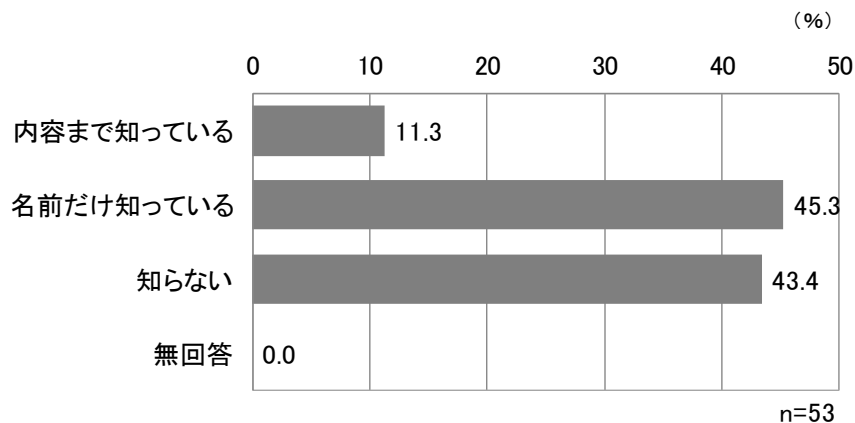


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問29 「障害者差別解消法」の認知状況				
		内容まで 知っている	名前だけ 知っている	知らない	無回答	
全体	53 100.0	8 15.1	12 22.6	33 62.3	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	3 21.4	9 64.3	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	3 18.8	12 75.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	2 20.0	7 70.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	3 33.3	3 33.3	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	2 20.0	2 20.0	6 60.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	6 17.6	8 23.5	20 58.8	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0

問30 「障害者虐待防止法」の認知状況（SA）

○「名前だけ知っている」が「知らない」をわずかながら上回っています。

★「名前だけ知っている」については、“0歳～6歳”及び“16歳～18歳”、“知的障がい”及び“精神障がい”で割合が最も高くなっています。また、「知らない」については、“7歳～12歳”及び“13歳～15歳”、“身体障がい”で割合が最も高く、“精神障がい”では「名前だけ知っている」と同率で最も高くなっています。

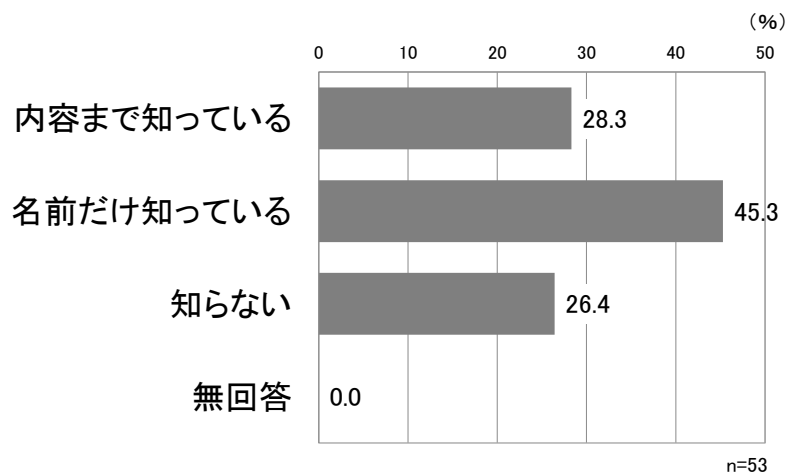


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問30 「障害者虐待防止法」の認知状況				
		内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答	
全体	53 100.0	6 11.3	24 45.3	23 43.4	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	1 7.1	7 50.0	6 42.9	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	8 50.0	8 50.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	2 20.0	6 60.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	5 55.6	2 22.2	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	2 20.0	3 30.0	5 50.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	4 11.8	17 50.0	13 38.2	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0

問31 成年後見制度の認知状況（SA）

○「名前だけ知っている」が最も多くなっています。

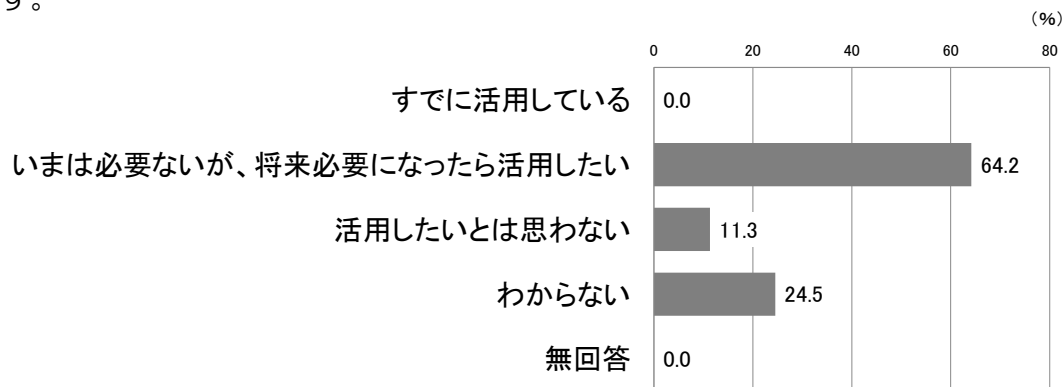
★「名前だけ知っている」については、“16歳～18歳”以外の各年齢、各障がいで割合が最も高く、“精神障がい”では「知らない」の割合も同率で最も高くなっています。また、“16歳～18歳”では、「内容まで知っている」の割合が最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問31 成年後見制度の認知状況				
		内容まで 知っている	名前だけ 知っている	知らない	無回答	
全体	53 100.0	15 28.3	24 45.3	14 26.4	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	3 21.4	7 50.0	4 28.6	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	4 25.0	7 43.8	5 31.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	5 55.6	3 33.3	1 11.1	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	2 20.0	5 50.0	3 30.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	10 29.4	15 44.1	9 26.5	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0

問32 お子さんに対して、成年後見制度の活用意向（SA）

○「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」が最も多くなっています。
 ★「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」については、各年齢、各障がいで割合が最も高く、“13歳～15歳”では「わからない」の割合が同率で最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問32 お子さんに対して、成年後見制度の活用意向				
			すでに活用している	いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい	活用したいとは思わない	わからない	無回答
全体		53 100.0	0 0.0	34 64.2	6 11.3	13 24.5	0 0.0
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	9 64.3	2 14.3	3 21.4	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	12 75.0	1 6.3	3 18.8	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	6 60.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	0 0.0	23 67.6	2 5.9	9 26.5	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

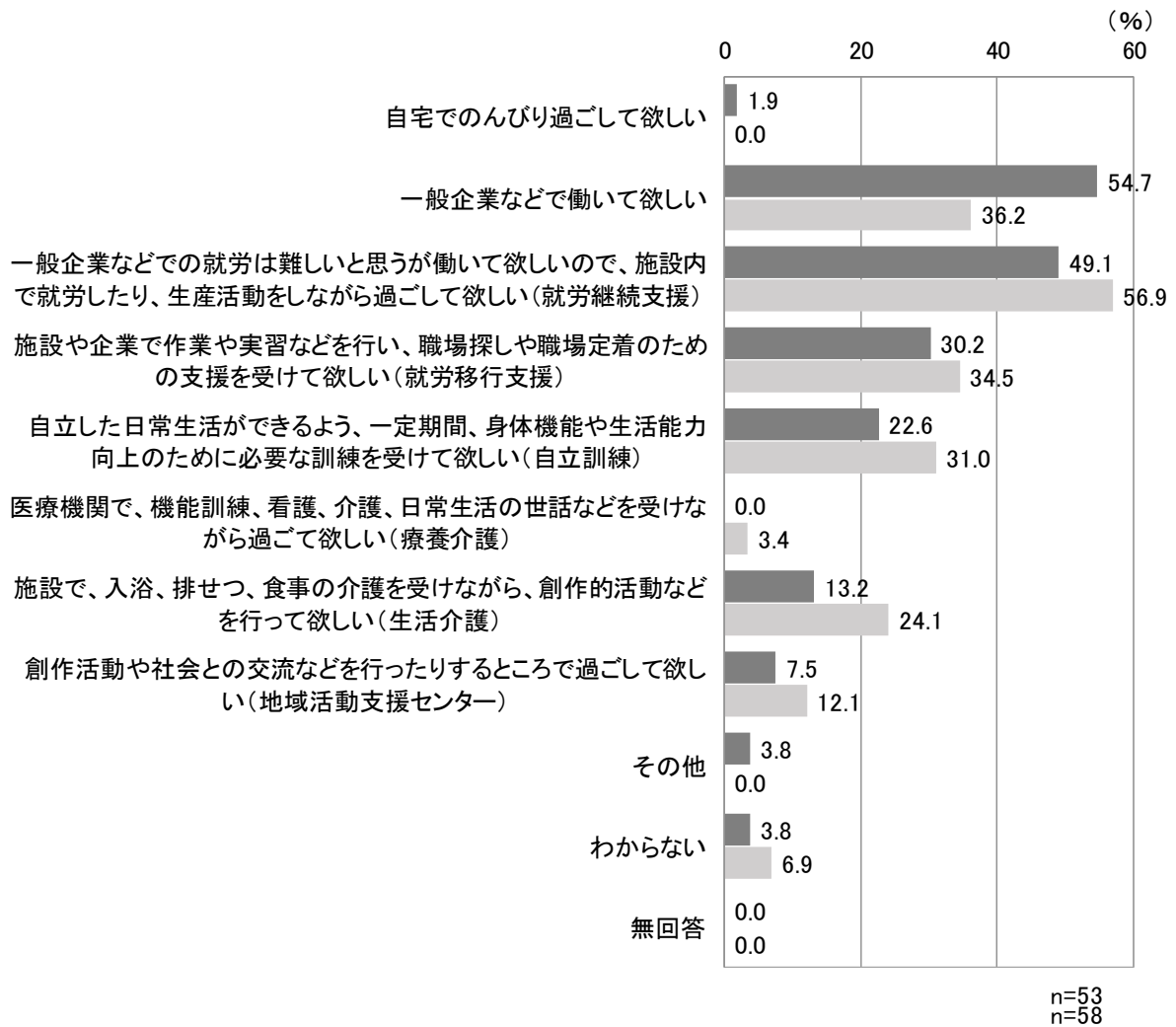
11 お子様の今後について

問33 将来的に希望するお子さんの日中の過ごし方（MA）

○「一般企業などで働いて欲しい」が最も多く、「一般企業などでの就労は難しいと思うが働いて欲しいので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごして欲しい（就労継続支援）」、「施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けて欲しい（就労移行支援）」と続きます。

●「一般企業などで働いて欲しい」が18.5ポイント上昇し、「その他」以外の項目で低下しました。

★「一般企業などで働いて欲しい」については、“0歳～6歳”以外の各年齢、“身体障がい”及び“精神障がい”で割合が最も高く、“13歳～15歳”では「施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けて欲しい（就労移行支援）」及び「自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けて欲しい（自立訓練）」の割合が同率で最も高く、“精神障がい”では「自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けて欲しい（自立訓練）」の割合が同率で最も高くなっています。また、“0歳～6歳”、“知的障がい”では「一般企業などでの就労は難しいと思うが働いて欲しいので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごして欲しい（就労継続支援）」の割合が最も高くなっています。



その他

- ・ 本人が充実した時間を過ごし心身共に健全でいられるのであればどのような形でも良いと思います。
- ・ 重い障害があっても優しい人に囲まれて過ごせる場所ならどこでも。

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問33 将来的に希望するお子さんの日中の過ごし方						
		自宅での んびり過 ごして欲 しい	一般企業 などで働 いて欲し い	一般企業 などでの 就労は難 しいと思 うが働い て欲しい ので、施 設内で就 労した り、生産 活動をし ながら過 ごして欲 しい(就 労継続支 援)	施設や企 業で作業 や実習な どを行 い、職場 探しや職 場定着の ための支 援を受け て欲しい (就労移 行支援)	自立した 日常生活 ができる よう、一 定期間、 身体機能 や生活能 力向上の ために必 要な訓練 を受けて 欲しい (自立訓 練)	医療機関 で、機能 訓練、看 護、介 護、日常 生活の世 話などを 受けなが ら過ぎて 欲しい (療養介 護)	
全体	53 100.0	1 1.9	29 54.7	26 49.1	16 30.2	12 22.6	0 0.0	
年 齢	0歳～6歳	14 100.0	1 7.1	6 42.9	8 57.1	5 35.7	5 35.7	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	9 56.3	8 50.0	6 37.5	2 12.5	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	6 60.0	5 50.0	4 40.0	2 20.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	5 55.6	3 33.3	0 0.0	2 22.2	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	6 60.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	0 0.0	18 52.9	20 58.8	13 38.2	8 23.5	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	1 50.0	2 75.0	0 0.0

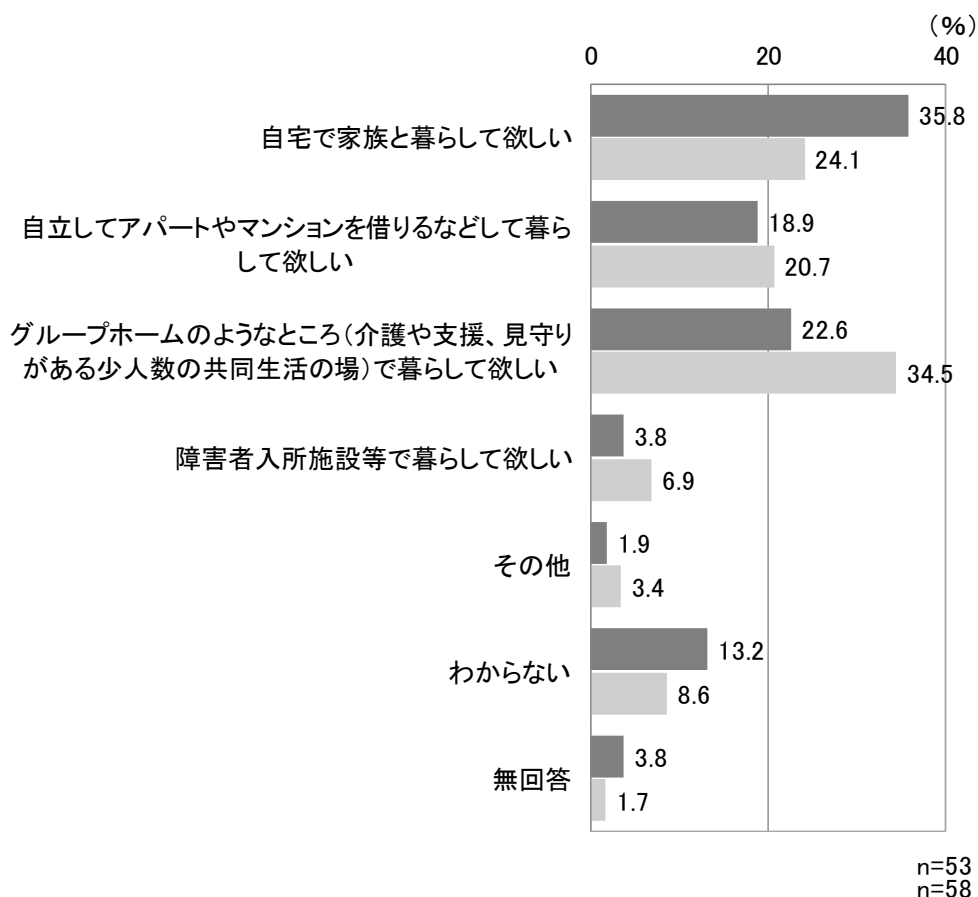
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問33 将来的に希望するお子さんの日中の過ごし方					
		施設で、 入浴、排 せつ、食 事の介護 を受けな がら、創 作的活動 などを 行って欲 しい(生 活介護)	創作活動 や社会と の交流な どを行っ たりする ところで 過ごして 欲しい (地域活 動支援セ ンター)	その他	わから ない	無回答	
全体	53 100.0	7 13.2	4 7.5	2 3.8	2 3.8	0 0.0	
年 齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	5 14.7	4 11.8	1 2.9	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問34 将来的にお子さんに望む暮らし方（SA）

○「自宅で家族と暮らしてほしい」が最も多く、「グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らして欲しい」、「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らして欲しい」と続きます。

●「グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らして欲しい」が11.9ポイント低下しました。

★「自宅で家族と暮らしてほしい」については、“0歳～6歳”と“13歳～15歳”、障がいの種類では、“身体障がい”と“精神障がい”でその割合が高くなっています。



その他
 ・自立が出来ていれば自宅でもアパートでも自分の生活場所を自覚した場所

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問34 将来的にお子さんに望む暮らし方							
		自宅で家族と暮らして欲しい	自立してアパートやマンションを借りるなどして欲しい	グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らして欲しい	障害者入所施設等で暮らして欲しい	その他	わからない	無回答	
全体	53 100.0	19 35.8	10 18.9	12 22.6	2 3.8	1 1.9	7 13.2	2 3.8	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	7 50.0	1 7.1	2 14.3	0 0.0	0 0.0	4 28.6	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	4 25.0	5 31.3	5 31.3	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	4 40.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	3 33.3	2 22.2	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	5 50.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	10 29.4	4 11.8	11 32.4	2 5.9	1 2.9	4 11.8	2 5.9
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

自由記述

○21人の方から23件のご意見・ご要望を頂きました。内容と件数については以下の通りです。

主な意見の内容（件数）
支援サービスについて 9件
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイサービスと学童保育の併用ができるようにしてほしい。 ・療育は就学後も必要だと思う為、負担が少なくてすむ、療育施設が近くにあったらと思います。 ・北本市は隣接自治体に比べ福祉サービスが低い。 ・医療ケアが受けられる施設を作してほしい。
保育・教育について 4件
<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子→児発、療育というイメージが定着すると、保育か教育を選択しづらいです。北本市には全ての子供に地域での保育、教育をさらに推進してほしい。 ・息子は集団が苦手な為、中学は公立に通わずフリースクール（少人数制の）に通った。フリースクールは自費となり経済的負担が大きかった。 ・未就学児だが超早期療育がほとんどない。ただし、療育に携わる方は本当に熱心になって対応して下さっている。 ・就学前後も学校に相談していたにも関わらず不登校になり、その後も支援学級に入れてもらうまでに大変な苦勞を重ねて来ました。
保健・医療について 4件
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の受入れ体制のある歯科があるのか分からない。 ・出生時、低体重で生まれたということもあり発達に心配がありました。保健師さんに相談にのってもらっていましたが、ベテラン保健師さんはなくてはならない存在なので若手育成に努めていただきたいです。 ・病院の受付、職員の対応、配慮が足りない。 ・リハビリセンターのような障害者に特化した病院で歯科だけでなく内科や眼科等、他の科もあるところを作してほしい。
相談・情報提供について 2件
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持つ家族との生活は思った以上に時間がかかることが多く、なかなか相談に伺うことが出来ません。希望者に対し、福祉サービスの情報提供（DMなど）を行っていただけると相談に伺う時間が短縮されるのでは。
経済的負担の軽減について 1件
<ul style="list-style-type: none"> ・入にに応じて補助などがあれば良い。生活面で苦しい世帯の金銭面の負担の軽減を願う。
バリアフリーについて 1件
<ul style="list-style-type: none"> ・車イスで公共交通機関を利用すると2倍以上の時間がかかる。

その他 2件

- 地域での交流の場がほしい。
- 子育てに正解は無いとよく言いますが、障がいがあるとなると尚難しいと感じています。どうしていくのが正しいのか全く分かりません。よく気晴らしに外へ出かけてみては？という人がいますがそれが大変。それが気軽にできる世の中ではないと感じます。あと働きたくても時間が確保できない。両親が揃っている、実家の手助けがある等の方は働けるでしょうが。